Pioneer sound.vision.soul

コードレス留守番

システム名

TF–FV7000/FV7020/FV7030

（ティーエフ エフ ブイ／エフ ブイ／エフ ブイ）

取扱説明書

（保証書付）

このたびは、パイオニアのコードレス留守番電話機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。

お買い上げ時、本機は固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）をそのままご利用いただけるように携帯通話プリセット機能が「ON」（使用する）に設定されています。
「ひかり電話」、構内交換機（PBX）などをご利用の場合は、電話をかけられない場合がありますので、設定を「OFF」（解除）にしてください。（くわしくは、85ページをご覧ください。）

NTTへのサービス申し込みが必要です。（有料）
お買い上げ時、本機はナンバー・ディスプレイが「ON」（使用する）に設定されています。

充電池には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

Ni-MH

お客様相談室 本製品のお問い合わせ窓口

東日本地区：TEL. 所沢 04-2949-5131
西日本地区：TEL. 大阪 06-6533-0099
専用FAX：所沢 04-2949-5501

- 電話番号をよくご確認の上、市外局番より、お間違えのないようおかけください。
- 名称、所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

英文などの外国語の取扱説明書はありませんので、あらかじめご了承ください。
Please take notice that manuals written in languages other than Japanese are not available.

目　次

機能名称から探すときは、「さくいん」が便利です。（154ページ）

お使いになる前に

準　備

ひかり電話・直収電話・構内交換機（PBX）をご利用の方は、「携帯通話プリセット機能」を「OFF」（解除）にしてご使用ください。（86ページ）

電話機能

ホームテレホン

留守番機能

電話帳

ご注意　　NOTICE
この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。
海外では、電話回線や電源電圧の規格が異なりますので、ご使用にはなれません。
For Japanese standard only. This set operates on AC100V.
Due to different standards of telephone line and different power requirements, this set cannot be used outside of Japan.

ナンバー・ディスプレイ

ドアホン

携帯通話プリセット機能

お好みで変える

必要なときは

困ったときは

安全上のご注意――必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で案内しています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して誤った取扱をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠警告	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

■下記の ⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。

■下記の 🛇 記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。

■下記の ❗ や 記号は行動を強制したり指示する内容です。

充電池（ニッケル水素電池）の取扱について

⚠危険

充電池の液もれや、発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがありますので、次のことをしないでください。充電するときや、充電池を使用するときは必ず次のことを守ってください。

- **●指定以外の充電池を使用しない**
- **●プラス（＋）、マイナス（－）を逆にして使用しない**
- **●本機の受話子機や子機専用の充電池として使用し、他の機器には使用しない**
- **●本機の受話子機や子機に装着のうえ、専用の充電器で充電し、他の充電器では充電しない**
- **●火の中に投入したり、加熱したりしない**
- **●分解・改造・ハンダ付けしない**
- **●プラス（＋）、マイナス（－）を針金等の金属で接続しない**
- **●ふたで充電池コードをはさまない、破損させない**

●充電池の“液”が目に入ると危険

失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

●充電池（ニッケル水素電池）のビニールカバーをはがしたり、キズをつけない

発煙・発火の原因となります。

●充電池を使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、機器から充電池を取り出し、使用を中止する

次ページへつづく

充電池（ニッケル水素電池）の取扱について（つづき）

⚠警告

●**水や海水につけたり濡らさない**

充電池の発熱やサビの原因となります。

●**充電池の"液"が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す**

皮膚に障害をおこすおそれがあります。

⚠注意

●**強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない**

充電池の液もれ、発熱・破裂させる原因となることがあります。

●**充電温度範囲は、5〜35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれ、発熱、充電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。**

●**高温になる場所で使用したり、放置したりしない**

充電池の液もれ、性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

●**充電池は（乳）幼児の手の届かない所に保管し、（乳）幼児が機器から取り出さないように注意する**

ACアダプターの取扱について

⚠警告

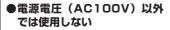
●**タコ足配線はしない、また、ホットカーペットや床暖房の上に置かない**

火災・過熱の原因となります。

●**濡れた手でACアダプターにさわらない**

感電の原因となります。

●**電源電圧（AC100V）以外では使用しない**

●**付属以外のACアダプターは使用しない**

火災・感電・故障の原因となります。

●**雷が鳴り出したら、安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜く**

●**ACアダプターの刃や周辺に付着したほこりや金属などを取り除く**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●**ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしない**

万一、コードが傷んだときは（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

ACアダプターの取扱について（つづき）

⚠注意

●**熱でコードの被覆が溶ける原因になるので、ACアダプターのコードをストーブなどの熱器具に近づけない**

●**発熱の原因になるので、ACアダプターはゆるみのあるコンセントに差し込まない**

●**コードを傷める原因になるので、ACアダプターを抜くときは必ず本体を持って抜く**

火災・感電の原因となることがあります。

●**ACアダプターは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となることがあります。また、ACアダプターの刃に触れると感電の原因となることがあります。

なお、壁面にあるコンセントにはACアダプターの上下を逆に差し込まないでください。（逆に差し込むと外れやすくなります。）

●**ACアダプターのほこりなどは、乾いた布で定期的に取り除く**

プラグなどにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。

本体の取扱について

⚠警告

●**ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しない**

家庭用電話機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。
接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

●**煙が出たり、変なにおいがするときはACアダプターをコンセントから抜く**

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

すぐにACアダプターをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙が出なくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。
特に電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。
お客様による修理、確認などは危険ですので絶対におやめください。

●**分解・改造しない**

（改造は法律により禁止されています。）

●**開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない**

万一、入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

●**風呂やシャワー室では使用しない**

火災・感電・故障の原因となります。

●**本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない、水をこぼさない、小さな金属を中に入れない**

●**水などで濡らさない**

本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入ったときはACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

本体の取扱について（つづき）

⚠警告

●**充電端子に水滴がついたまま充電しない**

水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。そのまま使用すると火災・故障の原因となります。

●**次のような場所や条件で使用しない（本機の電波で、誤作動による事故の原因となることがあります。）**

■病院内などの使用を禁止された場所
■医用電気機器に近い場所
（手術室・集中治療室・CCU※など）
※CCU…冠状動脈疾患監視病室
■自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
■心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置

⚠注意

次のような場所に設置しない

●**調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ**

●**湿気やほこりの多いところ**

火災・感電・故障の原因となることがあります。

●**直射日光の当たるところ**

●**ホットカーペットや床暖房の上**

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●**極端に寒いところや暑いところ、急激な温度変化のあるところ**

故障の原因となることがあります。

●**不安定な場所や振動の多いところ**

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。

その他

●**壁掛けにするときは落下しないようにしっかり固定する**

落下すると、けが・故障の原因となることがあります。

●**受話子機や子機のレシーバー・スピーカーに吸着物がないか確認してから使う**

受話子機や子機のレシーバー・スピーカーの磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し思わぬけがをすることがあります。また、音が出ないなどの故障の原因となることがあります。

●**あやまって目に触れぬようアンテナに注意**

●**受話子機や子機の呼出音が鳴る部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけない（突然呼出音が鳴ります。）**

事故やけがの原因となることがあります。

●**長期間電話機を使用しないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、受話子機や子機の充電池を外す**

知っておいていただきたいこと

本機は、停電時には使用することができません。停電用電話機をご用意いただくことをおすすめします。（139ページ）
※ひかり回線をご利用の場合は、停電用電話機をご用意いただいても使用することができません。

受話子機・子機の使用について

●充電端子の汚れは乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。
→充電不足の原因になります。

●盗聴にご注意ください。
→デジタル信号を使用しているため、盗聴されにくい仕様になっておりますが、機密を要する重要な通話は親機のハンズフリー通話を使用することをお勧めします。

●見通し距離100m以内
→あらかじめ親機と受話子機・子機が電波の届く範囲をご確認ください。電波が届かないと警告音「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ、ピピピ」が鳴り、液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「 圏外」が表示され、その通話が終わるまで保留（27ページ）や保留転送／子機間転送（33ページ）の機能などを利用することができなくなることがあります。また警告音が鳴ってから、約30秒後に受話子機・子機の通話が切れます。

●電波が届きにくいときは親機に近づくか場所を変えてください。
→受話子機・子機の通話がとぎれたり、雑音の原因になります。
〈電波を届きにくくするもの〉
鉄筋、鉄骨を使用した建物や構造物、コンクリート壁、
金属の扉、金属箔のついた断熱材、金属製の壁や家具など

音声のとぎれや雑音を避けるために

●以下の機器と相互に影響を及ぼす場合は3m以上離すか、電源を別のコンセントに接続してください。

3m以上

ファクシミリ・電子レンジ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー・パソコンなど

ファクシミリ・電子レンジ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー・パソコンなど
・磁気や蛍光灯など→受話子機・子機の通話がとぎれる原因になります。
・テレビ・ラジオなど→雑音や画面が乱れるなど受信障害の原因になります。
・AV・OA機器など→受話子機・子機の呼出音が鳴らないことがあります。
・他の機器（携帯電話など）の充電器やACアダプターなど
→受話子機・子機の通話がとぎれたり、呼出音が鳴らないことがあります。

● 一つの部屋にデジタルコードレスホン（親機）を複数設置しないでください。
・受話子機・子機の通話がとぎれる原因になります。

● 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。
・アンテナを立てないと電波が飛びにくくなり、受話子機・子機の通話がプツプツととぎれる場合があります。

● 受話子機・子機は中央部より下の部分を持って通話してください。
・受話子機・子機の上部にアンテナが内蔵されていますので、そこを握ると、電波の飛びが悪くなる場合があります。

● 補聴器によっては受話子機・子機の通話に雑音が入ることがあります。聞きとりにくいときは、親機のハンズフリー通話をお使いください。

● 動きながら通話したり、近くを自動車やバイクが通ると声がとぎれたり雑音が入ることがあります。

携帯通話プリセット機能（86ページ）について

■BBフォンなどのIP電話をご利用の場合は、「携帯通話プリセット機能」の設定の変更が必要です。
■次の場合は、本サービスはご利用になれません。必ず設定を「OFF」（解除）にしてください。
● NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」ご利用時
● NTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービスご利用時
● ホームテレホンや構内交換機（PBX）接続時
● IP電話ご利用などで固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合
※直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

■「直収電話サービス」とは・・・NTTの回線を経由しないで、直接お客様とサービス事業者を結ぶ電話サービスのことです。（例：KDDIのメタルプラス、ソフトバンクテレコムのおとくラインなど）

次ページへつづく

電波について

本機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH−SS方式」、与干渉距離は80mです。
本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のためのパーティションの設置や設置場所の移動を行ない互いに干渉が起きないようにしてください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様相談室（151ページ）へお問い合わせください。

その他のご注意

本機は、2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- 親機は電子レンジなどから離して設置し（目安：約3m以上）、受話子機や子機も電子レンジなどの近くで使わないでください。
  →電子レンジなどを使用中に、近くで受話子機や子機を使用したり、親機と受話子機・子機の間に電子レンジがあると、通話がとぎれたり、使えなくなることがあります。
- 親機や受話子機・子機を、無線LANからなるべく離してご使用ください。
  →無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で受話子機や子機を使うと、通話がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。（本機は、受話子機・子機で通話していない場合でも、電波を送信しています。）
- その他、下記の機器でも、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。なるべく、設置場所や使用場所を離してください。
  →これらの機器の周辺では、声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

・火災報知器
・工場や倉庫などの物流管理システム
・マイクロ波治療器
・自動ドア
・自動制御機器
・アマチュア無線局
・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
・鉄道車両や緊急車両の識別システム
・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
・その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通網システム）など

- **本機に関するお問い合わせおよびサポート、取扱説明書の掲載内容につきましては、国内限定とさせていただきます。**
- **商品の故障、誤作動または停電などの外部要因で電話が使えなかったことによる付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご承知おきください。**

知っておいていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡していただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。くわしくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

操作に関するご注意

■受話子機・子機で登録や設定の操作を行なうときは、必ず、［切］を押してから行なってください。

- 登録や設定などの操作を途中でやめるには、親機は［再生／停止］、受話子機・子機は［切］を押してください。操作の途中で1つ前の操作に戻るときは、親機は［機能／戻る］、受話子機・子機は［機能／録音／戻る］を押してください。
- 登録や設定の操作の途中で約1分以上操作をしないと、通常状態に戻ります。
- ダイヤルライトと液晶画面のバックライト、および上下左右ボタンライトは、最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。
- 子機の呼出音は親機より約1〜2秒遅れて鳴ります。
- 受話子機が親機上にあるときは、親機のみ呼出音が鳴ります。（受話子機は鳴りません。）
- 子機が充電器上にあるときに［☎］や［内線／保留／文字］を押しても、機能は、はたらきません。
- 設定の途中で設定操作を中止した場合、設定変更内容は反映されません。そのときは、はじめからやり直してください。
- 親機または受話子機・子機が外線通話中、ドアホン通話中、および親機がガード機能（69〜77ページ）で応答中は、親機と受話子機・他の子機の液晶画面に、「回線使用中」「ドアホン使用中」と表示されます。なお、このときに登録・設定操作をしても、操作できない場合があります。液晶画面（13・15ページ）が通常状態に戻ってから、操作してください。
- 受話子機・子機の液晶画面に、「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「Ｙ圏外」が表示されているときは、親機に近づいてください。表示が消えないときは、［☎］、［内線／保留／文字］、または［ハンズフリー］のいずれかを押してください。（親機の電源が入っていても、受話子機・子機が親機から離れすぎたり、使用環境によっては「通話圏外」と「Ｙ圏外」が表示されることがあります。）

クイック通話

受話子機を親機から、子機を充電器からとるだけで、［☎］を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができます。お買い上げ時は、「ON」（設定）に設定されています。電話をかけるときは、このあと約20秒以内にダイヤルするか［☎］を押してください。（そのまま操作をしないと、約20秒後に、転倒などによる誤動作防止のための警告音が「ピーッ、ピーッ」と鳴り、自動的に電話が切れます。）

（受話子機は点滅しません。）

クイック通話を解除する場合

［切］ ▶ ［機能］（録音/戻る） ▶ "クイック通話"を選ぶ ▶ ［電話帳］（決定） ▶ "OFF"を選ぶ ▶ ［電話帳］（決定） ▶ ［切］

■受話子機は解除できません。

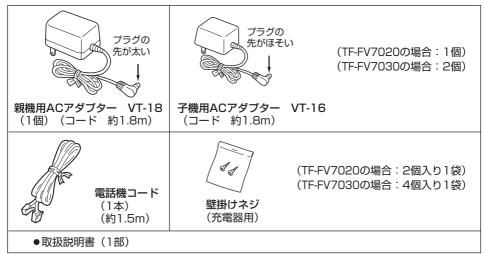
クイック通話を解除しているとき

- 子機を充電器からとって電話番号を入力し、その番号を確認してから電話をかけることができます。**（見てから通話）**
- <ナンバー・ディスプレイ加入時>
  子機を充電器からとり、かけてきた相手の電話番号を確認してから、［☎］を押して通話することができます。**（見てから通話）**

商品の確認

■本体（一式）

■付属品

●取扱説明書（1部）

さらに別売の専用子機を増設できます（受話子機と付属の子機を含めて4台まで）

増設子機（別売品TF-DK720）

- 増設子機は、販売店でお買い求めください。
- 増設子機は、ご使用前に増設子機の登録操作が必要です。（107ページ）
  この操作には、必ず親機と子機、およびACアダプターが必要です。修理窓口にご依頼の場合、有料になります。
- TF-FV7000に子機を増設すると、子機間通話、子機間転送、一斉呼出、三者通話、子機から子機への電話帳コピーができます。
- PHS電話機を子機として増設することはできません。
- 増設子機は、パールホワイトのみとなります。
- 受話子機と増設子機では形状、ボタンの印刷が一部異なります。

各部のなまえと液晶画面

（親機）

（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

※ ダイヤルライトと上下左右ボタンライトは、省電力のため、通話中であっても、最後にボタンを押してから、約15秒で消灯します。

■点灯するボタンの種類とランプのつき方（例）

ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
迷惑ガードボタン	オレンジ	ナンバー・ディスプレイご利用時、ガード機能設定中（点灯）、ガード機能動作中（点滅）
留守ボタン	オレンジ	留守セット中<未再生の用件なし>（点灯） 留守セット中<未再生の用件あり>（点滅）
内線／保留／文字ボタン	オレンジ	内線通話中（点灯）、内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）

● 電話回線種別（ダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線）の切りかえスイッチはありません。電話機コードを接続すると、回線種別が自動的に選ばれ設定されます。電話機を移動したり、回線種別を変更（ダイヤル回線⇄プッシュ回線）したときは、再度電話回線の設定をしてください。（20ページ）

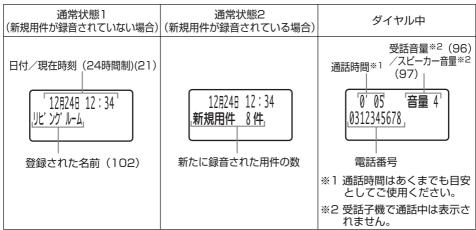
次ページへつづく

親機（18桁表示）（液晶バックライトあり）

●説明のために液晶表示のマークを全表示しています。

■ 液晶画面のバックライトは、省電力のため通話中であっても、最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。

●操作時の表示例

通常状態1と2は、お知らせの有無により自動的に変わります。選択することはできません。
（通常状態のときは液晶バックライトが消えています。）

■ この取扱説明書の説明画面は、実際の液晶画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。
■ 実際の液晶画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。
■ この取扱説明書の説明文（お知らせなど）では、ボタンの表記を 再生／停止 や 切 のように表しています。
また、液晶画面に表示される言葉やマークを「回線使用中」や「 圏外 」のように表しています。
■ 電話番号の確認画面（発信履歴、電話帳、着信履歴、特定番号など）で、液晶画面に一度に表示できる桁数（18桁）を超えた場合は、画面を自動的に切りかえて表示します。
■「知っておいていただきたいこと」操作に関するご注意（10ページ）も合わせてお読みください。

各部のなまえと液晶画面

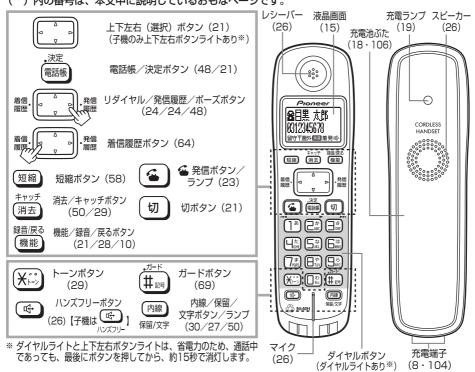
（受話子機）（子機）

・受話子機は、必ず親機に戻してお使いください。
・子機は、TF-FV7020・FV7030に付属されています。必ず充電器に戻してお使いください。
・受話子機と子機では形状、ボタンの印刷が一部異なります。下記のイラストは受話子機です。

（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

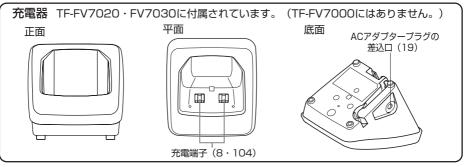
- 上下左右（選択）ボタン（21）（子機のみ上下左右ボタンライトあり※）
- 電話帳／決定ボタン（48／21）
- リダイヤル／発信履歴／ポーズボタン（24／24／48）
- 着信履歴ボタン（64）
- 短縮ボタン（58）
- 発信ボタン／ランプ（23）
- 消去／キャッチボタン（50／29）
- 切ボタン（21）
- 機能／録音／戻るボタン（21／28／10）
- トーンボタン（29）
- ガードボタン（69）
- ハンズフリーボタン（26）【子機は ハンズフリー】
- 内線／保留／文字ボタン／ランプ（30／27／50）

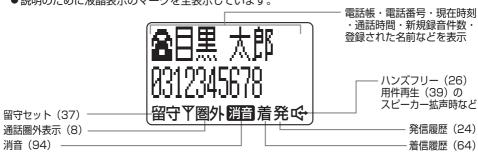
※ ダイヤルライトと上下左右ボタンライトは、省電力のため、通話中であっても、最後にボタンを押してから、約15秒で消灯します。

- レシーバー（26）
- 液晶画面（15）
- 充電池ぶた（18・106）
- 充電ランプ（19）
- スピーカー（26）
- マイク（26）
- ダイヤルボタン（ダイヤルライトあり※）
- 充電端子（8・104）

■点灯するボタンやランプの種類とランプのつき方（例）

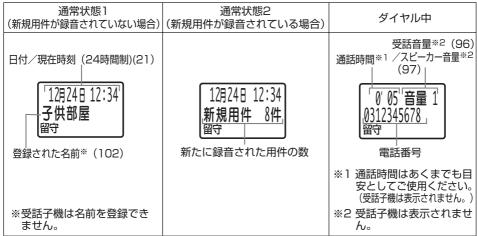
ボタンやランプの種類	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
充電ランプ※	青	受話子機充電中（点灯）
発信ボタン	赤	通話中（点灯）、保留中・子機を充電器からとったとき<クイック通話ON>（点滅）
	緑	子機充電中（点灯）、外線着信中・内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）
内線／保留／文字ボタン	オレンジ	内線通話中（点灯）、内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）

※…受話子機のみ

充電器 TF-FV7020・FV7030に付属されています。（TF-FV7000にはありません。）

受話子機・子機（14桁表示）（液晶バックライトあり）

●説明のために液晶表示のマークを全表示しています。

■液晶画面のバックライトは、省電力のため通話中であっても、最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。

●操作時の表示例

通常状態1と2は、新規用件の有無により自動的に変わります。選択することはできません。
（通常状態のときは液晶バックライトが消えています。）

通常状態1 （新規用件が録音されていない場合）	通常状態2 （新規用件が録音されている場合）	ダイヤル中
日付／現在時刻（24時間制）(21) 12月24日 12:34 子供部屋 留守 登録された名前※（102） ※受話子機は名前を登録できません。	12月24日 12:34 新規用件　8件 留守 新たに録音された用件の数	受話音量※2（96）／スピーカー音量※2（97） 通話時間※1 0′05″ 音量 1 0312345678 留守 電話番号 ※1 通話時間はあくまでも目安としてご使用ください。（受話子機は表示されません。） ※2 受話子機は表示されません。

■この取扱説明書の説明画面は、実際の液晶画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。
■実際の液晶画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。
■この取扱説明書の説明文（お知らせなど）では、ボタンの表記を 再生／停止 や 切 のように表しています。
また、液晶画面に表示される言葉やマークを「回線使用中」や「 圏外 」のように表しています。
■電話番号の確認画面（発信履歴、電話帳、着信履歴など）で、液晶画面に一度に表示できる桁数（14桁）を超えた場合は、画面を自動的に切りかえて表示します。
■「知っておいていただきたいこと」 操作に関するご注意 （10ページ）も合わせてお読みください。

設置と接続

❶ アンテナを垂直に立てる

（AC100V 50/60Hz）

❷ 親機用ACアダプター(VT－18)をコンセントにつなぐ
（→デモ画面の表示を開始）

❸ 抜け防止用のコード押さえに通す

ACアダプタープラグの差込口

❹ リセットスイッチを押す
（つまようじ等の細い棒を穴に差す）
（設置に伴う誤作動などを回避する）

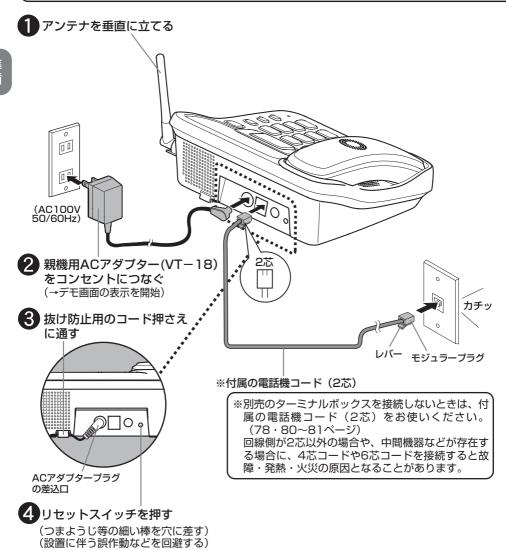
2芯

カチッ

レバー　モジュラープラグ

※付属の電話機コード（2芯）

※別売のターミナルボックスを接続しないときは、付属の電話機コード（2芯）をお使いください。
（78・80～81ページ）
回線側が2芯以外の場合や、中間機器などが存在する場合に、4芯コードや6芯コードを接続すると故障・発熱・火災の原因となることがあります。

おしらせ

- ファクシミリやOA機器や冷蔵庫などの電源コンセントと同じコンセントにはつながないでください。雑音や誤動作の原因となります。
- ACアダプターは常に接続しておいてください。ACアダプターを接続しておかないと受話子機・子機は使用できません。また、親機の登録操作や留守番機能などが使用できません。
- ACアダプターや親機の底は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。

5 電話機コードを接続すると

約5秒後、電話回線の自動設定が始まります。（→デモ画面が止まる） ▶ 約6〜40秒後、設定された回線を液晶画面でお知らせします。 ▶ 日時の設定を行います ▶ 続けて、日付と時刻を設定してください。(21ページ)

- 電話回線の設定が完了します。
- 日付と時刻の設定画面に変わります。

■ 自動設定できなかったとき→手動で回線種別を設定してください。（20ページ）

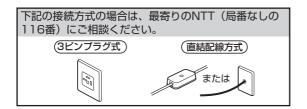
6 天気予報（177）（有料）などにダイヤルして、電話がかけられることを確認する

■ 電話がかけられなかったとき→（20ページ）

■ 次のような接続のときは、下記のページをご覧ください。

- ADSL、ISDNに接続するとき→（113ページ）
- ファクシミリに接続するとき →（112ページ）

下記の接続方式の場合は、最寄りのNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

受話子機・子機の充電

受話子機・子機に充電池（ニッケル水素電池）をセットし、充電する

❶ プラグを差し込み、充電池を入れる

黒　赤

プラグ　深く差し込む

プラグは、この位置まで確実に深く差し込んでください。

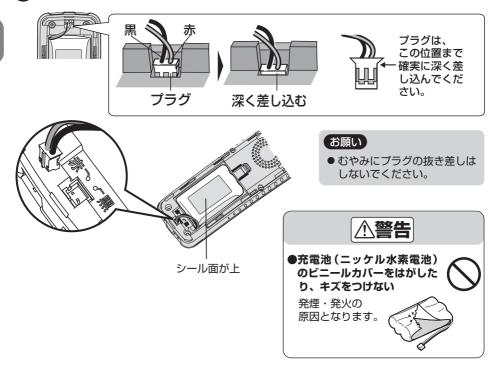
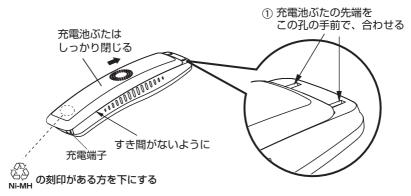
シール面が上

お願い

- むやみにプラグの抜き差しはしないでください。

⚠警告

●充電池（ニッケル水素電池）のビニールカバーをはがしたり、キズをつけない

発煙・発火の原因となります。

❷ 充電池ぶたを閉じる（コードをふたで、はさまないように。）

② 充電池ぶたを子機に均等に密着させて、矢印の方向にスライドさせて閉じる

3 受話子機・子機を置き、10時間以上、充電する

■ 子機をお使いの場合

※受話子機を充電器に置いても、充電できません。

使用時間について	待ち受け時間	約180時間	連続通話時間	約6時間

■ 充電が完了しても受話子機は充電ランプが青点灯、子機は発信ランプが緑点灯し続けます。

■ 必ず、親機を通電状態にしてから、通話圏内で充電してください。
・「通話圏外」（または「親機サーチ中」）と「圏外」が表示されているときは、通常よりも充電に時間がかかります。

■ 充電池が消耗していて使えないときは、受話子機を親機に、子機を充電器にのせてもすぐに点灯しません。
→約10分間、親機または充電器に置いたままにしてください。
・充電しても液晶画面に何も表示されないときや、充電ランプが青点灯、発信ランプが緑点灯しないときは、次の（a）または（b）の操作を行なってください。
（a）受話子機は親機からとって、もう一度親機に戻してください。子機は充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。
（b）充電池ぶたをあけ、充電池のプラグを抜き差しし、プラグの向きと差し込みの深さを確認して充電池ぶたを閉じてください。

■ 受話子機・子機をお使いのあとや使わないときは、必ず、受話子機は親機に、子機は充電器に戻してください。（充電し続けても、故障することはありません。）
戻さないと、まったく使わなくても充電池は徐々に消耗します。消耗していて使えないまま数週間放置すると充電できないことがあり、充電池の交換が必要になります。1週間以上充電しない場合には、消耗を防ぐため充電池を取り外してください。

受話子機・子機の要充電表示について

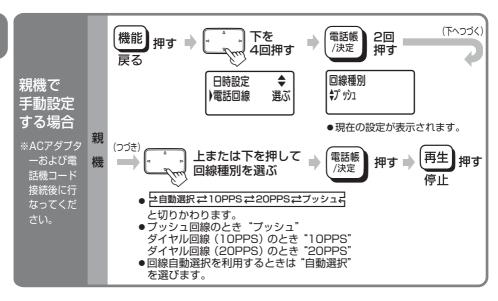
※充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、受話子機・子機は使用できなくなります。

（1）充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、液晶画面に「電池残量が　ありません」と表示されます。電話がかかってきても呼出音は鳴りません。また、電話にでることもできません。（なお、子機は充電器上にあるときに液晶画面が通常状態に戻れば、使用することができます。）

（2）通話中に充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、「ピピピ…ピピピ…」と警告音が鳴り、電話が切れます。

回線種別（プッシュ／ダイヤル）の設定

（親機）

自動で回線種別（プッシュ／ダイヤル）を判定できなかったときに**親機で設定してください**。
（回線種別がわからないときは、ご契約の電話会社へお問い合わせください。）
親機で設定すると、親機や受話子機・子機で利用することができます。

■ 回線種別を設定後、177（天気予報）など（有料）に電話をかけて、電話がかけられるか確認してください。（かけられないときは最初からやり直して、回線の種別を変えてください。）

■ 下記のような移動・変更（以前の電話回線から変わった）などにより、電話がかけられない場合は、回線種別を設定し直してください。
- 電話回線の種別をダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線に変更したとき
- ISDN回線、ADSL回線に変更したとき
- 引越などで、電話機を別の場所に移動したとき

■ 下記のような場合は、回線種別で自動選択をはたらかせても、回線種別が正しく選べません。電話がかけられない場合は、電話回線を手動で設定してください。

- ●スプリッタ 一体型ADSLモデムなどのADSL関連機器につないだとき
- ●フュージョン・コミュニケーションズ（東京電話）／QTNet（九州電話）アダプターにつないだとき
- ●LCR／ACR用アダプターにつないだとき
- ●ファクシミリにつないだとき
- ●ホームテレホンや構内交換機（PBX）などの内線電話番号としてお使いになるとき
- ●電話回線の事情などで合わないとき

（2007年7月現在）

日付と時刻の設定

現在の日付と時刻を設定します。
本機の時計は、電源が入ると（受話子機・子機は充電池をセットすると）、自動的に2007年1月1日午前0時から動き始めます。着信履歴（64ページ）の日付と時刻は、ここで設定する時計をもとに記録されます。留守録音された用件（39ページ）や通話録音（28ページ）した内容に、日付と時刻を記録（**タイムスタンプ**）するには、親機の時計を合わせてください。
受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは、受話子機・子機ごとに時計を合わせてください。

親機や受話子機・子機で時計を合わせる場合

親機

[機能/戻る] 押す → 下を3回押す → [電話帳/決定] 押す （下へつづく）

電話帳受信
▶日時設定　選ぶ

●すでに設定されているときは、設定されている日付と時刻が表示されます。

（つづき）→ 年月日と時刻（24時間制）を入力する → [電話帳/決定] 押す → [再生/停止] 押す

2007年
12月24日 12：34

（例）“2007年12月24日午後12時34分”のとき
[0わをん] [7まPQRS] [1あ] [2かABC] [2かABC] [4たGHI] [1あ] [2かABC] [3さDEF] [4たGHI]
西暦(2桁)　日付(4桁)　時刻(4桁)

●修正するときは、カーソルを移動させて入力し直してください。

受話子機・子機

[録音/戻る 機能] 押す → 下を4回押す → [.決定 電話帳] 押す （下へつづく）

電話帳受信
▶日時設定

●すでに設定されているときは、設定されている日付と時刻が表示されます。

（つづき）→ 年月日と時刻（24時間制）を入力する → [.決定 電話帳] 押す → [切] 押す

2007年
12月24日 12：34

（例）“2007年12月24日午後12時34分”のとき
[0わをん] [7まPQRS] [1あ] [2かABC] [2かABC] [4たGHI] [1あ] [2かABC] [3さDEF] [4たGHI]
西暦(2桁)　日付(4桁)　時刻(4桁)

●修正するときは、カーソルを移動させて入力し直してください。

■ **確認するときは、最初から操作を行ない、年月日と時刻を入力する前に、親機は [再生/停止] 、受話子機・子機は [切] を押します。**

おしらせ

●西暦は2000年から2099年まで設定できます。
●現在日時と誤差が生じた場合は、日付と時刻を設定し直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）

ひかり電話・直収電話・PBXをご利用の方へ

（親機）

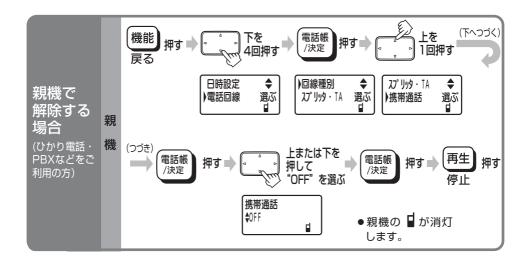
本機は、NTTコミュニケーションズ株式会社の「固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）」をそのままご利用いただけるよう、お買い上げ時は、「携帯通話プリセット機能」が「ON（IP電話利用なし）」に設定されています。携帯電話へ電話をかけると、自動的に「0033」をつけて発信します。

ひかり電話・直収電話・構内交換機（PBX）をご利用の方は

「携帯通話プリセット機能」を「OFF」（解除）にしてご使用ください。

そのままご使用になると…

■ 相手の携帯電話につながらない場合があります。
■ 外線発信番号（例：0）を押しても、ダイヤルが発信されないなどの不具合が生じます。

かける／受ける

親機・受話子機や子機で電話をかける場合	親機・受話子機	受話子機をとる （親機上にないときは [外線] を押す）	➡ ツー音が聞こえたら親機でダイヤルする	➡ 話す	➡ 通話が終わったら受話子機を戻す （または [切] を押す）
	子機	充電器からとる （充電器上にないときは [外線] を押す）	➡ ツー音が聞こえたらダイヤルする	➡ 話す	➡ 通話が終わったら充電器に戻す （または [切] を押す）

親機・受話子機や子機で電話を受ける場合	親機・受話子機	呼出音が鳴ったら、受話子機をとる （親機上にないときは [外線] を押す）	➡ 話す	➡ 通話が終わったら受話子機を戻す （または [切] を押す）
	子機	呼出音が鳴ったら、充電器からとる （充電器上にないときは [外線] を押す）	➡ 話す	➡ 通話が終わったら充電器に戻す （または [切] を押す）

電話機能

ご注意

- クイック通話設定時（102ページ）、子機を充電器からとると [外線] 発信ランプが点滅します。
- 外線通話中、ドアホンの呼出音が鳴っている間（数秒間）は、通話が中断されます。
- ISDN回線やADSL回線（IP電話サービス）をご利用の場合および事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、相手の声が聞きとりにくくなったり、反響する場合があります。この場合は「スプリッタ・TA設定」（110ページ）を行なってください。（症状が緩和される場合があります。）
- 携帯通話プリセット機能（86～91ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の「 [携帯] 」が約5秒間点滅します。なお、自動付与される事業者識別番号は、液晶画面に表示されません。
- 受話子機が親機上にある場合、受話子機をとり、親機でダイヤルすると、そのまま受話子機で話すことができます。
- 電話をかけようとしたときに、受話子機（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、「キャッチホンII やマジックボックスのメッセージ預かり」の通知音です。
- 電話番号を入力したあとに、親機は受話子機をとる、子機は [外線] を押しても、電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）
- 受話子機が親機上にないときは、親機と受話子機はそれぞれ設定されている呼出音で鳴ります。
- 受話子機が親機上にあるときは、親機のみ呼出音が鳴ります。（受話子機は鳴りません。）

通話時間について

- 液晶画面で通話時間を表示します。あくまでも目安としてご使用ください。ただし、受話子機は表示されません。通話時間のかわりに「<通話中>」と表示されます。（次の場合、入力した電話番号が液晶画面にすべて表示されてから、通話時間の表示が始まるため、電話番号の桁数によって通話時間の表示開始が異なります。【発信履歴・電話帳・短縮ダイヤル・先押しダイヤル・着信履歴・リターンダイヤルでかけた場合】）

リダイヤル／発信履歴

最後にかけた相手に簡単な操作でかけ直すことができます。（**リダイヤル**）
電話をかけたとき相手先の電話番号を、親機と受話子機・子機それぞれに新しい順に最大10件／20桁まで自動的に記録します。（**発信履歴**）
リダイヤルや発信履歴を利用して、簡単な操作でかけ直すことができます。

親機や受話子機・子機で発信履歴から選んでかけ直す場合

受話子機・子機で特番ダイヤルを使ってかけ直す場合

■ 特番ダイヤルについては、63ページをご覧ください。

親機や受話子機・子機で発信履歴を消去する場合

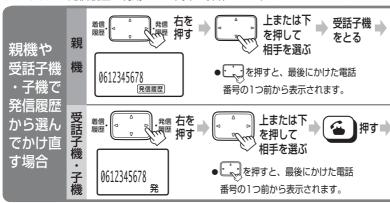
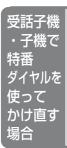
♪ワンポイント

リダイヤルでかける

親機は、受話子機をとり、ツー音が聞こえたら

右を押してください。

受話子機は親機から、子機は充電器からとり（親機上または充電器上にないときは 🕾 を押し）、ツー音が聞こえたら

着信・履歴　発信・履歴　右を押してください。

特番ダイヤルを入力する（最大10桁） → 🕾 押す → 通話が終わったら受話子機を親機に、子機を充電器に戻す（または 切 押す）

（例）“184”を入力したとき

発信履歴について

- 発信履歴が10件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 電話帳や短縮ダイヤルを利用して電話をかけると、電話帳に登録した名前と電話番号が記録され、名前が表示されます。このとき、＃を押すと、電話番号の表示に切りかわります。もう一度押すと名前の表示に戻ります。ただし、受話子機でかけたときは、受話子機には名前と電話番号が記録されますが、親機には電話番号のみ記録されます。また、親機で電話帳や短縮ダイヤルを表示させてから受話子機をとってかけたときは、親機にのみ名前と電話番号が記録されます。受話子機には電話番号のみ記録されます。
- 携帯通話プリセット機能（86〜91ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の「 」が約5秒間点滅します。ただし事業者識別番号は、リダイヤルや発信履歴には記録されません。
- ＊、＃、ポーズ（48ページ）なども1桁として記録されます。

上を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

▶消去(一件)　◆
　消去(全件)　選ぶ

- 一度にすべて消去したいときは、ここでさらに下を1回押して“消去（全件）”を選びます。

上を2回押す → ・決定 電話帳 押す → ・決定 電話帳 押す → 切 押す

▶消去(一件)
　消去(全件)

- 一度にすべて消去したいときは、ここでさらに下を1回押して“消去（全件）”を選びます。

消去しますか?
YES=[決定]

電話機能

ハンズフリー通話をする

受話子機や子機を持たずに通話することができます。相手の声はスピーカーから聞こえます。
話すときはマイクに向かって話します。（ただし、停電中は電話をかけることも受けることもできません。）

電話をかける場合

親機は 発信／ハンズフリー 、受話子機は（ハンズフリー）、子機は（ハンズフリー）を押し、ツー音が聞こえたらダイヤルする

● 電話番号を入力したあとに、親機は 発信／ハンズフリー 、受話子機は（ハンズフリー）、子機は（ハンズフリー）を押しても電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）

電話を受ける場合

親機は 発信／ハンズフリー 、受話子機は（ハンズフリー）、子機は（ハンズフリー）を押す

■ ハンズフリーで内線通話や子機間通話をすることができます。親機は 内線（保留/文字） を押して内線にでてください。受話子機・子機は呼出した相手がでたあと、または呼出されて内線にでたあと受話子機は（ハンズフリー）、子機は（ハンズフリー） を押してください。

■ ハンズフリー通話を終わるときは、親機は外線通話のときは 発信／ハンズフリー 、内線通話のときは 再生／停止 、受話子機・子機は 切 を押します。

■ ハンズフリー通話中は、親機の液晶画面に（ハンズフリー表示）、受話子機・子機の液晶画面に（ハンズフリー表示）が表示されます。

■ 受話子機でハンズフリー通話中は、液晶画面には通話時間のかわりに「<通話中>」と表示されます。

■ 通常の通話に戻るには、親機は受話子機をとる、受話子機は（ハンズフリー）、子機は（ハンズフリー）をもう一度を押すか、子機は充電器上にあるときは充電器からとります。

（ただし、ドアホンから呼出があると、約30秒以上たつまで、通常の通話に戻ることはできません。）

ハンズフリー通話を使用するときのご注意

騒音のない静かな場所でご使用ください。

● 周囲にラジオやテレビ等の音源や、エアコンの吹き出し音（サー音）などの騒音があると、音がとぎれる場合があります。
● マイクからの距離は、約50cmが目安です。離れすぎると相手に声が届きにくくなります。また、近すぎると声が大きすぎて反響し、相手の声が聞きとりにくくなります。
● 周りの音が大きいときや騒がしいときは、自分の声や相手の声がとぎれて会話しにくくなることがあります。
● 相手の話がいったん終わったところで話すと、スムーズな会話をすることができます。
● 相手の声が小さいときは、 上下左右（選択） を押してスピーカー音量を大きくしてください。
● 受話子機・子機を手に持ってレシーバーを耳に当てた状態では、ハンズフリー通話をご使用にならないでください。
● 天気予報（177）など、連続してスピーカーで聞く場合は、音声がとぎれる場合があります。

保留する

通話中、相手に待ってもらう間、保留メロディ（「曲名：カノン」）を流すことができます。（保留）
こちらの声や音は、相手には聞こえません。（保留メロディは1種類です。）

親機や受話子機・子機で通話中に待ってもらう場合

親機

外線通話中に 保留/文字 内線 押す ➡ 通話に戻る（保留を解除する）には 保留/文字 内線 押す

●相手に保留メロディが流れます。

受話子機・子機

外線通話中に 内線 保留/文字 押す ➡ 通話に戻る（保留を解除する）には

保留/文字 押す

●相手に保留メロディが流れます。

おしらせ

●内線通話やドアホン通話は保留できません。
●外からの電話を保留している状態が約15〜16分間続くと、自動的に電話は切れます。
●親機でハンズフリー通話中や受話子機・子機で保留した電話は、親機は保留したあと 再生／停止 、受話子機・子機は保留したあと親機または充電器に戻すか 切 を押さないと、保留した親機や受話子機・子機以外で、通話に戻ることはできません。

通話を録音する（通話録音）

通話中の会話を録音することができます。（最大約10分間）
■ **録音時間は、用件や留守番の自作メッセージの長さによって短くなります。**
■ **必ず表示を確認して、ゆっくり操作してください。素早く押すと、録音開始や停止ができない場合があります。**
■ **親機ではできません。**

受話子機・子機で録音する場合

受話子機・子機

外線通話中に 録音/戻る 機能 押す ➡ 録音を終わらせるには 録音/戻る 機能 押す

<通話録音中>

- 会話が録音されます。
- 発信時およびナンバー・ディスプレイご利用時は、電話番号も表示されます。

親機や受話子機・子機で録音した内容を聞く場合

親機

再生/停止 押す

- 用件（39ページ）も一緒に再生されます。

受話子機・子機

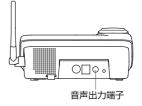
録音/戻る 機能 押す ➡ 決定 電話帳 押す ➡ 決定 電話帳 押す

- 用件（39ページ）も一緒に再生されます。

♪ワンポイント

通話中の会話を別の録音機器で録音する

本機の音声出力端子を、市販のモノラルオーディオケーブル（3.5φ）で接続すると、通話中の会話やすでに録音した内容を、別の録音機器に録音することができます。

- あらかじめ、本機の差込口のスペースや、録音する機器のジャックの形状を確認してから、ケーブルをお買い求めください。
- 録音する機器の端子がマイク入力端子の場合は、抵抗入りのケーブルをご利用ください。
- すでに録音した内容を、別の機器に録音するときは、本機と別の機器をケーブルで接続し、親機で再生してください。
- 通話録音するときは、必ず受話子機や子機で通話してください。音声出力が安定しない場合があります。（ハンズフリー通話を録音すると、会話が正しく録音されない場合があります。）

- 次の場合は、録音を終了します。
  - ・内線／保留／文字 を押したとき
  - ・録音可能時間がなくなったとき
  - ・通話を終わらせたとき
- 次の場合は、本機で通話録音することができません。
  - ・録音の残り時間がないとき
  - ・録音件数が59件あるとき
  - ・内線通話中／子機間通話中／三者通話中／ドアホン通話中
    （受話子機を含め子機を3台以上お使いのときは、子機間通話中に別の子機で通話録音することができます。）
- 約1秒程度の短い録音は、用件1件として認識されない場合があります。
- 録音中にキャッチホンが入ると、キャッチホンの信号音（「ピポッ、ジャー」または「ピポッ」）が録音されます。
- 録音中に 消去／キャッチ を押してキャッチホンに応答しても、通話録音を継続します。このとき、液晶画面は、キャッチホンの表示を優先します。
- 別の録音機器（録音先）で再生した場合、利用環境によっては、録音した内容が適切な音量・音質で再生されない場合があります。必要に応じて、録音先の機器で調整してください。

サービスを利用するとき キャッチホンの切りかえ

NTTのキャッチホンサービスにご契約されると、通話中にかかってきた別の相手とお話しすることができます。また、構内交換機（PBX）の転送の場合にも便利です。

■ キャッチホンサービスは、NTTへのお申し込みが必要です。（有料）　ご契約に関しては、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

キャッチホンを受ける

通話中に

キャッチホンの信号「プッ、プッ・・・」音が聞こえたら

親 機：［消去／キャッチ］押す

受話子機・子 機：［キャッチ／消去］押す

● キャッチホンで割り込んできた相手に切りかわります。
● もう一度押すと、元の相手との通話に戻ります。

おしらせ

● キャッチホンサービスをご利用のとき、［消去／キャッチ］を押してから、新しくかかってきた人につながるまで、多少時間がかかることがあります。
● ファクシミリに接続すると、キャッチホンサービスを利用できない場合があります。必ず、ファクシミリに付属の取扱説明書をご覧ください。
● 電話をかけようとしたときに、親機または受話子機・子機から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、「キャッチホンⅡ やマジックボックスのメッセージ預かり」の通知音です。

サービスを利用するとき プッシュホンの信号

ダイヤル回線をご使用でも、相手を呼出したあとにトーンボタンを押して、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。

プッシュホンサービスを利用する（トーン信号を送る）

各種サービスにダイヤルする

↓

電話がつながり、案内サービスが流れたら

親 機：［＊ トーン］押す

受話子機・子 機： 押す

↓

アナウンスにしたがって操作する

● これ以降は、ダイヤルボタンを押すと、トーン信号が送られます。
● 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号に戻ります。

トーン信号とは、プッシュ回線で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でも通話中に［＊］を押すことにより、このトーン信号を出すことができます。プッシュ回線をお使いの方は、必要ありません。

おしらせ

● 新幹線のチケット予約など、プッシュ回線のご契約が必要な場合があります。
［＊］を使ってもサービスが利用できないときは、サービス提供先にお問い合わせください。

電話機能

内線で話す（内線通話／子機間通話）

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは、親機や受話子機・すべての子機を一斉に呼出すこともできます。（**一斉呼出**）
また、受話子機を含め子機が1台のときでも、親機から、すべての子機に一斉に呼びかけることができます。（**呼びかけ内線**）　呼びかけ内線は、子機から、親機や他のすべての子機に呼びかけたり、外線通話中に呼びかけたりすることはできません。

■ 子機どうしで話すには、TF-FV7000をお買い上げの場合、子機の増設が必要です。（107ページ）
■ 受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは、親機または受話子機・子機が外線通話中に、使用していないその他の子機または親機・受話子機で、内線通話や子機間通話をすることができます。ただし、親機と受話子機で話をすることはできません。

テレホン ホーム

親機から受話子機・子機を呼出して話をする場合

親　機（送り手）

保留/文字 内線 押す

内線呼出
♦受話子機

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは （上下キー） 上または下を押して通話先を選ぶ

●受話子機の内線番号（＊トーン）または子機の内線番号（1あ ～ 3さDEF）を押すと 電話帳／決定 を押さずに、呼出すことができます。

電話帳/決定 押す

内線
受話子機

ハンズフリー通話で話す

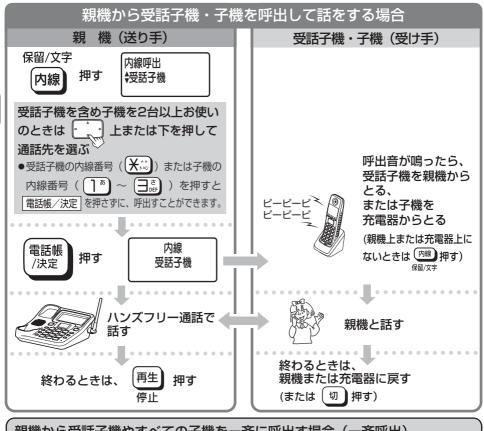
終わるときは、 再生/停止 押す

受話子機・子機（受け手）

ピーピーピ
ピーピーピ

呼出音が鳴ったら、受話子機を親機からとる、
または子機を充電器からとる
（親機上または充電器上にないときは 内線（保留/文字） 押す）

親機と話す

終わるときは、
親機または充電器に戻す
（または 切 押す）

親機から受話子機やすべての子機を一斉に呼出す場合（一斉呼出）

外線通話中にもこの機能を利用して電話をまわすことができます。（このとき、親機から受話子機を一斉呼出で呼出すことはできません。）

保留/文字 内線 押す → 上または下を押して“一斉呼出”を選ぶ → 電話帳/決定 押す 内線にでた相手とハンズフリーで話す

（受話子機とすべての子機の呼出音が鳴る）

● “一斉呼出”を選ばずに ＃記号 を押すと、 電話帳／決定 を押さずに受話子機とすべての子機を呼出すことができます。

おしらせ

●内線通話は、通話料金はかかりません。
●送り手が呼出しを止めたいときは、 内線／保留／文字 または 再生／停止 を押してください。

次ページへつづく

内線通話中や子機間通話中に外から電話がかかってきたときは

内線通話や子機間通話が自動的に終わり、外からの着信の呼出音（94ページ）が鳴り始めます。

■親機で話すには

発信 を押す（外の相手と話せる）
ハンズフリー

■受話子機・子機で話すには

を押す（外の相手と話せる）

受話子機・子機から親機（または他の子機）を呼出して話をする場合

受話子機・子機（送り手）

（例）受話子機を含め子機を1台使用しているとき

内線（保留/文字） 押す

内線呼出
▲▼親機

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは 上または下を押して通話先を選ぶ

●親機の内線番号（0）または子機の内線番号（1 ～ 3）を押すと 電話帳／決定 を押さずに、呼出すことができます。

決定（電話帳） 押す

内線
親機

親機（または他の子機）と話す

終わるときは、
受話子機を親機に、子機を充電器に戻す
（または 切 押す）

親機・他の子機（受け手）

呼出音が鳴ったら、
親機は 内線（保留/文字） 押す

子機は充電器からとる
(充電器上にないときは 内線（保留/文字） 押す)

受話子機・子機と話す
親機はハンズフリーで話す

終わるときは、親機は 再生／停止 押す
子機を充電器に戻す(または 切 押す)

受話子機・子機から親機や他のすべての子機を一斉に呼出す場合（一斉呼出）

外線通話中にもこの機能を利用して電話をまわすことができます。(このとき、受話子機から親機を一斉呼出で呼出すことはできません。)

内線（保留/文字） 押す → 上または下を押して"一斉呼出"を選ぶ → 決定（電話帳） 押す → 内線にでた相手と話す

（親機とすべての子機の呼出音が鳴る）

●"一斉呼出"を選ばずに #（記号） を押すと、 電話帳／決定 を押さずに親機とすべての子機を呼出すことができます。

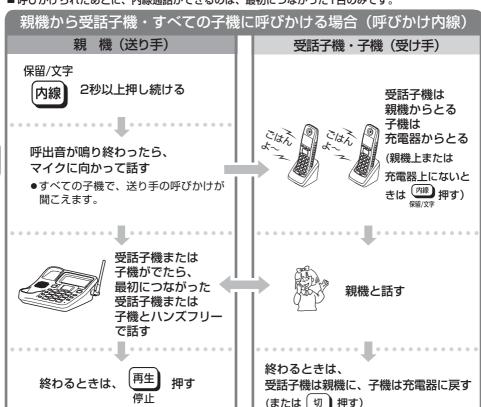
おしらせ

●内線通話や子機間通話は、通話料金はかかりません。
●送り手が呼出しを止めたいときは、 内線／保留／文字 または 切 を押してください。
●子機から親機を呼出したとき、受話子機をとっても、子機と話すことはできません。

内線で話す（内線通話／子機間通話）

親機から受話子機やすべての子機に呼びかけて、相手が出ると、そのまま話すことができます。
■ 外線通話中は、この機能は利用できません。
■ 受話子機・子機から、親機や受話子機・他のすべての子機に呼びかけることはできません。
■ 呼びかけられたあとに、内線通話ができるのは、最初につながった1台のみです。

親機から受話子機・すべての子機に呼びかける場合（呼びかけ内線）

親　機（送り手）	受話子機・子機（受け手）
保留/文字 内線 2秒以上押し続ける	受話子機は親機からとる 子機は充電器からとる (親機上または充電器上にないときは 内線（保留/文字） 押す)
呼出音が鳴り終わったら、マイクに向かって話す ●すべての子機で、送り手の呼びかけが聞こえます。	ごはんよ～　ごはんよ～
受話子機または子機がでたら、最初につながった受話子機または子機とハンズフリーで話す	親機と話す
終わるときは、 再生（停止） 押す	終わるときは、 受話子機は親機に、子機は充電器に戻す (または 切 押す)

●送り手が呼出しを止めたいときは、親機の 内線／保留／文字 または 再生／停止 を押してください。

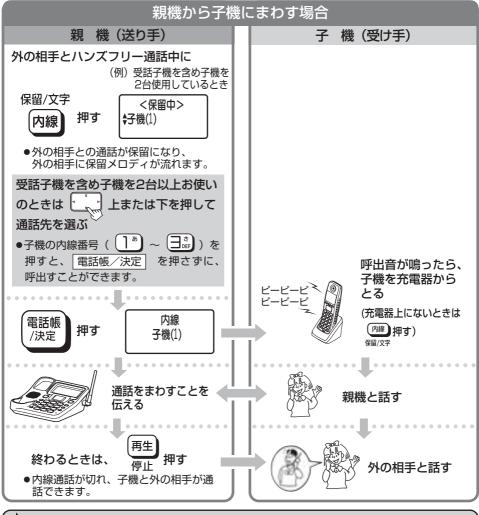
電話をまわす（保留転送／子機間転送）次ページへつづく

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは、外からの電話を子機にまわすことができます。

■ 親機から受話子機にまわすことはできません。

■ TF-FV7000をお使いのときは、子機を1台以上増設した場合ご利用になれます。

親機から子機にまわす場合

親　機（送り手）	子　機（受け手）
外の相手とハンズフリー通話中に （例）受話子機を含め子機を2台使用しているとき 保留/文字 内線 押す <保留中> 子機(1) ●外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れます。 受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは 上または下を押して通話先を選ぶ ●子機の内線番号（1～3）を押すと、電話帳／決定 を押さずに、呼出すことができます。	
電話帳/決定 押す 内線 子機(1)	ピーピーピ ピーピーピ 呼出音が鳴ったら、子機を充電器からとる (充電器上にないときは 内線 押す) 保留/文字
通話をまわすことを伝える	親機と話す
終わるときは、再生/停止 押す ●内線通話が切れ、子機と外の相手が通話できます。	外の相手と話す

♪ワンポイント

親機で保留中に、受話子機や子機で電話にでることができます。

親機で外の相手とハンズフリー通話中に 内線／保留／文字 を押し、そのまま 再生／停止 を押します。そのあと、受話子機やいずれかの子機で電話にでる操作（受話子機は親機からとるか ☎ を押す、子機は充電器からとるか ☎ を押す）と、外の相手と通話することができま

●送り手が呼出しを止めたいときや、電話をまわす操作を中断したいときは、内線／保留／文字 を押してください。保留中の状態に戻ります。

テレホーン ホーム

電話をまわす（保留転送／子機間転送）

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは、外からの電話を親機（または他の子機）にまわすことができます。
■ **受話子機から親機にまわすことはできません。**
■ **TF-FV7000をお使いのときは、子機を1台以上増設した場合ご利用になれます。**

受話子機・子機から親機（または他の子機）にまわす場合

受話子機・子機（送り手）

外の相手と通話中に（例）受話子機を含め子機を2台使用しているとき

内線（保留/文字）押す

<保留中>
子機(1)

● 外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れます。

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは 上または下を押して通話先を選ぶ

● 親機の内線番号（0）または子機の内線番号（1 ～ 3）を押すと 電話帳／決定 を押さずに、呼出すことができます。

電話帳（決定）押す

内線
子機(1)

通話をまわすことを伝える

終わるときは、受話子機は親機に、子機は充電器に戻す
（または 切 押す）

● 内線通話が切れ、親機（または他の子機）と外の相手が通話できます。

親機・他の子機（受け手）

呼出音が鳴ったら、親機は 内線（保留/文字） 押す、子機は充電器からとる
（充電器上にないときは 内線（保留/文字） 押す）

子機と話す
親機はハンズフリーで話す

外の相手と話す

♪ワンポイント

受話子機・子機で保留中に、親機や他の子機で電話にでることができます。

受話子機・子機で外の相手と通話中に 内線／保留／文字 を押し、送り手と受け手の両方に戻すか 切 を押す、子機は充電器に戻すか 切 を押します。そのあと、親機や他の子機で電話にでる操作（親機は ハンズフリー を押す、子機は充電器からとるか 外線 を押す）と、外の相手と通話することができます。

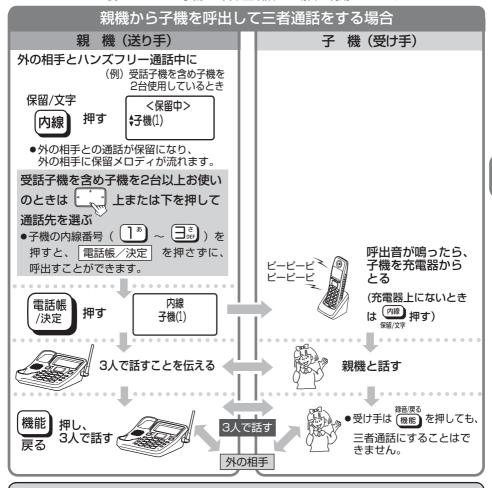
おしらせ

● 送り手が呼出しを止めたいときや、電話をまわす操作を中断したいときは、内線／保留／文字 を押してください。保留中の状態に戻ります。
● 子機から親機を呼出したとき、受話子機をとっても、子機と話すことはできません。
● 親機または受話子機が内線通話中の場合、子機から親機または受話子機に外から電話をまわすことはできません。

子機（受話子機）と親機（子機）と外線の3人で話す（三者通話）次ページへつづく

受話子機・子機と親機（または他の子機）と外の相手の3人で同時に話すことができます。（三者通話）

■ 親機と受話子機と外の相手の3人で三者通話することはできません。

■ TF-FV7000をお使いのときは、子機を1台以上増設した場合ご利用になれます。

ご注意

- ハンズフリー（26ページ）で三者通話をすることができます。
  なお、親機と子機の距離・受話子機や子機と子機の距離が近い場合や、送り手と受け手の両方でハンズフリー通話をした場合、声が反響して相手の声が聞きとりにくくなります。
- 三者通話中に受話子機や別の子機（または親機）に保留転送するときは、三者通話中の親機または受話子機・子機のどちらかで通話を止める操作（親機は ハンズフリー を押す、受話子機・子機は 切 押す）をし、二者通話にしてから保留転送（33～34ページ）の操作を行なってください。（親機から受話子機、または受話子機から親機へ保留転送はできません。）
- 三者通話中にキャッチホン（29ページ）の信号が聞こえたときは、 消去／キャッチ を押すと、通話中にかかってきた別の相手と三者通話のまま話をすることができます。（三者通話中の親機でも受話子機・子機でも操作することができます。）この場合でも三者通話を止める操作をしなければ、三者通話は継続されます。
- キャッチホン・ディスプレイ（62ページ）をご利用の場合、通話中にかかってきた別の相手の電話番号は、三者通話中の親機または受話子機・子機の液晶画面に表示されます。

子機（受話子機）と親機（子機）と外線の3人で話す（三者通話）

受話子機・子機から親機（または他の子機）を呼出して三者通話をする場合

受話子機・子機（送り手）

外の相手と通話中に （例）受話子機を含め子機を2台使用しているとき

内線（保留/文字） 押す

<保留中>
子機(1)

●外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れます。

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは 上または下を押して通話先を選ぶ

●親機の内線番号（0）または子機の内線番号（1 ～ 3）を押すと 電話帳／決定 を押さずに、呼出すことができます。

電話帳（決定） 押す

内線
子機(1)

3人で話すことを伝える

録音/戻る 機能 押し、3人で話す

親機・他の子機（受け手）

ピーピーピ
ピーピーピ

呼出音が鳴ったら、親機は 内線（保留/文字） 押す、子機は充電器からとる
(充電器上にないときは 内線（保留/文字） 押す)

子機と話す
親機はハンズフリーで話す

●受け手は 機能（録音/戻る） を押しても、三者通話にすることはできません。

外の相手

ご注意（つづき）

- 子機から親機を呼出したとき、受話子機をとっても、子機と話すことはできません。
- 外の相手と話をしている親機（または受話子機・子機）に、他の子機（または親機・受話子機）が強制的に割り込んで三者通話にすることはできません。
- 三者通話中は、三者通話していない親機または子機の液晶画面に「回線使用中」と表示されます。（受話子機は親機上にないとき）なお、このときに登録・設定操作をしても、操作できない場合があります。液晶画面が通常状態（13・15ページ）に戻ってから、操作してください。
- 三者通話中の親機や受話子機・子機では、ダイヤルすることや保留することができません。
- 三者通話から二者通話にするときは、三者通話中の親機または受話子機・子機のどちらかで通話を止める操作（親機は ハンズフリー を押す、受話子機・子機は 切 を押す）をしてください。

留守セット／留守解除

応答メッセージを内蔵していますので、簡単に留守セットすることができます。

親機

■留守セットするとき

［留守］押す（点灯）

- 応答メッセージが流れて、留守セットされます。
- ［留守］が点滅しているときは、一度も聞いていない用件あるので、すべての用件を再生してください。(点滅から点灯に変わります。)

■留守解除するとき

［留守］押す（消灯）

- 留守解除され、新しい用件と着信日時（タイムスタンプ）が1件目から再生されます。
- 新しい用件を録音順に再生し、そのあと一度聞いた用件を録音順に再生します。

親機や受話子機・子機で留守セット／留守解除する場合

受話子機・子機

［機能］（録音/戻る）押す → 下を1回押す

画面表示：用件再生 ▶留守電操作

→ ［電話帳］（決定）押す

画面表示：▶留守番設定 応答メッセージ

→ ［電話帳］（決定）押す

画面表示：留守番設定 ÷OFF

- 現在の設定が表示されます。

（下へつづく）

（つづき）

■留守セットするとき

上または下を押して“ON”を選ぶ

画面表示：留守番設定 ÷ON

■留守解除するとき

上または下を押して“OFF”を選ぶ

画面表示：留守番設定 ÷OFF 留守

→ ［電話帳］（決定）押す → ［切］押す

- 留守セットすると、「留守を設定しました。」、留守解除すると、「留守解除しました。」と音声でお知らせします。

●親機でも子機でも、留守セットがわかります。

親機の［留守］が点灯しているときは、子機の液晶画面にも「**留守**」が表示されます。（逆に消灯しているときは、「**留守**」は表示されません。）

（親機のボタン）（子機の液晶画面）

内蔵（固定）応答メッセージについて

■固定メッセージ

「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

■応答専用メッセージ（選んで設定することはできません。）

※用件録音ができないとき(録音残量がないとき／59件録音されているとき)、自動的に切りかわります。

「ただ今、留守にしております。申し訳ありませんが、これ以上録音できません。のちほどおかけ直しください。」

おしらせ

- 親機の呼出音量を消音にしてから留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守応答できます。(**消音留守セット**)
- 消音留守セットしても、子機の呼出音は鳴ります。必要に応じて、子機の呼出音を消音に設定してください。

留守番機能を操作する

留守番電話の応答中に電話に出る場合

本機は、お買い上げ時、用件が録音されているときは、約3回目の呼出音でつながります。用件が録音されていないときは、約6回目の呼出音でつながります。呼出回数を変えたいときは、44ページの「着信ベル回数を変える」の操作を行なってください。

親機は [発信/ハンズフリー] を押す（受話子機は親機から、子機は充電器からとる、または [通話] を押す）

● 留守動作が自動的に停止します。

用件録音時間と件数について

■ 1件あたりの最大録音時間は、約5分です。

■ 合計約10分、件数では最大59件まで録音できます。

■ 録音の残り時間がないとき、または、録音件数が59件に達しているときは、応答メッセージは、応答専用メッセージに切りかわります。

■ 約8秒以上無音が続いたときや、相手が何も話さなかったとき、声が小さいときは、自動的に録音を終了します。

ガイダンスと再生の順番（用件再生イメージ図）

（例）新しい用件が3件、一度聞いた用件が2件のとき

留守応答中に相手を確認してから電話にでる（居留守モニター）

● 在宅中に留守セットしておくと、留守動作中に相手の声を親機や受話子機・子機のスピーカーで聞くことができます。（受話子機は親機上にないときのみ）
親機は、自動的にスピーカー拡声されます。（ただし、親機で消音を設定しているときは、スピーカーから相手の声は聞こえません。）
受話子機・子機は、留守動作中（受話子機・子機の液晶画面に「留守着信中」と表示されているとき）に、 [機能／録音／戻る] を押してください。受話子機・子機の液晶画面に「🔈」が表示されます。

● 子機は同時に2台までモニターできます。

● 留守セットしていなくても、外から電話がかかってきたときに [留守] を押すと、応答メッセージが流れ、留守番機能がはたらきます。（受話子機・子機ではできません。）
そのあと、留守セットされます。

● 留守動作中にドアホンから呼出しがあっても、ドアホンに応答することはできません。（すべての子機および親機でドアホンの呼出音は鳴ります。）この場合、一度、応答中の電話に最初にでて電話を切るか、留守動作が終了してから、ドアホンに応答してください。最初にドアホンの呼出音が鳴ってから約30秒を過ぎた場合は、ドアホンに呼びかける操作（82ページ）をしてください。

録音された用件を聞く（用件再生）

親機や受話子機・子機で用件を再生する場合
※通話録音した内容も一緒に再生されます。

親機

再生／停止 押す

- 新しい用件と着信日時（タイムスタンプ）が、1件目から再生されます。
- 新しい用件を録音順に再生し、そのあと一度聞いた用件を録音順に再生します。
- 新しい用件の再生が終わると 留守 の点滅が点灯に変わります。

受話子機・子機

録音/戻る 機能 押す ➡ 決定 電話帳 押す ➡ 決定 電話帳 押す ➡ 終わるときは 切 押す

画面表示：
1. ▶用件再生 / 留守電操作
2. ▶2:再生
3. 再生中 / 新しい用件

- このとき、2（か ABC）押しても再生されます。
- 2行目には「新しい用件」または「一度聞いた用件」と表示されます。

親機で用件をすべて消去する場合（用件全消去）

親機

消去／キャッチ 2秒以上押し続ける

- すべての用件が一度に消去されます。（通話録音した内容も一緒に消去されます。）

再生中にできること

	親機	受話子機・子機
いま再生中の用件を聞き直す	1（あ）⏮	1（あ）⏮
1つ前の用件を聞く	1（あ）▶ 1（あ）（続けて押す）	1（あ）▶ 1（あ）（続けて押す）
次の用件を聞く	3（さ DEF）⏭	3（さ DEF）⏭
個別消去（用件を1つずつ消去する）	消去／キャッチ	キャッチ／消去
再生を止める	再生／停止	切
再生を止めたとき、再び、1件目から再生する	再生／停止	このページの「親機や受話子機・子機で用件を再生する場合」の受話子機・子機の操作をする

■ ナンバー・ディスプレイを利用していると、受話子機・子機は用件再生中に、用件を録音した相手の電話番号が表示されます。（ナンバースタンプ）
受話子機・子機はこの状態で、電話をかける操作をすると、自動的にダイヤルされます。（リターンダイヤル）

■ すでに録音されたメッセージを、別の録音機器に録音することができます。（28ページ）
このとき録音される音量は、本機で再生する音量によって変化します。

■ 受話子機・子機は用件再生中、2 を押しても再生を止めることができます。このときは、通常状態に戻らず、「親機や受話子機・子機で用件を再生する場合」の2つ目の画面に戻ります。

応答メッセージについて

自分の声で応答メッセージをつくることができます。（自作メッセージ）
録音すると自動的に、内蔵されている固定メッセージから自作メッセージに切りかわります。

親機や受話子機・子機で自作メッセージを録音する場合

親機

機能／戻る 押す → 電話帳／決定 押す → 電話帳／決定 押す → 下を1回押す

▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ 呼出回数 選ぶ	▶再生 録音 選ぶ	再生 ▶録音 選ぶ

受話子機・子機

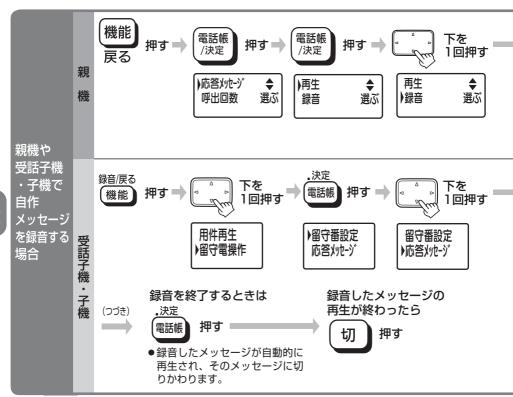
録音/戻る 機能 押す → 下を1回押す → 決定 電話帳 押す → 下を1回押す

用件再生 ▶留守電操作	▶留守番設定 応答ﾒｯｾｰｼﾞ	留守番設定 ▶応答ﾒｯｾｰｼﾞ

（つづき）

録音を終了するときは
決定 電話帳 押す

●録音したメッセージが自動的に再生され、そのメッセージに切りかわります。

録音したメッセージの再生が終わったら
切 押す

自作メッセージの例

「はい、○○です。
ただ今、出かけております。
ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

「録音がいっぱいです」と表示されたら・・・

録音残量がなくなると、自作メッセージをつくることができません。不要な用件を消去してください。（39ページ）

おしらせ

- 音楽などを録音すると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりする場合があります。
- 用件を録音できる時間（38ページ）は、自作メッセージの長さに応じて短くなります。
- 録音残量がない場合、録音時間の短い用件を1件消去しても録音できない場合があります。各用件の内容を確認し、複数の用件またはすべての用件を消去してください。（39ページ）
- 自作メッセージを録音していても、用件録音ができないときは、自動的に応答専用メッセージ（37ページ）に切りかわります。
- 応答メッセージがすでに録音されているときに、新たにメッセージを録音すると、新しい録音メッセージが上書きされます。

次ページへつづく

電話帳/決定
押す
録音しますか?
YES=[決定]
電話帳/決定
押し、
「ピーッ」と鳴ったら、
メッセージを録音する
(最大30秒)
録音中
終了=[決定]
録音を終了するときは
電話帳/決定
押す
録音したメッセージ
の再生が終わったら
再生
停止
押す
●録音したメッセージが自動的に再生され、
そのメッセージに切りかわります。
決定
電話帳
押す
▶再生
録音
下を
1回押す
再生
▶録音
決定
電話帳
押す
録音しますか?
YES=[決定]
決定
電話帳
押し、
(下へつづく)
「ピーッ」と鳴ったら、
メッセージを録音する
(最大30秒)
録音中
終了=[決定]

応答メッセージについて

電話帳/決定
押す
上または下を押して
メッセージを選ぶ
電話帳/決定
押す
再生
停止
押す
固定ﾒｯｾｰｼﾞ
▶自作ﾒｯｾｰｼﾞ
選ぶ
▶固定ﾒｯｾｰｼﾞ
自作ﾒｯｾｰｼﾞ
選ぶ
●現在の設定が表示されます。
●固定メッセージ⇄自作メッセージ
と切りかわります
決定
電話帳
押す
下を
2回押す
決定
電話帳
押す
上または下を
押して
メッセージを
選ぶ
(下へつづく)
●もう一度 決定 電話帳 を押すと、現在設定されている応答メッセージが再生されます。
録音
▶切替
固定ﾒｯｾｰｼﾞ
▶自作ﾒｯｾｰｼﾞ
▶固定ﾒｯｾｰｼﾞ
自作ﾒｯｾｰｼﾞ
●現在の設定が表示されます。
●固定メッセージ⇄自作メッセージ
と切りかわります
電話帳/決定
押す
電話帳/決定
押す
再生
停止
押す
消去しますか?
YES＝[決定]
決定
電話帳
押す
下を
3回押す
決定
電話帳
押す
決定
電話帳
押す
切
押す
切替
▶消去
消去しますか?
YES＝[決定]

留守番機能

着信ベル回数を変える

留守セットされているとき、応答メッセージが流れるまでの呼出回数を変えることができます。
お買い上げ時は、「トールセーバ」（46ページ）に設定されています。

親機で着信ベル回数を変える場合

親機

機能／戻る 押す → 電話帳／決定 押す → 下を1回押す （下へつづく）

画面表示：
▶応答メッセージ ◆
呼出回数 選ぶ

画面表示：
応答メッセージ ◆
▶呼出回数 選ぶ

（つづき）→ 電話帳／決定 押す → 上または下を押して呼出回数を選ぶ （下へつづく）

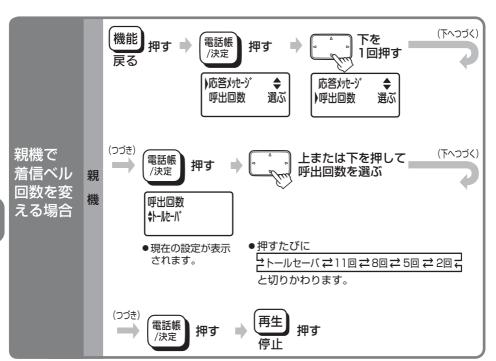
画面表示：
呼出回数
◆トールセーバ

● 現在の設定が表示されます。

● 押すたびに
トールセーバ ⇄ 11回 ⇄ 8回 ⇄ 5回 ⇄ 2回
と切りかわります。

（つづき）→ 電話帳／決定 押す → 再生／停止 押す

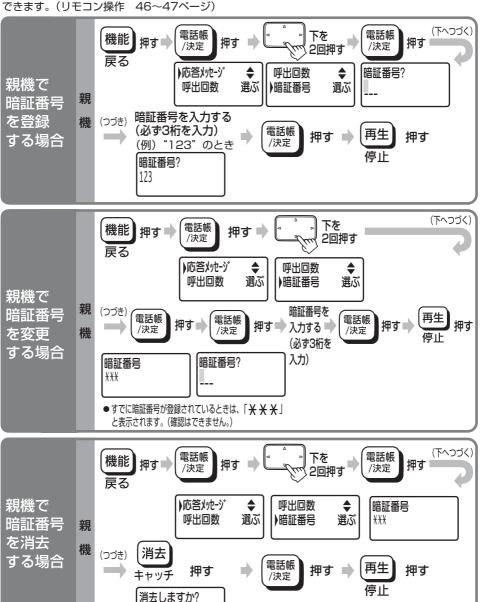
留守番機能

おしらせ

● 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出回数が一致しないことがあります。

暗証番号の登録

（親機）

暗証番号を登録すると、外出先から電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。（リモコン操作　46〜47ページ）

留守番機能

■ 暗証番号を登録すると、留守解除している状態でも、約15回呼出音が鳴ると応答専用メッセージで応答することができます。（通話料金がかかります。）このとき、応答専用メッセージは聞こえますが、暗証番号を押してリモコン操作をすると、用件の確認や留守セット操作などを行なうこともできます。（外出先から留守セットする　47ページ）

外出先から用件を聞く（リモコン操作）

暗証番号を登録すると外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。用件をすべて聞くと、約20秒間のリモコン待ち状態（次の動作を指示するボタンが押せる状態）になります。
必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。

1 暗証番号を登録する（45ページ）

2 お出かけ前に、留守セットする

親機の

押して点灯させる

再生中にできること

再生中にできること	操作
再生を止める	② （リモコン待ち状態に移る）
いま再生中の用件を聞き直す	①
1つ前の用件を聞く	① ▶ ① （約2秒以内に約1秒間隔で続けて押す）
次の用件を聞く	③
現在再生中の用件を消去する（個別消去）	＃ ▶ ④

3 外出先から用件を聞く

自宅に電話をかける

↓

応答メッセージが聞こえたら ＃ 暗証番号を押す（約8秒以内）

- 約30秒以内に、入力間隔を約8秒以上あけずに入力してください。

↓

新しい用件が1件目から再生される

- 再生が終わると「再生が終わりました」と聞こえます。
- 用件がないときは、「用件は録音されていません」と聞こえます。

↓

電話を切る

新しい用件が録音されているか否かを外出先で知る（トールセーバ機能）

外出先から電話して、新しい用件の有無を確認することができる機能です。

外から電話をかける

▶ **3回目の呼出音でつながったとき**
→新しい用件が録音されています。
▶ 暗証番号を入力すると、新しい用件1件目から再生します。

▶ **3回目の呼出音でつながらなかったとき**
→新しい用件が録音されていません。
（4回目の呼出音が聞こえてすぐに電話を切ると、通話料金がかかりません。このとき、電話を切らないと6回目で留守応答が始まります。）

- どちらの場合も、電話がつながったら通話料金がかかります。
- 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出音の回数が一致しないことがあります。

おしらせ

- 「＃ 暗証番号」を押しても、用件が再生されないときは、再度、「＃ 暗証番号」を押してください。
- 暗証番号を押し間違えても、電話は切れませんが、入力間隔を約8秒以上あけると、電話は切れます。
- 録音がいっぱいになると、自動的に応答専用メッセージ（37ページ）になります。録音された用件が必要ないときは、個別消去するか、リモコン操作で用件再生後、「再生が終わりました。録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」と聞こえたら ＃ を押してから、＊ を押して、用件をすべて消去してください。

再生終了後(20秒間)にできること

■ **用件をはじめから聞き直すには、(2)を押す**
(途中で再生を中止したときは、中止した用件は一度聞いた用件となり、一件目の用件から再生されます)

■ **留守セット／解除するには、(#)(6)を押す**

■ **用件をすべて消去するには、(#)(⋇) を押す**

外出先から留守セットする場合

外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞いたり、留守セットできます。

■ **あらかじめ暗証番号の登録が必要です。(45ページ)**

外出先から留守セットする場合

自宅に電話をかけ呼出音を約15回鳴らす

「ただ今、留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。」と聞こえたら、

(#) 暗証番号を押す

● 用件があるとき
→新しい用件の1件目から再生されます。このとき (2) を押す、または用件をすべて再生すると、リモコン待ち状態になります。

● 用件がないとき
→「用件は録音されていません」と聞こえ、リモコン待ち状態になります。

(#)(6) と押す

「留守を設定しました。」と聞こえたら、電話を切る

■ **リモコン操作がうまくできないときは**

症　状	対　応
留守セット／解除ができない	もう一度 (6) を押すか、(#) を押してから (6) を押す操作を素早く行なってください。
用件をすべて消去できない	もう一度 (⋇) を押すか、(#) を押してから (⋇) を押す操作を素早く行なってください。
個別消去できない	もう一度 (4) を押すか、(#) を押してから (4) を押す操作を素早く行なってください。
1つ前の用件を聞くことができない	同じ用件が繰り返し再生される場合は、もう一度 (1) を素早く2回押してください。

おしらせ

● リモコン操作で用件を聞いても、留守セットは解除されません。

電話帳に登録する

よく利用される電話番号と名前を、親機、受話子機・子機それぞれ最大100件まで登録しておくことができます。

■親機（または受話子機・子機）の電話帳に登録した内容を、子機（または親機や受話子機・他の子機）の電話帳にコピーできます。（60～61ページ）

親機や受話子機・子機で電話帳に登録する場合

親機

電話帳/決定 押す → 名前を入力する（最大 全角10文字／半角20文字） → 電話帳/決定 押す

名前?
残り 96件 [漢]

登録できる残りの件数を表示

（例）"目黒"のとき

目黒
> [漢]

（例）7まPQRS 2かABC ＊トーン 9らWXYZ （右） 電話帳/決定
（4回）（3回）（1回）（5回）（数回）

●文字入力のしかたは50～53ページをご覧ください。

受話子機・子機

決定 電話帳 押す → 名前を入力する（最大 全角10文字／半角20文字） → 決定 電話帳 押す

名前?
残り 96 件

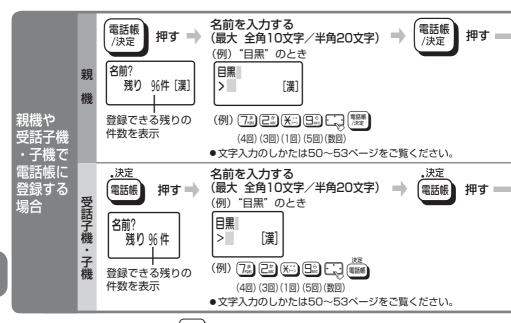
登録できる残りの件数を表示

（例）"目黒"のとき

目黒
> [漢]

（例）7まPQRS 2かABC ＊トーン 9らWXYZ （右） 決定 電話帳
（4回）（3回）（1回）（5回）（数回）

●文字入力のしかたは50～53ページをご覧ください。

■文字を修正したいときは、親機は 消去/キャッチ、受話子機・子機は キャッチ 消去 を押して、入力し直してください。

■スペースを入れるときは、英字・記号入力モードにしてから親機は 1あ 、受話子機・子機は 1あ を押してください。

■途中でやめるときは、親機は 再生/停止 、受話子機・子機は 切 を押してください。

♪ワンポイント

構内交換機（PBX）でご利用の場合

電話番号を登録するときに、ダイヤルとダイヤルの間でポーズボタンを押す（液晶画面に「P」と表示）と、約4秒間のポーズ（待ち時間）ができます。

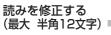
ポーズボタン

着信履歴 発信履歴 右を押す

（例）構内交換機（PBX）をご利用時の電話帳の登録方法
0などの外線接続番号＋（ポーズ）＋電話番号

おしらせ

●時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）の4件があらかじめ登録されています。（修正・消去もできます。）

●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、同一の電話番号を複数の名前で登録しないでください。正しく照合できなくなります。

読みを修正する（最大 半角12文字） → 電話帳/決定 押す → 市外局番から電話番号を入力する（最大20桁） → 電話帳/決定 押す

（例）“メグロ”のとき

読み?　[ｶﾅ]
ﾒｸﾞ

（例）7 2 ＊ 9
（4回）（3回）（1回）（5回）

●修正のしかたは51ページをご覧ください。

（例）“0312345678”のとき

電話番号?
0312345678

（例）0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

読みを修正する（最大 半角12文字） → 決定 電話帳 押す → 市外局番から電話番号を入力する（最大20桁） → 決定 電話帳 押す

（例）“メグロ”のとき

読み?　[ｶﾅ]
ﾒｸﾞ

（例）7 2 ＊ 9
（4回）（3回）（1回）（5回）

●修正のしかたは51ページをご覧ください。

（例）“0312345678”のとき

電話番号?
0312345678

（例）0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

親機や受話子機・子機で電話帳の内容を確認する場合

親機	上または下を押して相手を選ぶ	終わるときは 再生/停止	押す
受話子機・子機	上または下を押して相手を選ぶ	終わるときは 切	押す

●電話帳を表示しているときに、ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに書かれている50音の行（例：2 を押すと「か行」）の最初に登録されている名前が表示されます。**（一文字検索）**
ただし、0 を押したときは、「わ」から順に表示されます。

●英字・記号・数字を入力することはできません。

●読みの頭文字が小さい「ツ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」や「ヲ」の相手を検索することはできません。

●電話帳検索時に、上下左右（選択） の 下 を押すと下記の順番で表示されます。
読みが未入力→スペース、記号→数字→英字→小文字カタカナ（ヲ含む）→大文字カタカナ
よくかける相手を先に表示させたいときは、読みの前にスペースをつけて登録すると（例：「　サトウ」「　メグロ」…）、スペースの次の文字から50音順に表示されます。

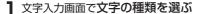
●電話帳に電話番号のみを登録した場合、「**読みが未入力**」として扱われます。それらが複数登録されている場合、検索時の表示順は、不定になります。（登録順には、表示されません。）

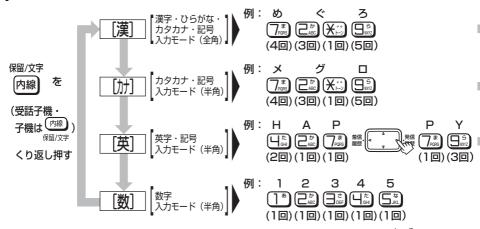
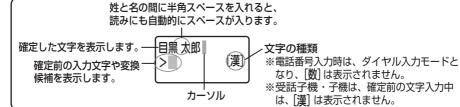
電話帳

文字を入力する

本機では、電話帳の登録（48〜49ページ）、名称登録（102〜103ページ）などの文字を入力して活用する機能があります。文字の入力が必要になったときは、このページを参照してください。

■全角記号・絵文字・区点コードの入力方法は、52〜53ページをご覧ください。

■親機のボタンと液晶画面で説明しています。子機も同様の操作です。

1 文字入力画面で**文字の種類を選ぶ**　**2** 文字を入力する

■まちがえたときは、消去 キャッチ（受話子機・子機は キャッチ 消去）を押します。

こんなときは

■同じボタンの文字を続けて入力するには　例：あい　あ 1 → 着信履歴・発信履歴（カーソルを右へ）→ い 1 1

■スペースを入れるには　[英]（英字・記号入力モード（半角））にしてから、1 を押す。

■カーソルを左に移動するには　着信履歴 を押す。

■カーソルを右に移動するには　発信履歴 を押す。

■途中で入力をやめるには　再生 停止（受話子機・子機は 切）を押す。

電話番号入力中は、カーソルを移動することはできません。
また、修正するには、修正したい数字まで 消去／キャッチ を押して、数字を消去してから、入力し直してください。

次ページへつづく

■ 漢字・全角カタカナに変換するには

を数回押して選ぶ

反転表示は変換中を示す

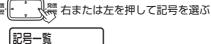
※変換前に　を押すと、
全角カタカナが表示されます。

希望の漢字が表示されたら

押す

●確定された文字が1行目に表示されます。

■ 半角記号を入力するには

[ｶﾅ]または[英]モードのときに [＃記号] 押し、記号一覧を
表示させてから、着信履歴・発信履歴 右または左を押して記号を選ぶ

反転表示は選択中を示す

電話帳/決定 押す

●決定された記号が入力され、「文字入力画面」に戻ります。

挿入・修正・消去する場合

■ 挿入するには
挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する。

■ 修正するには
修正する文字にカーソルを移動し、[消去 キャッチ]（受話子機・子機は[キャッチ 消去]）を押してから文字を入力する。

■ 消去するには
消去する文字にカーソルを移動し、[消去 キャッチ]（受話子機・子機は[キャッチ 消去]）を押す。

■ すべて消去するには
[消去 キャッチ]（受話子機・子機は[キャッチ 消去]）を2秒以上押し続ける。

文字を入力する

■親機のボタンと液晶画面で説明しています。子機も同様の操作です。

全角記号・絵文字・区点コード入力する場合

1 文字入力画面で［漢］入力モードにする

目黒
＞　　　　［漢］

2 ［＃記号］を繰り返し押して、入力するモードを選ぶ

［＃記号］を繰り返し押す

漢字・ひらがな・カタカナ・記号入力モード ▶ 50～51ページをご覧ください。

全角記号入力モード

■全角記号を入力するには

着信履歴・発信履歴 を押して選ぶ ➡ ［電話帳/決定］ 押す

記号一覧
、。，．・：；？！

反転表示は選択中を示す

目黒：
＞　　　　［漢］

絵文字入力モード

■絵文字を入力するには

着信履歴・発信履歴 を押して選ぶ ➡ ［電話帳/決定］ 押す

絵文字一覧

反転表示は選択中を示す

目黒♠
＞　　　　［漢］

区点入力モード

■区点コードで文字を入力するには

区点コードと区点を足した数（4桁）を入力する ➡ ［電話帳/決定］ 押す

(例) “按”のとき
(区点コード1632+区点04=1636)

［1］［6］［3］［6］と押す

区点ｺｰﾄﾞ ［1636］
文字　　［按］

目黒按
＞　　　　［漢］

■まちがえたときは、［消去 キャッチ］（受話子機・子機は［キャッチ 消去］）を押します。

おしらせ

- 複数の全角記号を入力するときは、一文字ずつ手順2以降の操作をくり返してください。
- 全角記号・絵文字は続けて入力することはできません。
- 区点コードで入力しているときに、4桁入力していない、該当する文字または記号がない場合は、［電話帳／決定］を押すと警告音が鳴り、文字入力画面に戻ります。
- 区点コード一覧表に該当する文字がないときは、何も表示されません。

文字入力対応表

		全角	半角		
親機	子機	[漢] 表示	[ｶﾅ] 表示	[英] 表示	[数] 表示
1 あ	1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	ｽﾍﾟｰｽ(空白)	1
2 か ABC	2 か ABC	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC	2
3 さ DEF	3 さ DEF	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF	3
4 た GHI	4 た GHI	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI	4
5 な JKL	5 な JKL	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5
6 は MNO	6 は MNO	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6
7 ま PQRS	7 ま PQRS	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7
8 や TUV	8 や TUV	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV	8
9 ら WXYZ	9 ら WXYZ	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9
0 わ	0 わ	わをんー（長音）、（読点）。（句点）	ﾜｦﾝｰ（長音）		0
＊ ゛゜ トーン	＊ ゛゜ トーン	゛（濁点）゜（半濁点）	ﾞ（濁点）ﾟ（半濁点）		＊
＃ 記号	＃ 記号	記号・絵文字・区点コード※入力	!'()-./		#

※ 区点コードについては、114～131ページをご覧ください。

■全角記号一覧（実際の表示と字体や形状が多少異なります。）

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］
｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎
◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å
‰♯♭♪†‡¶◯０１２３４５６７８９ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂ
ｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧ
ΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТ
УФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя
─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂

■絵文字一覧と表示順

表示順	1	2	3	4	5	6	7
マーク							
意味	携帯電話	電話	会社	IP電話	ハート	スペード	ダイヤ

表示順	8	9	10	11	12	13	14
マーク							
意味	クラブ	太陽	月	星	花	音符	特別

電話帳を修正・消去する

親機や受話子機・子機で電話帳を修正する場合

親機

上または下を押して修正したい相手を選ぶ → 機能（戻る）押す → 電話帳/決定 押す → 名前を修正する（最大 全角10文字／半角20文字）

修正
消去(一件) 選ぶ

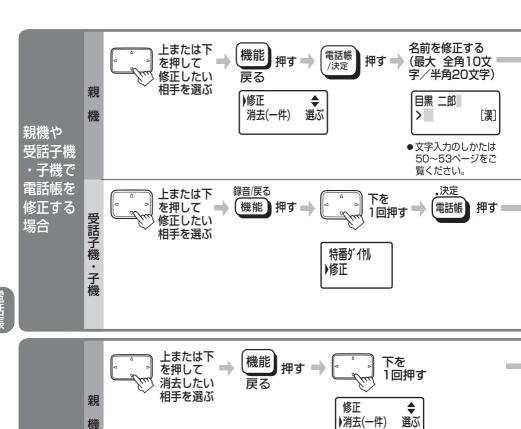
目黒 二郎
> ［漢］

● 文字入力のしかたは50～53ページをご覧ください。

50～53ページ

受話子機・子機

上または下を押して修正したい相手を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す → 下を1回押す → 決定 電話帳 押す

特番ダイヤル
修正

親機や受話子機・子機で電話帳を消去する場合

親機

上または下を押して消去したい相手を選ぶ → 機能（戻る）押す → 下を1回押す

修正
消去(一件) 選ぶ

● 一度にすべて消去したいときは、さらに下を1回押して“消去（全件)”を選びます。

受話子機・子機

上または下を押して消去したい相手を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す → 下を2回押す

修正
消去(一件)

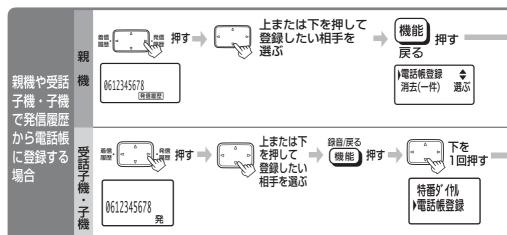
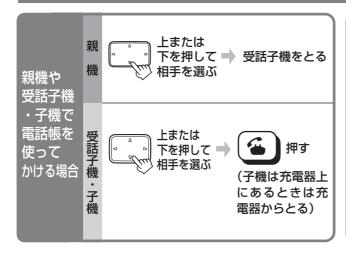
● 一度にすべて消去したいときは、さらに下を1回押して“消去（全件)”を選びます。

おしらせ

● 短縮ダイヤルに登録した電話帳を修正・消去すると、短縮ダイヤルも修正・解除されます。

電話帳消去中は、電話をかけたり受けたりすることができません。
このとき電話がかかってくると、電話帳消去が終わってから呼出音が鳴りはじめます。

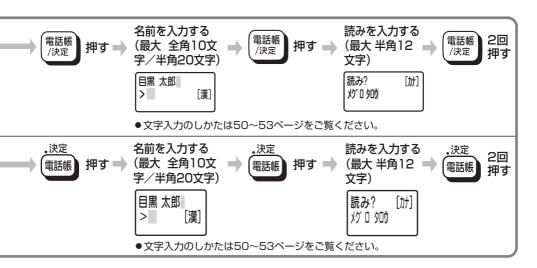
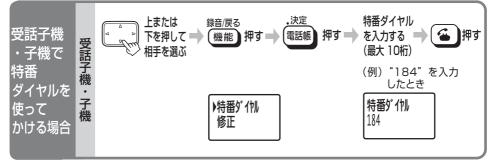
発信履歴から電話帳に登録する

発信履歴に記録されている電話番号を電話帳に登録することができます。
■電話番号の入力は不要です。

電話帳を使ってかける

- 電話帳を表示しているときに、ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに書かれている50音の行(例：2を押すと「か行」)の最初に登録されている名前が表示されます。**(一文字検索)**
  ただし、0を押したときは、「わ」から順に表示されます。
- 英字・記号・数字を入力することはできません。
- 読みの頭文字が小さい「ツ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」や「ヲ」の相手を検索することはできません。

おしらせ

- かけたい相手を選んだあと、ハンズフリーを押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 通話中に電話帳／決定を押してから、「電話帳を使ってかける」の最初の操作を行なって検索することができます。電話帳／決定を押すと、通話中の画面に戻ります。
- 携帯通話プリセット機能を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の「 」が約5秒間点滅します。

■特番ダイヤルについては、63ページをご覧ください。

短縮ダイヤルを使う

電話帳に電話番号が登録されていないと、この機能を利用することができません。
よくかける相手を親機または受話子機・子機の電話帳から選び、短縮番号（短縮1～短縮9、短縮0）に登録しておくと、短縮ボタンを使って簡単に電話をかけることができます。

親機や受話子機・子機で短縮ダイヤルに登録する場合

親機

短縮 押す → 上または下を押して登録したい短縮番号を選ぶ → 機能/戻る 押す

短縮1
未登録

▶登録/変更
解除 選ぶ

受話子機・子機

短縮 押す → 上または下を押して登録したい短縮番号を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す

短縮1
未登録

▶特番ダイヤル
登録/変更

■修正するときは、 短縮 を押したあと、修正したい短縮番号を選んでください。（上書きされます。）

親機や受話子機・子機で短縮ダイヤルでかける場合

親機

短縮 押す → 上または下を押してかけたい短縮番号を選ぶ → 受話子機をとる

短縮1
未登録

受話子機・子機

短縮 押す → 上または下を押してかけたい短縮番号を選ぶ → 押す

（子機は充電器上にあるときは充電器からとる）

親機は受話子機をとってから、受話子機・子機は を押してから（親機上または充電器上にあるときは親機または充電器からとってから）、短縮 を押しかけたい番号を押しても、電話をかけることができます。

短縮1
未登録

親機や受話子機・子機で短縮ダイヤルを解除する場合

親機

短縮 押す → 上または下を押して解除したい短縮番号を選ぶ → 機能/戻る 押す → 上を1回押す

短縮1
未登録

▶登録/変更
解除 選ぶ

登録/変更
▶解除 選ぶ

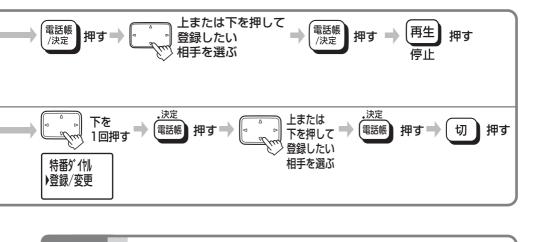
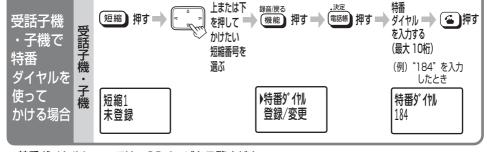
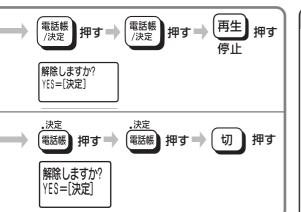
受話子機・子機

短縮 押す → 上または下を押して解除したい短縮番号を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す → 上を1回押す

短縮1
未登録

▶特番ダイヤル
登録/変更

登録/変更
▶解除

電話帳

■特番ダイヤルについては、63ページをご覧ください。

短縮ダイヤルについて

- ●短縮ダイヤルへの登録は、電話帳に登録されていないと登録することはできません。最初に電話帳を登録してください。
- ●携帯通話プリセット機能を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の「 」が約5秒間点滅します。
- ●電話帳を修正すると、対応する短縮ダイヤルも修正されます。
- ●短縮ダイヤルに登録している相手を電話帳から消去したときは、短縮ダイヤルからも消去され「未登録」が表示されます。
- ●登録されていない短縮ダイヤルの番号を選ぶと、「未登録」が表示されます。

電話帳をコピーする（電話帳コピー）

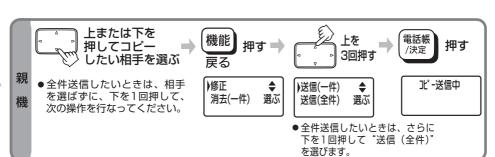
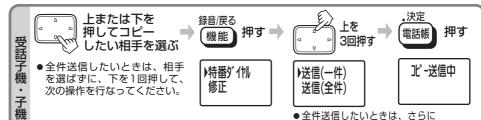
親機と受話子機と子機の間で、お互いの電話帳の内容をコピーすることができます。同じ相手を登録する手間が省けて便利です。

■ コピーするときは、コピー先の受話子機・子機をコピー元の親機（または受話子機・子機）の近くに持ってきてください。

■ コピー先の親機（または受話子機・子機）のあと、約1分以内にコピー元の受話子機・子機（または親機や他の子機）の操作を行なってください。

■ コピーを途中で止めたいときは、親機は 再生/停止 、受話子機・子機は 切 を押してください。
再生/停止 や 切 を押したときまでの電話帳の内容がコピーされ、通常状態に戻ります。

おしらせ

- すでにコピー先の電話帳に登録してある電話番号と同じ電話番号を、名前だけを変えて（あるいは追加して）コピーすることはできません。（同じ電話番号のときは、名前だけを変えてもコピーすることはできません。）
- 全件コピーでは、コピー先の電話帳の登録件数とコピー元の電話帳の登録件数の合計が、100件までコピーすることができます。
- コピー中に電話がかかってきたり、内線やドアホンから呼出しが入ると、そこで電話帳コピーは中断されます。もう一度、電話帳コピーをやり直してください。
- 全件コピーでは、電話帳コピーに必要な時間（データ処理時間）は、コピー元とコピー先の電話帳の登録件数により、大きく異なります。

■コピーが終了したら、親機は 再生/停止 、受話子機・子機は 切 を押してください。

■全件送信するときは、“送信（全件）”を選びます。そのあと、 電話帳／決定 を押すと、送信状態が件数で表示されます。（コピー先の液晶画面にも、受信状態が件数で表示されます。）

（例）親機

コピ-送信中
XX/100件

（例）受話子機・子機

コピ-送信中
XX/100件

♪ワンポイント

受話子機を含め子機を2台以上お使いのときは、同じ内容を別の子機（または親機や受話子機）に続けてコピーすることができます。

■続けてコピーするときは、コピーが終了したら、コピー元の親機は 再生／停止 、受話子機・子機は 切 を押さないでください。（押すと通常状態に戻ります。）
また、コピー終了後約1分以内に下記の操作を行なってください。

1. 別の子機（または親機や受話子機）を「コピー受信待ち」状態にする
2. コピー元の親機や受話子機（または子機）で「送信（一件）」または「送信（全件）」を選ぶ
3. コピー元の親機や受話子機（または子機）で 電話帳／決定 を押す

電話帳

本機は、NTT※の ナンバー・ディスプレイ対応 に対応しています。（※NTT東日本、NTT西日本）

NTTとのご契約が必要です。 お問い合わせ・お申し込みは…　局番なしの116
受付時間：午前9時～午後9時（年末年始は休業）（2007年7月現在）

ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話にでる前に、かけてきた相手の電話番号を液晶画面で確認できます。ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。（月額使用料、工事費別途）

ネーム・ディスプレイ　電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきた場合でも、相手の電話番号と名前や会社名（発信者名）を液晶画面で確認できます。ナンバー・ディスプレイのご契約に加えて、ネーム・ディスプレイのご契約が別途必要です。（月額使用料、工事費別途）

キャッチホン・ディスプレイ　通話中に割り込んできた相手の電話番号を液晶画面で確認できます。（最大約30秒表示）通話中に「トゥルル」音（割込音）が聞こえ、「ピポ」という音のあと 消去／キャッチ で通話を切りかえることができます。ナンバー・ディスプレイのご契約に加えて、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイのご契約が別途必要です。（月額使用料、工事費別途）

着信時の表示	内　容
0312345678 iD	電話番号を通知してかけてきたとき
目黒 太郎 0312345678 iD	本機の電話帳に登録した番号から、電話番号を通知してかけてきたとき ※本機の電話帳に登録時（48～49ページ）、電話番号以外の数字（＊、＃、ポーズを含む)を登録すると、名前がでない場合があります。
非通知 iD	電話番号を通知しないでかけてきたとき
公衆電話 iD	公衆電話からかかってきたとき ※公衆電話から「184」をつけてかけてきた場合は、「非通知」になります。
表示圏外 iD	海外、新幹線電話、船舶電話などのナンバー・ディスプレイを利用できない回線からかかってきたとき
受信ｴﾗｰ iD	回線の状態が悪い場合などで、ナンバー・ディスプレイのデータを正常に受信できなかったとき
着信 iD	ナンバー・ディスプレイ回線になっていないときや、番号情報が送られて来なかったとき

■受話子機・子機は iD が表示されません。

ご注意

- ISDN回線のターミナルアダプター、構内交換機（PBX）、ホームテレホン、他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが利用できないことがあります。くわしくは、接続機器のメーカーへお問い合わせください。
- 1本の電話回線で2台以上、電話機などの端末機器を接続すると、ナンバー・ディスプレイの機能が動作しないことがあります。2台以上接続する場合は、どちらかの設定を解除するか、接続を1台にしてください。
- ADSL回線やひかり回線を利用したIP電話サービスなどをご利用の場合、機器の接続や設定によりナンバー・ディスプレイの機能が動作しないことがあります。くわしくは、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、キャッチホン着信時に「ピポ」という音が聞こえ、最大約3秒程度通話がとぎれます。なお、保留中や留守応答中、各ガード動作中などにキャッチホンで割り込んできた場合は、キャッチホン・ディスプレイ表示は出ません。また、着信履歴にも記録されません。
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合、本機の電話帳に登録している相手から電話がかかってくると、相手の方が電話番号と名前、会社名（発信者名）を通知して電話をかけてきても、**通知された内容より本機の電話帳の登録内容が優先して表示されます**。ただし、電話帳に名前が登録されていない場合、通知された発信者名が表示されます。親機は全角9文字、受話子機・子機は全角7文字を超える名前の相手からかかってきたときは、液晶画面を切りかえて表示します。なお、第一水準、第二水準以外の表示できないデータを受信したときは「※」が表示されます。

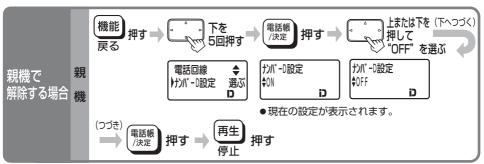
ナンバー・ディスプレイの設定

（親機）

ナンバー・ディスプレイを利用するには、本機の設定が必要です。お買い上げ時は「ON」に設定されています。（キャッチホン・ディスプレイもご利用の場合は、「ON（キャッチD有）」に設定してください。）
親機で設定すると、親機や受話子機・子機で利用できます。

親機でナンバー・ディスプレイを設定する場合（キャッチホン・ディスプレイを、ご利用にならないとき）

親機でキャッチホン・ディスプレイを設定する場合（ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方をご利用になるとき）

親機で解除する場合

ネーム・ディスプレイをご利用になる場合

●ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約後、ナンバー・ディスプレイの設定をしてください。
（キャッチホン・ディスプレイも契約したときは、契約後、キャッチホン・ディスプレイの設定をしてください。）
発信者名は、発信者名の通知を希望したお客様が、電話番号を通知して電話をかけてきた場合にのみ通知されます。

●自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選ぶことができます。

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	NTTに「通常通知」で申し込み	「186」をつけてかける
通知しないとき	NTTに「通常非通知」で申し込み	「184」をつけてかける

＊お客様の電話回線契約を知りたいときなどは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

●本機は電話帳、発信履歴や着信履歴から電話をかける場合でも、**特番ダイヤル**（「186」「184」など）をつけて電話をかけることができます。

着信履歴の確認

かけてきた相手の電話番号と日時を、親機と受話子機・子機に自動的に最大30件／20桁まで記録します。着信履歴を利用して、かけ直したり、かけてきた相手を電話帳に登録することができます。

親機や受話子機・子機で着信履歴を確認／かけ直す場合

親機

左を押す →

上または下を押して電話番号を確認する

12月24日 12：34
0612345678
着信履歴

● を押すごとに最後に着信した番号の1つ前から順にさかのぼって表示されます。

受話子機・子機

左を押す →

上または下を押して電話番号を確認する

12月24日 12:34
0612345678
着

● を押すごとに最後に着信した番号の1つ前から順にさかのぼって表示されます。

受話子機・子機で特番ダイヤルを使ってかける場合

受話子機・子機

左を押す →

上または下を押して相手を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す → 決定 電話帳 押す

12月24日 12:34
0612345678
着

▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳登録

■ 特番ダイヤルについては、63ページをご覧ください。

親機や受話子機・子機で着信履歴を消去する場合

親機

左を押す →

上または下を押して消去したい相手を選ぶ →

押す →

下を2回押す

12月24日 12：34
0612345678
着信履歴

ｶﾞｰﾄﾞ登録
▶消去(一件) 選ぶ

●一度にすべて消去したいときは、さらに下を1回押して“消去（全件)”を選びます。

受話子機・子機

着信履歴 発信履歴 左を押す → 上または下を押して消去したい相手を選ぶ → 録音/戻る 機能 押す →

下を2回押す

12月24日 12:34
0612345678
着

電話帳登録
▶消去(一件)

●一度にすべて消去したいときは、さらに下を1回押して“消去（全件)”を選びます。

ナンバー・ディスプレイ

■かけ直すとき　受話子機をとる（または 発信 押す）ハンズフリー

■終わるとき　再生/停止 押す

■かけ直すとき　 押す（または受話子機は 、子機は ハンズフリー 押す）

■終わるとき　切 押す

特番ダイヤルを入力する（最大 10桁） → 押す → 通話が終わったら親機または充電器に戻す（または 切 押す）

（例）"184"を入力したとき

特番ﾀﾞｲﾔﾙ
184

消去しますか?
YES=[決定]

消去しますか?
YES=[決定]

♪ワンポイント

不在着信表示

電話がかかってきてもでられなかったとき、自動的に留守番が応答したりガード機能がはたらいたときは、親機の液晶画面に 着信履歴 が表示されます。親機で着信履歴を確認したり、操作する（例：消去／キャッチ 押す）と表示が消えます。受話子機・子機には表示されません。

■ 電話帳に登録した相手からの場合は、名前を表示します。このとき #記号 を押すと電話番号の表示に切りかわります。もう一度押すと名前の表示に戻ります。

着信履歴について

- 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- 携帯通話プリセット機能（86～91ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の「 」が約5秒間点滅します。
- 着信時の表示（62ページ）が、「非通知」「公衆電話」「表示圏外」「受信エラー」のように電話番号が通知されない場合も、着信情報として記録されます。ただし「着信」と表示して呼出音が鳴ったときは記録されません。また、電話番号が通知されない着信情報は、電話帳に登録することができません。
- 特定番号ガードでガードした着信の場合は「▮特定ガード▮」と表示されます。また、限定着信でガードした着信の場合は、「▮限定着信外▮」と表示されます。どちらの場合も、 # を押すと、電話番号を表示します。ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、 # を押すと名前を表示します。もう一度 # を押すと、電話番号を表示します。（もう一度押すと、最初の表示に戻ります。）
- キャッチホン・ディスプレイご利用時、キャッチホンで割り込んできた着信のときは、日時のあとに「ⵅ」を表示します。
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合、電話帳に登録している相手から電話がかかかってくると、相手の方が電話番号と名前、会社名（発信者名）を通知して電話をかけてきても、通知された内容より電話帳の登録内容が優先して表示されます。ただし、電話帳に登録されていない相手のときもデータを正しく受信すると、着信履歴には「名前と電話番号」が記録されます。

着信履歴から電話帳や特定番号に登録する

着信履歴を利用して、かけてきた相手を電話帳やガード機能の「特定番号」として登録することができます。

親機や受話子機・子機で電話帳に登録する場合

親機

1. 左を押す（着信履歴）
   画面：12月24日 12：34 / 0612345678 / 着信履歴
2. 上または下を押して登録したい相手を選ぶ
3. 機能 押す（戻る）
   画面：▶電話帳登録 / ガード登録 選ぶ
（下へつづく）

（つづき）

4. 電話帳/決定 押す
   画面：> [漢]
5. 名前、読み、電話番号の順に入力する（48～49ページ）
6. 電話帳/決定 押す

受話子機・子機

1. 左を押す（着信履歴）
   画面：12月24日 12:34 / 0612345678 / 着
2. 上または下を押して登録したい相手を選ぶ
3. 機能（録音/戻る）押す
   画面：▶特番ダイヤル / 電話帳登録
（下へつづく）

（つづき）

4. 下を1回押す
   画面：特番ダイヤル / ▶電話帳登録
5. 電話帳（決定）押す
   画面：> [漢]
6. 名前、読み、電話番号の順に入力する（48～49ページ）
7. 電話帳（決定）押す

親機で特定番号に登録する場合

親機

1. 左を押す（着信履歴）
   画面：12月24日 12：34 / 0612345678 / 着信履歴
2. 上または下を押して登録したい相手を選ぶ
3. 機能 押す（戻る）
   画面：▶電話帳登録 / ガード登録 選ぶ
（下へつづく）

（つづき）

4. 下を1回押す
   画面：電話帳登録 / ▶ガード登録 選ぶ
5. 電話帳/決定 押す
   画面：電話番号? / 0312345678
6. 電話帳/決定 押す

● 電話番号が通知されない着信情報（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）は電話帳に登録することができません。

かかってきた電話を鳴り分ける

電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときの呼出音を10種類の中から電話番号ごとに設定することができます。(**鳴り分け**)

親機や受話子機・子機でかかってきた電話を鳴り分ける場合

親機

1. 上または下を押して設定したい相手を選ぶ
   - 表示：目黒 太郎 / 0312345678
2. 〔機能〕(戻る) 押す
3. 上を1回押す
   - 表示：送信(全件) / ▶鳴り分け 選ぶ
   (下へつづく)
4. (つづき)〔電話帳/決定〕押す
   - 表示：鳴り分け / OFF
   - ●現在の設定が表示されます。
   - ●すでに鳴り分けが設定されているときは、その呼出音が鳴ります。
5. 上または下を押して鳴り分けの呼出音を選ぶ
6. 〔電話帳/決定〕押す
7. 〔再生〕(停止)

受話子機・子機

1. 上または下を押して設定したい相手を選ぶ
   - 表示：目黒 太郎 / 0312345678
2. 〔機能〕(録音/戻る) 押す
3. 上を1回押す
   - 表示：送信(全件) / ▶鳴り分け
   (下へつづく)
4. (つづき)〔電話帳〕(決定) 押す
   - 表示：鳴り分け / OFF
   - ●現在の設定が表示されます。
   - ●すでに鳴り分けが設定されているときは、その呼出音が鳴ります。
5. 上または下を押して鳴り分けの呼出音を選ぶ
6. 〔電話帳〕(決定) 押す
7. 〔切〕

■「ベル1＜高音＞」「ベル1＜低音＞」以外の呼出音を設定したときは、かけてきた相手が電話を切っても、呼出音が1～2回、多く鳴ることがあります。

●鳴り分けの呼出音(10種類)

呼出音
OFF　※お買い上げ時
ベル1＜高音＞
ベル1＜低音＞
ベル2
チャイム

(右上に続く ↗)

呼出音
ファンファーレ
音階
森のくまさん
ユーモレスク
華麗なる大円舞曲
ラデツキー行進曲

おしらせ

- ●必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- ●電話帳に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。
- ●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合でも、通話中にかけてきた別の相手からの電話(キャッチホン)に、鳴り分けは、はたらきません。

留守用件の再生中、その相手にかける(リターンダイヤル)

（受話子機）（子機）

相手の電話番号が通知されると、その番号を留守録音と共に記録します。（ナンバースタンプ）
留守用件の再生中にその電話番号を表示された相手へ簡単にダイヤルできます。（リターンダイヤル）

■ **必ず、受話子機または子機での用件の再生中で、電話番号または名前が液晶画面に表示されているときに行なってください。（用件再生　39ページ）**

■ **親機ではできません。**

受話子機・子機でリターンダイヤルで発信する場合

受話子機・子機

用件再生中に
受話子機は［☎］押す
子機は充電器からとる
（充電器上にないときは［☎］押す）
→ 話す → 通話が終わったら
親機または充電器に戻す
（または［切］押す）

●再生が停止し、表示された電話番号に自動的にダイヤルされます。
●子機で用件再生中に、親機から受話子機をとっても、または受話子機で用件再生中に、充電器から子機をとっても、リターンダイヤルで発信することはできません。

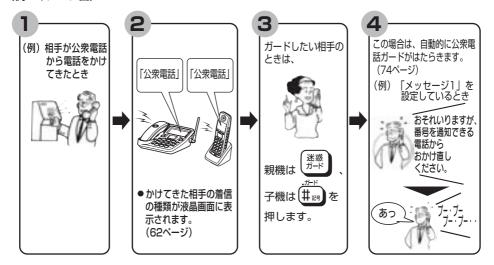
■ 再び、用件を再生するときは、「親機や受話子機・子機で用件を再生する場合」（39ページ）の受話子機・子機の操作を最初から行なってください。
用件が1件目から再生されます。

●必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
●表示される電話番号または名前は、親機に記録されている相手になります。
●電話番号が表示されていないとき（39ページ）は、リターンダイヤルで発信することはできません。
●携帯通話プリセット機能（86～91ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の「 」が約5秒間点滅します。

ガードボタンを使う

ガード機能を設定していなくても、ガードボタンを使って、その着信に限りガード機能をはたらかせることができます。

着信中にガードボタンを利用すると

（例：イメージ図）

その着信に限り、ガードボタンを使ってガード機能をはたらかせる場合

着信中に

（例）相手が“公衆電話”のとき

●親機の 公衆 と 迷惑ガード が点滅します。

▶ガード機能がはたらきます。（流れるメッセージは、着信の種類によって、異なります。）

●ガードボタンを押したときにはたらくガード機能一覧

液晶画面の表示	ガード機能の種類
非通知	非通知ガード（74ページ）
公衆電話	公衆電話ガード（74ページ）
表示圏外	表示圏外ガード（74ページ）
電話番号＊	特定番号ガード（72ページ）

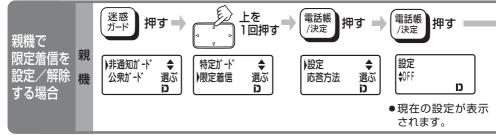
＊相手の方が電話番号を通知してかけてきたとき

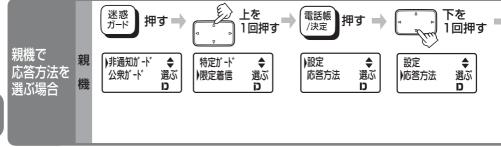
- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードのいずれかで応答した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 非通知ガードで応答中は、親機の液晶画面の「 非通知 」と ガード が点滅します。
- 公衆電話ガードで応答中は、親機の液晶画面の「 公衆 」と ガード が点滅します。
- 表示圏外ガードで応答中は、親機の液晶画面の「 圏外 」と ガード が点滅します。
- 特定番号ガードで応答中は、親機の液晶画面の「 特定 」と ガード が点滅します。

ガード機能（限定着信）

親機の電話帳に登録していない相手から着信があると、自動的に選択した応答方法で応答します。応答中はスピーカーからの音は出ません。電話の呼出音は鳴りません。
また、応答後は電話が自動的に切れます。お買い上げ時は、「OFF」（解除）、応答方法は「留守録音」に設定されています。

親機で限定着信を設定／解除する場合

●現在の設定が表示されます。

親機の電話帳（48～49ページ）に1件も登録されていないときは、限定着信を設定することができません。

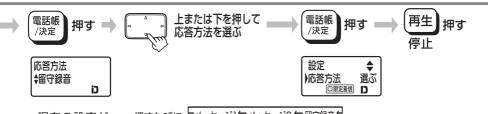
親機で応答方法を選ぶ場合

ナンバー・ディスプレイ

液晶画面の表示について

■限定着信を設定すると、表示されます。
限定着信の動作中は、点滅します。
■解除すると、消灯します。
■電話帳の内容をすべて消去したときは、限定着信も自動的に解除されます。

限定着信

おしらせ

●必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
●かけてきた相手には、通話料金がかかります。
●緊急の用件でも親機の電話帳に登録されていない相手からの電話は、呼出音が鳴りませんので、ご注意ください。
●限定着信が設定されていても、特定番号ガード、非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガードを設定することができます。この場合、電話帳に登録されていない相手からかかってきた電話には、限定着信よりも設定したガード機能が優先されます。

	応答方法	かけてきた相手に流れるメッセージ
限定着信	メッセージ1	申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。
	メッセージ2	ただ今、留守にしております。 おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。
	留守録音 （お買い上げ時）	● 親機の電話帳に登録されていない相手には、留守番電話で応答し、用件を録音します。（親機の電話帳に登録されている相手には、応答できません。） （録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージ（37ページ）で応答します。）

おしらせ

- ●限定着信の動作中に、キャッチホンでかかってきた相手の電話は、ガードすることができません。
- ●限定着信で応答した直後に電話をかけようとすると、ガードした相手とつながることがあります。
- ●限定着信の動作中は、ドアホンの呼出音は聞こえますが、ドアホンに応答することはできません。

ガード機能（特定番号）

「特定番号」として登録した番号（ガードしたい電話番号）からかかってきた電話に、自動的にメッセージで応答します。応答中はスピーカーからの音は出ません。電話の呼出音は鳴りません。また、応答後は自動的に電話が切れます。特定番号は、最大30件まで登録できます。お買い上げ時は、応答方法は「メッセージ1」に設定されています。
親機で設定すると、親機や受話子機・子機で利用することができます。

親機で特定番号を登録する場合

親機

迷惑ガード 押す → 上を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す

非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	特定ガード / 限定着信 選ぶ	登録 / 確認 選ぶ

親機で特定番号を確認する場合

親機

迷惑ガード 押す → 上を2回押す → 電話帳/決定 押す → 下を1回押す

非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	特定ガード / 限定着信 選ぶ	登録 / 確認 選ぶ	登録 / 確認 選ぶ

親機で特定番号を消去する場合

親機

迷惑ガード 押す → 上を2回押す → 電話帳/決定 押す → 下を1回押す

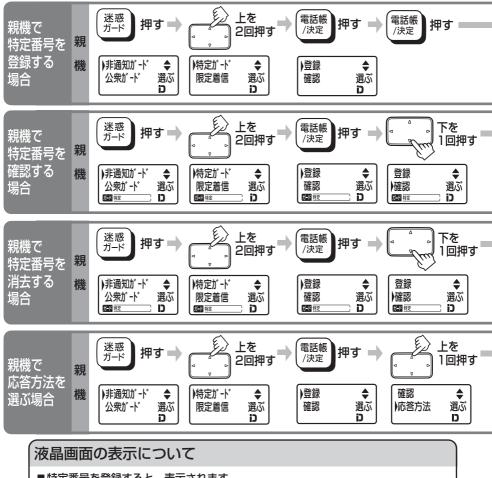
非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	特定ガード / 限定着信 選ぶ	登録 / 確認 選ぶ	登録 / 確認 選ぶ

親機で応答方法を選ぶ場合

親機

迷惑ガード 押す → 上を2回押す → 電話帳/決定 押す → 上を1回押す

非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	特定ガード / 限定着信 選ぶ	登録 / 確認 選ぶ	確認 / 応答方法 選ぶ

液晶画面の表示について

■特定番号を登録すると、表示されます。
特定番号ガードの動作中は、点滅します。
■解除する（登録した特定番号を1件ずつすべて消去する）と、消灯します。

ガード 特定

おしらせ

●必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
●かけてきた相手には、通話料金がかかります。
●緊急の用件でも、特定番号として登録した電話番号からの電話は、呼出音が鳴りませんのでご注意ください。
●特定番号ガードに登録した電話番号が30件を超えると、登録できなくなります。不要になった電話番号を特定番号ガードから消去してください。
●特定番号ガードの設定・解除の方法はありません。特定番号ガードを解除したいときは、特定番号に登録されている電話番号を1件ずつすべて消去してください。
●特定番号ガードに登録されている電話番号を、一度にすべて消去することはできません。

電話番号を入力する（最大 20桁） → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

（例）"0312645678"のとき

ガード 特定

● 迷惑ガードランプが点灯します。

電話帳/決定 押す → 上または下を押して確認する → 再生 停止 押す

▌特定ガ゛ード▌
0312345678
ガード 特定

電話帳/決定 押す → 上または下を押して消去したい番号を選ぶ → 消去 キャッチ 押す → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

▌特定ガ゛ード▌
0312345678
ガード 特定

消去しますか?
YES=[決定]
ガード 特定

電話帳/決定 押す → 上または下を押して応答方法を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

応答方法
◆メッセージ゛1

● 現在の設定が表示されます。

● 押すたびに メッセージ1 ⇆ メッセージ2 ⇆ 留守録音 と切りかわります。

	応答方法	かけてきた相手に流れるメッセージ
特定番号ガード	メッセージ1（お買い上げ時）	申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。
	メッセージ2	ただ今、留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。
	留守録音	● 特定番号ガードに登録された相手に留守番電話で応答し、用件を録音します。（録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージ（37ページ）で応答します。）（特定番号ガードに登録されていない相手からの電話には応答できません。）

おしらせ

● キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合でも、通話中にかけてきた別の相手からの電話（キャッチホン）に、ガード機能は、はたらきません。
● ガード機能で応答した直後に電話をかけようとすると、ガードした相手とつながることがあります。
● ガード機能の動作中は、ドアホンの呼出音が聞こえますが、ドアホンに応答することはできません。

ガード機能（非通知、公衆電話、表示圏外）

非通知でかけてきた電話、公衆電話、表示圏外からかけてきた電話に、自動的にメッセージで応答します。応答中はスピーカーからの音は出ません。電話の呼出音は鳴りません。また、応答後は自動的に電話が切れます。お買い上げ時は、各ガードとも「OFF」に設定されています。
親機で設定すると、親機や受話子機・子機で利用することができます。

親機で非通知ガードを設定／解除する場合

親機

迷惑/ガード 押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す

画面1	画面2	画面3
▶非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	▶設定 / 応答方法 選ぶ	設定 / ◆OFF

●現在の設定が表示されます。

親機で公衆電話ガードを設定／解除する場合

親機

迷惑/ガード 押す → 下を1回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す

画面1	画面2	画面3	画面4
▶非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	非通知ガード / ▶公衆ガード 選ぶ	▶設定 / 応答方法 選ぶ	設定 / ◆OFF

●現在の設定が表示されます。

親機で表示圏外ガードを設定／解除する場合

親機

迷惑/ガード 押す → 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す

画面1	画面2	画面3	画面4
▶非通知ガード / 公衆ガード 選ぶ	公衆ガード / ▶圏外ガード 選ぶ	▶設定 / 応答方法 選ぶ	設定 / ◆OFF

●現在の設定が表示されます。

液晶画面の表示について

■設定すると、表示されます。
該当するガードの動作中は、点滅します。
■解除すると、消灯します。

ガード 特定 公衆 非通知 圏外

おしらせ

●必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
●かけてきた相手には、通話料金がかかります。
●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合でも、通話中にかけてきた別の相手からの電話（キャッチホン）に、ガード機能は、はたらきません。

次ページへつづく

上または下を押して選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

- 押すたびに ON ⇄ OFF と切りかわります。

※設定するとき…“ON”／
解除するとき…“OFF”

ガード　非通知

- 迷惑ガードランプが点灯します。

上または下を押して選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

- 押すたびに ON ⇄ OFF と切りかわります。

※設定するとき…“ON”／
解除するとき…“OFF”

ガード　公衆

- 迷惑ガードランプが点灯します。

上または下を押して選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

- 押すたびに ON ⇄ OFF と切りかわります。

※設定するとき…“ON”／
解除するとき…“OFF”

ガード　圏外

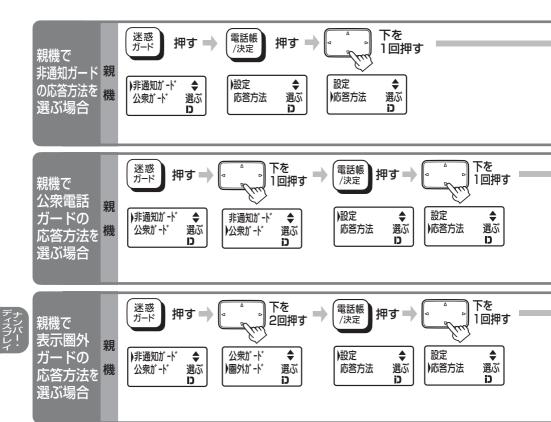
- 迷惑ガードランプが点灯します。

ナンバー・ディスプレイ

おしらせ

- ガード機能で応答した直後に電話をかけようとすると、ガードした相手とつながる場合があります。
- ガード機能の動作中は、ドアホンの呼出音が聞こえますが、ドアホンに応答することはできません。

ガード機能（非通知、公衆電話、表示圏外）

ガード機能の応答方法を3種類の中から1つ選ぶことができます。
お買い上げ時は、各ガードとも「メッセージ1」に設定されています。

電話帳/決定 押す → 上または下を押して応答方法を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生/停止 押す

応答方法
メッセージ1

● 現在の設定が表示されます。

● 押すたびに

→メッセージ1 ⇆ メッセージ2 ⇆ 留守録音←

と切りかわります。

電話帳/決定 押す → 上または下を押して応答方法を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生/停止 押す

応答方法
メッセージ1

● 現在の設定が表示されます。

● 押すたびに

→メッセージ1 ⇆ メッセージ2 ⇆ 留守録音←

と切りかわります。

電話帳/決定 押す → 上または下を押して応答方法を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生/停止 押す

応答方法
メッセージ1

● 現在の設定が表示されます。

● 押すたびに

→メッセージ1 ⇆ メッセージ2 ⇆ 留守録音←

と切りかわります。

	応答方法	かけてきた相手に流れるメッセージ
非通知ガード	メッセージ1（お買い上げ時）	おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするか、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。
	メッセージ2	ただ今、留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。
	留守録音	● 非通知でかけてきた相手に留守番電話で応答し、用件を録音します。（「非通知」以外からの電話には応答できません。）
公衆電話ガード	メッセージ1（お買い上げ時）	おそれいりますが、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。
	メッセージ2	ただ今、留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。
	留守録音	● 公衆電話からかけてきた相手に留守番電話で応答し、用件を録音します。（「公衆電話」以外からの電話には応答できません。）
表示圏外ガード	メッセージ1（お買い上げ時）	おそれいりますが、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。
	メッセージ2	ただ今、留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。
	留守録音	● 表示圏外からかけてきた相手に留守番電話で応答し、用件を録音します。（「表示圏外」以外からの電話には応答できません。）

ドアホンを接続する

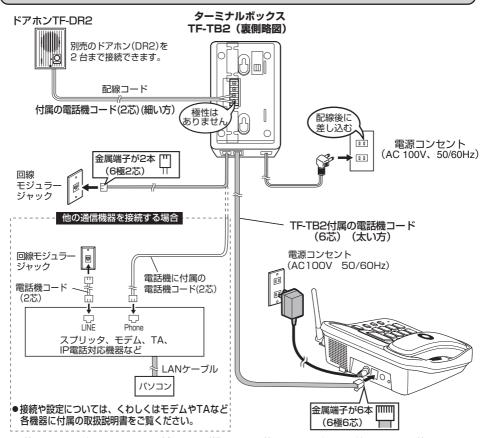
ドアホンをお使いになる場合は、別売のドアホン（TF-DR2）とターミナルボックス（TF-TB2）が必要です。ドアホン（TF-DR2）は2台まで接続できます。

別売品	型番	希望小売価格
ドアホン	TF-DR2	4,200円
ターミナルボックス	TF-TB2	11,550円

（希望小売価格は2007年7月現在の価格です。）

- すでに、カメラ付きドアホン（TF-DC1）、テレビドアホンモニター（TF-DM1）をお使いの場合は、別売のドアホン（TF-DR2）を1台接続できます。
- ドアホンの取り付けについては、ターミナルボックス（TF-TB2）の取扱説明書をご覧になり、販売店または工事店にご相談ください。
- 他社製のターミナルボックスはご使用になれません。
- ドアホンの接続工事が終わったら、最後に電源を接続し、ドアホンの呼出しボタンを押して、親機または子機が「ピポピポ」と鳴ることを確認してください。

当社のターミナルボックス（TF-TB1）をお使いのお客様は、テレビドアホンは、ご使用になれません。ドアホン（TF-DR2またはTF-DR1）のみご使用が可能です。

（例）ドアホン（TF-DR2）とターミナルボックス（TF-TB2）を接続する

- 6芯コードは、必ずTF－TB2に付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因になります。

次ページへつづく

■TF-TB2を使用している場合は、下記のドアホンをお使いいただけます。

現在お使いのドアホンが下記の種類の場合は、専用ドアホン（TF-DR2）をお買い求めにならなくてもお使いいただけます。
なお、カメラ付きドアホンは、専用のもの（TF-DC1）以外は、ご使用になれません。

メーカー名	適合するドアホン
パイオニア	TF-DR1
アイホン	IF-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IE-JEX IE-NXUS
神田	KB-1A KB-4
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松下通信	VL-568KA VL-568U VL-568R VL-568UL VL-568KAP VL-568S VL-580D VL-D568KF VL-581D VL-592 VL-593 VL-594A
松下電工	EJ502 EJ501W EJ102 EJ503F EJ503A EJ1021B EJ106S EJ106A

■接続可能なドアホンは、配線が2線無極性でインピーダンス600Ωに限ります。

ドアホン

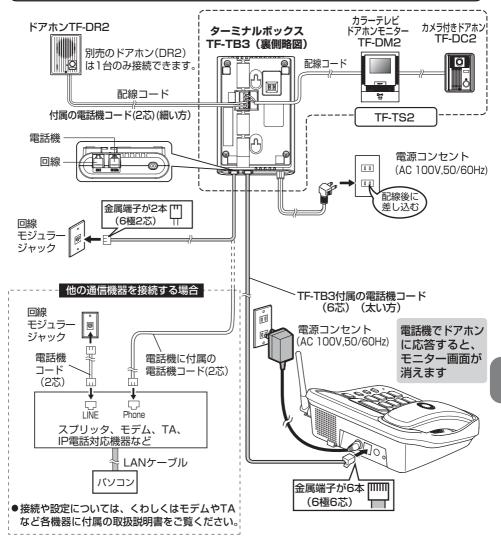
ドアホンを接続する（カラーテレビドアホンシステム構成図）

カラーテレビドアホンをお使いになる場合は、別売のカラーテレビドアホンセットTF-TS2（TF-TB3＋TF-DM2＋TF-DC2）が必要です。TF-TB3、TF-DM2、TF-DC2はそれぞれ個別に購入することはできません。

別売品	型番	希望小売価格
カラーテレビドアホンセット	TF-TS2	オープン

（希望小売価格は2007年7月現在の価格です。）

- カラーテレビドアホンセット（TF-TS2）をお使いの場合は、別売のドアホン（TF-DR2）を1台まで接続できます。
- **カラーテレビドアホンモニター（TF-DM2）は、本機でドアホンに応答すると画面が消えます。TF-DM2で応答すると消えません。**
- ドアホンの取り付けについては、カラーテレビドアホンセット（TF-TS2）の取扱説明書をご覧になり、販売店または、工事店にご相談ください。
- TF-TB3以外のターミナルボックスはご使用になれません。
- ドアホンの接続工事が終わったら、最後に電源を接続し、ドアホンの呼出しボタンを押して、親機または子機が「ピポピポ」と鳴ることを確認してください。

（例）ドアホン（TF-DR2）とカラーテレビドアホンセット（TF-TS2）を接続する

●6芯コードは、必ずTF－TB3に付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因になります。

ドアホンと話す

ドアホンが鳴ったら

親機・受話子機や子機でドアホンに応答する場合

親機・受話子機

呼出音が鳴る → 受話子機をとり、ドアホンと話す（親機上にないときは 押す） → 終わったら、受話子機を戻す

ピポピポピポピポ
ピポピポピポピポ

● カラーテレビドアホンをお使いのときは、モニター画面が消えます。

子機

呼出音が鳴る → 子機を充電器からとり、ドアホンと話す（充電器上にないときは 押す） → 終わったら、 押す

ピポピポピポピポ
ピポピポピポピポ

● カラーテレビドアホンをお使いのときは、モニター画面が消えます。

■ 外線通話中、内線通話中、留守応答中、ガード機能で応答中は、ドアホンに応答できません。
■ ドアホンの呼出音が鳴ってから、約30秒過ぎた場合は、ドアホンに応答できません。ドアホンに呼びかけてください。

本機からドアホンに呼びかけたいとき

あらかじめ、ドアホンの内線番号は「9」に設定されています。
親機からドアホンに呼びかけることはできません。

■ 受話子機・子機で話すには

1. 内線（保留/文字） 押す
2. ドアホンの内線番号 押す
3. ドアホンと話す

ドアホン通話中に外から電話（ガードしたい相手を含む）がかかってきたとき（呼出音が聞こえたとき）

ドアホン通話が自動的に終了します。

■ 親機で話すには

発信（ハンズフリー） 押す（外の相手と話せる）

■ 受話子機・子機で話すには

 押す（外の相手と話せる）

おしらせ

- ドアホン1とつながったあと、ドアホン2と話すときは、 2 を押します。再び 1 を押すと、もとの通話に戻ります。（ダイヤル①または②を押すたびに切りかわります。）
- ドアホンにハンズフリーで応答または呼びかけることはできません。
- ドアホンの呼出音が鳴っているときに親機で応答し、すぐに受話子機を戻す、または子機で応答し、すぐに充電器に戻すと、ドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。（故障ではありません。）
- ドアホンと子機と親機（または受話子機・他の子機）で三者通話はできません。
- 本機でドアホンに応答すると、カラーテレビドアホンの画面は消えます。相手を見ながら話したいときは、カラーテレビドアホンで応答してください。（84ページ）

次ページへつづく

外線または内線通話中にドアホンが鳴ったら

親機や受話子機・子機でドアホンに応答する場合

親機

ハンズフリー通話中に呼出音が鳴る

ピポピポピポピポ
ピポピポピポピポ

→ 外線通話中は 発信（ハンズフリー） 押す
内線通話中は 再生（停止） 押す

●通話が切れます。

→ 再び呼出音が鳴る

ピポピポピポピポ
ピポピポピポピポ

（下へつづく）

（つづき）→ 受話子機をとり、ドアホンと話す

●カラーテレビドアホンをお使いのときは、モニター画面が消えます。

受話子機・子機

通話中に呼出音が鳴る

ピポピポピポピポ
ピポピポピポピポ

→ 切 押す

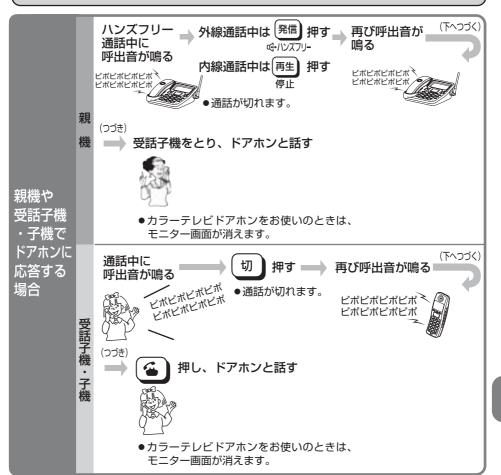
●通話が切れます。

→ 再び呼出音が鳴る

ピポピポピポピポ
ピポピポピポピポ

（下へつづく）

（つづき）→ （外線）押し、ドアホンと話す

●カラーテレビドアホンをお使いのときは、モニター画面が消えます。

外線通話を保留中にドアホンの呼出音が鳴ったら

外線通話を保留したままドアホンと話すことはできません。
保留を解除し、外線通話を終了してからドアホンと話すことができます。

■親機で話すには

1. 内線（保留/文字） 押して 発信（ハンズフリー） を戻す
2. 再び呼出音が鳴ったら受話子機をとる

■受話子機・子機で話すには

1. 内線（保留/文字） 押して 切 押す
2. 再び呼出音が鳴ったら 押す

●ドアホンと子機と親機（または受話子機・他の子機）で三者通話はできません。
●外線通話中および内線通話中にドアホンの呼出音が鳴った場合、呼出音が鳴っている間（数秒間）は、通話が中断されます。

内線呼出中に、ドアホンから呼出があると

内線呼出が、自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。親機は受話子機をとってドアホンにでてください。受話子機・子機は を押してドアホンにでてください。

内線の一斉呼出中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

一斉呼出が自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。
親機で一斉呼出をしていたときは、受話子機をとってドアホンにでてください。

受話子機・子機で一斉呼出をしていたときは、を押してドアホンにでてください。

一斉呼出を利用して外からの電話をまわしているとき（内線呼出中）に、ドアホンの呼出しがあったら

一斉呼出を続けます。このとき、ドアホンの呼出音は鳴りません。

ドアホンの呼出しから約30秒以内に、受け手の子機（または親機や受話子機）が電話にでた場合は、親機や受話子機および受け手以外のすべての子機で、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。外線通話を終わらせると、ドアホンと話すことができます。（ただし、約30秒を過ぎた場合は、ドアホンに呼びかけてください。）

■ **外からの電話を保留してからまわしているときも、内線呼出を続け、ドアホンの呼出音は鳴りません。上記と同じ操作を行なうと、ドアホンと話すことができます。**

外からの電話と三者通話中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

すべての子機および親機や受話子機でドアホンの呼出音が聞こえますが、そのままでは話すことはできません。三者通話を終わらせ、外線通話を終わらせると、ドアホンの呼出音が鳴り、ドアホンと話すことができます。（35ページ）
（ただし、約30秒を過ぎた場合は、ドアホンに呼びかけてください。）

ドアホンモニターTF-DM2で応答するには

■ **くわしい操作方法は、カラーテレビドアホンセット（TF-TS2）に付属の取扱説明書をご覧ください。**

●カメラ付きドアホン（TF-DC2）から呼ばれると・・・

①**ドアホンモニターの呼出音が鳴り、映像が映ります。外の音声も聞こえます。**
・呼出音「ピンポーン」が鳴ります。
・応答しないと、約45秒後に映像・音声が切れます。

②**［通話］ボタンを1回押します。**
・「ピッ」と音が鳴り、お話しできます。
・ドアホンモニターで応答した場合、電話機では応答できません。

③**お話が終わったら、［通話］ボタンを再度押し、終了します。**
・音声・映像は約1分たつと、通話中でも切れます。続けてお話したい場合は、［通話］ボタンを押してください。

携帯電話へかけるときは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、通話料金がおトクになるサービスです。お申し込み手続きは不要です。（2007年7月現在）
通話料金は、固定電話のサービス事業者が設定します。

事業者識別番号		携帯電話番号
（例）NTTコミュニケーションズのサービスを利用する 0033		090ー××××ー×××× または 080ー××××ー××××

■「固定電話」とは…従来の一般電話のことで、携帯電話やPHS、IP電話などと区別するために用います。

■ BBフォンなどのIP電話をご利用の場合は、加入電話選択番号の変更を必要とする場合があります。お買い上げ時は「0000」に設定されていますので、契約しているIP電話サービス事業者へご確認ください。
■ 次の場合は、本サービスはご利用になれません。必ず設定を「OFF」（解除）にしてください。
- ●NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」ご利用時
- ●NTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス（8ページ）ご利用時
- ●ホームテレホンや構内交換機（PBX）接続時
- ●IP電話ご利用などで固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合

※直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

本機の「携帯通話プリセット機能（お買い上げ時“ON”に設定)」（86〜89ページ）により、本機から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に「事業者識別番号（0033など)」が自動的に付与され、固定電話のサービス事業者の設定するおトクな通話料金でかけることができます。

［かける人］（固定電話）

①相手の携帯電話番号をダイヤルする。
（例：「0312345678」からかけるとき）

②事業者識別番号（0033）が自動的に付与される。

「0033 +090××××××××」

［受ける人］（携帯電話）

このとき▯が約5秒間点滅します。
受話子機・子機で電話をかけたときも親機の▯が点滅します。

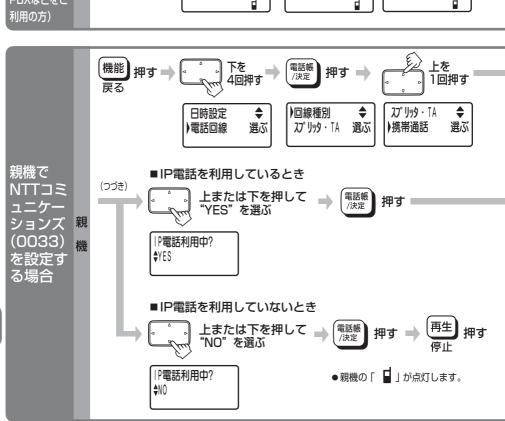
■ 本機は、次の場合も利用できます。
- ・「184」「186」などの番号をつけてかけたとき
  （操作例）携帯通話プリセット機能を「NTTコミュニケーションズ(0033)」に設定しているとき「184+090－××××－××××」とダイヤルする。
  →184+ 0033 +090－××××－××××と、自動的に0033をつけてダイヤルする。
- ・リダイヤル（24ページ）、発信履歴（24ページ）からかけ直すとき
  （ただしリダイヤルや発信履歴には事業者識別番号は記録されません。）
- ・電話帳（56ページ）、短縮ダイヤル（58ページ）からかけるとき
- ・着信履歴（64ページ）からかけ直すとき※
- ・リターンダイヤル（68ページ）でかけるとき※

※ナンバー・ディスプレイご利用時

■ IP電話サービスをご利用の場合でも、次の方法で携帯電話に電話をかけることができます。
- ・加入電話選択番号を設定することにより、固定電話網経由を利用した方法
- ・携帯通話プリセット機能解除番号を利用（0000を携帯電話番号の前にダイヤルして発信）し、IP電話網を利用した方法（90ページ）

■「加入電話選択番号」とは・・・IP電話サービスをご契約時に、IP電話サービスを利用せずに電話をかける番号（例：0000、0009など）のことです。くわしくは、契約しているIP電話サービス事業者へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能を使う

お買い上げ時は「ON　0033」[IP電話サービス利用　NO（非利用）] に設定されています。
（親機の が表示されています。）
親機で設定すると、親機や受話子機・子機で利用できます。

親機でNTTコミュニケーションズ(0033)を設定する場合

親機

機能 押す（戻る） → 下を4回押す → 電話帳/決定 押す → 上を1回押す

日時設定 ▶電話回線 選ぶ	▶回線種別 ｽﾌﾟﾘｯﾀ・TA 選ぶ	ｽﾌﾟﾘｯﾀ・TA ▶携帯通話 選ぶ

（つづき）

■IP電話を利用しているとき

上または下を押して“YES”を選ぶ → 電話帳/決定 押す

IP電話利用中?
YES

■IP電話を利用していないとき

上または下を押して“NO”を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生（停止） 押す

IP電話利用中?
NO

●親機の「 」が点灯します。

●携帯通話プリセット機能を利用した場合、事業者識別番号や加入電話選択番号は、リダイヤルや発信履歴に記録されません。（ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。）
●電話をかけるときに自動付与される事業者識別番号や加入電話選択番号は、液晶画面に表示されません。

次ページへつづく

（親機）

●親機の「 」が消灯します。

●設定されている加入電話選択番号が表示されます。
お買い上げ時は、「0000」に設定されています。
●契約しているIP電話サービスにより、入力する番号は異なります。

●親機の「 」が点灯します。

親機でその他事業者※を設定する場合

親機

機能（戻る）押す → 下を4回押す → 電話帳/決定 押す → 上を1回押す

日時設定
▶電話回線　選ぶ

▶回線種別
ｽﾌﾟﾘｯﾀ・TA　選ぶ

ｽﾌﾟﾘｯﾀ・TA
▶携帯通話　選ぶ

（つづき）電話帳/決定 押す

■IP電話を利用しているとき

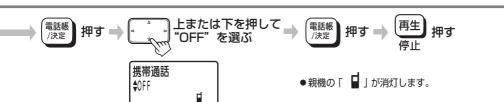
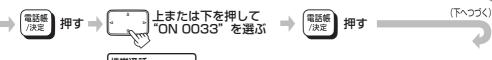
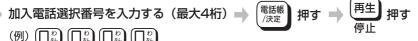
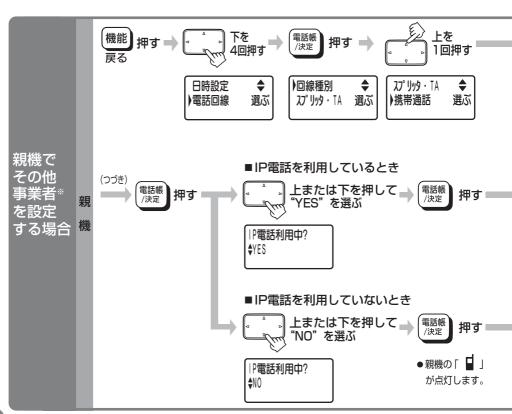
上または下を押して“YES”を選ぶ → 電話帳/決定 押す

IP電話利用中?
YES

■IP電話を利用していないとき

上または下を押して“NO”を選ぶ → 電話帳/決定 押す

IP電話利用中?
NO

●親機の「 」が点灯します。

※事業者識別番号の例

固定電話サービス事業者	事業者識別番号
NTTコミュニケーションズ	0033
NTT東日本	0036
NTT西日本	0039

（2007年7月現在）

おしらせ

●事業者識別番号の設定に、市外局番や、存在しない事業者識別番号を設定すると、相手につながりません。
●携帯通話プリセット機能を利用した場合、事業者識別番号や加入電話選択番号は、リダイヤルや発信履歴に記録されません。（ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。）
●電話をかけるときに自動付与される事業者識別番号や加入電話選択番号は、液晶画面に表示されません。
●事業者識別番号は、各事業者ごとに異なります。事業者識別番号や料金体系など、サービスの内容につきましては、各固定電話サービス事業者にお問い合わせください。

次ページへつづく

（親機）

押す

上または下を押して
“その他事業者”
を選ぶ

携帯通話
その他事業者

押す

事業者識別番号を
入力する（4～6桁）

（下へつづく）

（例）

- ＊、＃、ポーズは入力できません。
- 「00」から始まる数字を設定してください。
- 「0000」「00000」「00000」は設定できません。
- 新たに入力すると上書きされます。

加入電話選択番号を入力する（最大4桁）

（例）

- 設定されている加入電話選択番号が表示されます。お買い上げ時は、「0000」に設定されています。
- 契約しているIP電話サービスにより、入力する番号は異なります。

電話帳/決定 押す

再生/停止 押す

- 親機の「 」が点灯します。

再生/停止 押す

携帯通話プリセット機能を使う

携帯電話へのダイヤル方法について

■IP電話サービスを利用していない場合

86・88ページの「IP電話利用中？」で「NO」を選択されたお客様

携帯通話プリセット機能を利用して電話をかける場合	携帯電話番号をダイヤルしてください。 090－××××－×××× もしくは 080－××××－××××
一時的に 携帯通話プリセット機能を解除して電話をかける場合 （携帯電話会社の留守番サービスの遠隔操作などに電話をかける場合）	携帯電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」をつけてダイヤルしてください。 0000－090－××××－×××× （0000：携帯通話プリセット機能解除番号、090－××××－××××：携帯電話番号） もしくは 0000－080－××××－××××

■IP電話サービスをご利用の場合

86・88ページの「IP電話利用中？」で「YES」を選択されたお客様

携帯通話プリセット機能を利用して電話をかける場合	携帯電話番号をダイヤルしてください。 090－××××－×××× もしくは 080－××××－××××
一時的に 携帯通話プリセット機能を解除して「IP電話網経由」で電話をかける場合	携帯電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」をつけてダイヤルしてください。 0000－090－××××－×××× （0000：携帯通話プリセット機能解除番号、090－××××－××××：携帯電話番号） もしくは 0000－080－××××－××××
一時的に 携帯通話プリセット機能を解除して「加入電話網経由」で電話をかける場合 （携帯電話会社の留守番サービスの遠隔操作などに電話をかける場合）	携帯電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」と加入電話選択番号（85ページ）をつけてダイヤルしてください。 0000－0000－090－××××－×××× （0000：携帯通話プリセット機能解除番号、0000：加入電話選択番号※、090－××××－××××：携帯電話番号） もしくは 0000－0000－080－××××－××××

※加入電話選択番号「0000」はNTT東日本・NTT西日本のVoIP機器をご利用の場合の例です。
ご利用のIP電話サービスに合わせてダイヤルしてください。

次ページへつづく

ご注意

- 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯番号帯は93ページに記載されている18件の携帯番号帯です。設定されている携帯番号帯を変更することはできません。
- マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なくご利用になれます。
- PHSへの通話は、ご利用いただけません。
- **通話先、通話時間、通信事業者の料金体系によっては、一部お安くならない場合があります。くわしくは、ご利用の固定電話サービス事業者へお問い合わせください。**

携帯通話プリセット機能の設定について

- IP電話ご利用などで、固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合は、設定を「OFF」（解除）にしてください。「ON」（設定）にしてご使用になりますと、携帯電話への通話料金は、選択した（または設定した）固定電話サービス事業者のご利用分として請求されます。
- 次の設定を行なわない場合は、電話がかけられなかったり、携帯電話につながらなかったりする場合があります。
  - ・NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」やNTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する「直収電話サービス」（8ページ）をご利用のお客様は、設定を「OFF」（解除）にしてください。なお、直収電話サービスにつきましては、各サービス事業者へお問い合わせください。
  - ・ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続したときは、設定を「OFF」（解除）にしてください。電話をかけることができない場合があります。（この場合、携帯通話プリセット機能はご利用になれません。）
  - ・BBフォンなどのIP電話をご利用のお客様は、「携帯通話プリセット機能」の設定の変更が必要です。くわしくは、85ページをご覧ください。
- IP電話サービスをご利用時、接続するVoIP機器（ルーターなど）によっては、本機能が正しくはたらかない場合があります。

ご注意（つづき）

操作について

●次の場合は、本機能ははたらきません。
- 通話中に 消去／キャッチ を利用して電話をかけるとき（トリオホンご利用時など）
- 「184」「186」などの番号を押してから、 ポーズ を押してダイヤルしたとき
- ポーズを入れて電話帳（48〜49ページ）に登録した相手に、電話帳を利用して電話をかけたとき
- 電話をかけるときに「ツー」音が聞こえてから、約18秒以内に携帯電話番号の最初の4桁をダイヤルしなかったとき

●携帯通話プリセット機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本機が事業者識別番号の付与判断を行なっているためであり、故障ではありません。

●携帯通話プリセット機能を「ON」（設定）にしている場合でも、その通話に限り、携帯通話プリセット機能を利用せずに電話をかけることができます。この場合は、通話状態にして（親機は ハンズフリー を押す、受話子機・子機は ☎ を押す）、次に電話番号の前に「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してから、ダイヤルしてください。

●携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作など、一部サービスをご利用いただけない番号があります。この場合は、通話状態にして（親機は ハンズフリー を押す、受話子機・子機は ☎ を押す）、電話番号の前に「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してから、ダイヤルしてください。ただし、NTTコミュニケーションズ以外の固定電話サービス事業者では、直接、船舶電話に電話をかけられない場合があります。

ご注意（つづき）

事業者識別番号について

- 本機でこの機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に「事業者識別番号」や「加入電話選択番号」をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料金が異なる場合があります。
- 事業者識別番号を消去することはできません。
- 88ページの事業者識別番号を入力する手順で、何も入力せずに［電話帳／決定］を押すと、「ピピピ」と鳴って、88ページの手順の最初の状態に戻ります。

携帯番号帯について

- 「080」「090」で始まる携帯電話番号の上位4桁のことです。お買い上げ時は、あらかじめ携帯番号帯が18件設定されています。変更することはできません。

■本機では「0800」「0900」で始まる番号は、携帯通話プリセット機能」の対象になりません。

●設定されている携帯番号帯（18件）

0801	0901
0802	0902
0803	0903
0804	0904
0805	0909
0806	0906
0807	0907
0808	0908
0809	0909

（2007年7月現在）

お買い上げ時に本機の携帯通話プリセット機能で登録・設定されている
「0033モバイル」（NTTコミュニケーションズ）に関するお問い合わせは

NTTコミュニケーションズ　カスタマーズフロント

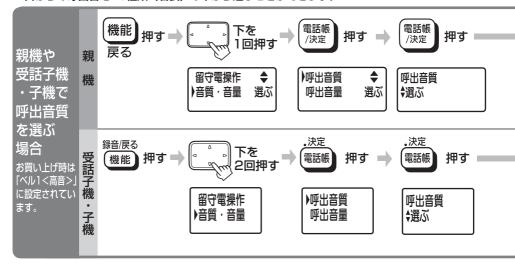
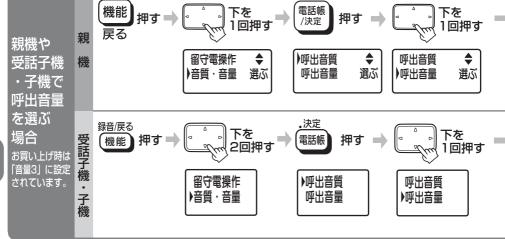
コールコール
0120−506506

受付時間：午前9：00〜午後9：00
（年末年始は除きます）
（2007年7月現在）

※本機の機能・設定に関するお問い合わせは、弊社お客様相談室（151ページ）にお問い合わせください。

音に関する機能の設定を変える

ご利用方法に合わせて、下記の機能の設定を変えることができます。

●外からの呼出音を10種類（右表）の中から選ぶことができます。

●呼出音（外線・内線・ドアホン）の音量の大きさを、5段階の中から選ぶことができます。

● 呼出音量（5段階） →消音⇄音量1⇄音量2⇄音量3⇄音量4(特大)← と切りかわります。

お好みで変える

次ページへつづく

上または下を押して音質を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

●押すたびに呼出音が鳴ります。

上または下を押して音質を選ぶ → 決定 電話帳 押す → 切 押す

●押すたびに呼出音が鳴ります。

● 呼出音質（10種類）

呼出音
ベル1＜高音＞
ベル1＜低音＞
ベル2
チャイム
ファンファーレ
音階
森のくまさん
ユーモレスク
華麗なる大円舞曲
ラデツキー行進曲

押す →
上または下を押して音量を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

呼出音量
[▮▮▮]

●現在の設定が表示されます。

●押すたびに音量が切りかわります。

●消音を設定すると、消音が表示されます。

押す →
上または下を押して音量を選ぶ → 決定 電話帳 押す → 切 押す

呼出音量
[▮▮▮]

●現在の設定が表示されます。

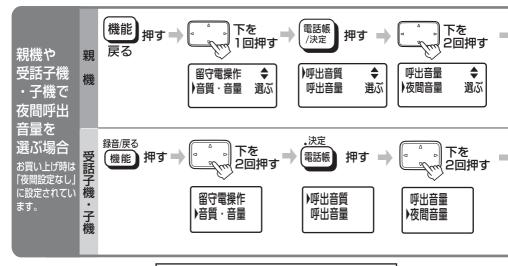
●押すたびに音量が切りかわります。

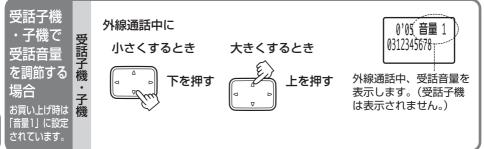
●消音を設定すると、消音が表示されます。

●消音を解除するときは、「音量1」～「音量4（特大）」のいずれかを選びます。
●内線とドアホンの呼出音は、ここで設定する音量と同じ大きさで鳴ります。
●消音を設定時、内線とドアホンは音量1で鳴ります。

音に関する機能の設定を変える

ご利用方法に合わせて、下記の機能の設定を変えることができます。

●夜間時間帯と合わせて親機や受話子機・子機ごとに設定すると、呼出音量を昼間は通常の音量、就寝時間などは小さな音量でそれぞれ鳴らすことができます。

● 夜間呼出音量（6段階） 消音⇄音量1⇄音量2⇄音量3⇄音量4(特大)⇄夜間設定なし と切りかわります。

●受話子機や子機のレシーバーから聞こえる音量を、4段階の中から選ぶことができます。

● 受話音量（4段階） 音量1⇄音量2⇄音量3⇄音量4(特大) と切りかわります。

次ページへつづく

 押す → 上または下を押して音量を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生/停止 押す

夜間音量
⇕夜間設定なし

●現在の設定が表示されます。

●押すたびに音量が切りかわります。

●消音を設定すると、設定した夜間時間帯に 消音 が表示されます。

 押す → 上または下を押して音量を選ぶ → 決定 電話帳 押す → 切 押す

夜間音量
⇕夜間設定なし

●現在の設定が表示されます。

●押すたびに音量が切りかわります。

●消音を設定すると、設定した夜間時間帯に 消音 が表示されます。

●留守番に録音された内容を聞くときや、ハンズフリー通話などに使うスピーカーの音量を、4段階の中から選ぶことができます。

親機や受話子機・子機でスピーカー音量を調節する場合

お買い上げ時は「音量3」に設定されています。

親機

ハンズフリー通話中に

小さくするとき 下を押す

大きくするとき 上を押す

ハンズフリー通話中、スピーカー音量を表示します。

受話子機・子機

ハンズフリー通話中に

小さくするとき 下を押す

大きくするとき 上を押す

0'05 音量 3
0312345678

ハンズフリー通話中、スピーカー音量を表示します。(受話子機は表示されません。)

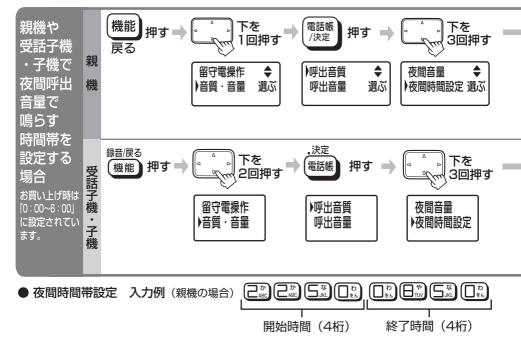
● スピーカー音量（4段階） 音量1⇄音量2⇄音量3⇄音量4(特大) と切りかわります。

おしらせ

●夜間呼出音量を解除するときは、「夜間設定なし」を選びます。
●内線とドアホンの呼出音は、夜間時間帯は夜間呼出音量で設定する音量と同じ大きさで鳴ります。
●夜間呼出音量で消音を設定時、夜間時間帯は、内線とドアホンは音量1で鳴ります。

音に関する機能の設定を変える

ご利用方法に合わせて、下記の機能の設定を変えることができます。

●夜間呼出音量で鳴らす時間帯を設定することができます。

● **夜間時間帯設定　入力例**（親機の場合）　2 2 5 0 0 8 5 0

開始時間（4桁）　終了時間（4桁）

お好みで変える

次ページへつづく

電話帳/決定 押す → 時間帯（24時間制）を入力する → 電話帳/決定 押す → 再生/停止 押す

夜間時間設定
00:00->06:00

夜間時間設定
22:50->08:50

● 現在の設定が表示されます。

● 開始時刻と終了時刻を同じ時刻にはできません。

決定 電話帳 押す → 時間帯（24時間制）を入力する → 決定 電話帳 押す → 切 押す

夜間時間設定
00:00->06:00

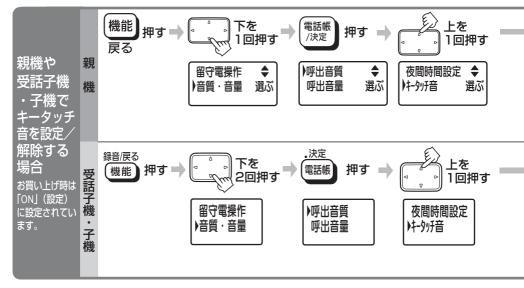
夜間時間設定
22:50->08:50

● 現在の設定が表示されます。

● 開始時刻と終了時刻を同じ時刻にはできません。

音に関する機能の設定を変える

ご利用方法に合わせて、下記の機能の設定を変えることができます。

●ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか出さないかを選ぶことができます。

●通話中の相手の声が聞きとりにくいとき、「ON」（設定）に設定すると、受話音質が改善される場合があります。
すべての使用環境で有効なわけではありません。聞きやすい設定にしてお使いください。

お好みで変える

電話帳/決定 押す → 上または下を押して選ぶ → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

キータッチ音
⇕ON

● 現在の設定が表示されます。

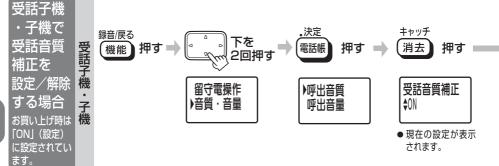
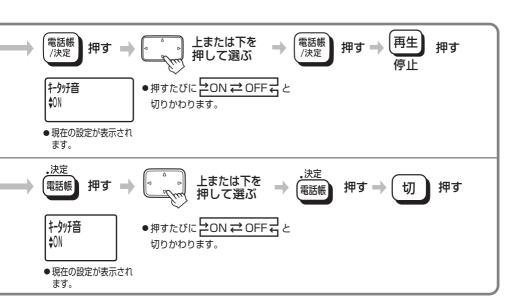
● 押すたびに ON ⇄ OFF と切りかわります。

決定 電話帳 押す → 上または下を押して選ぶ → 決定 電話帳 押す → 切 押す

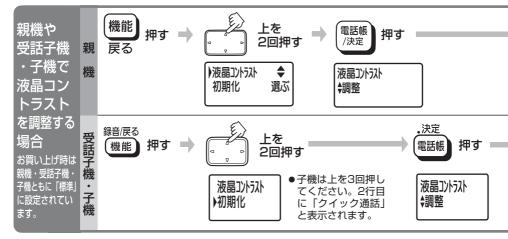
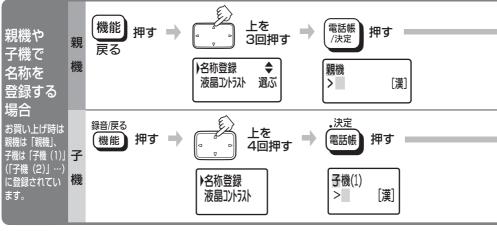
● 現在の設定が表示されます。

● 押すたびに ON ⇄ OFF と切りかわります。

上または下を押して音質を選ぶ → 決定 電話帳 押す → 切 押す

● 押すたびに ON ⇄ OFF と切りかわります。

その他の機能の設定を変える

ご利用方法に合わせて、下記の機能の設定を変えることができます。

●液晶画面のコントラストを親機は13段階、子機は12段階の中から調整できます。

●液晶画面に、使う人の名前などを表示させることができます。あらかじめ登録しておくと、親機や子機を呼出すときに、名前で選べます。（内線ネーム呼出） 受話子機はできません。

●充電器から子機をとるだけで ☎ を押さなくても電話をかけたり、受けたりできます。
■ 受話子機は解除できません。

お好みで変える

上または下を押して
コントラストを調整する → 電話帳/決定 押す → 再生 停止 押す

上または下を押して
コントラストを調整する → 決定 電話帳 押す → 切 押す

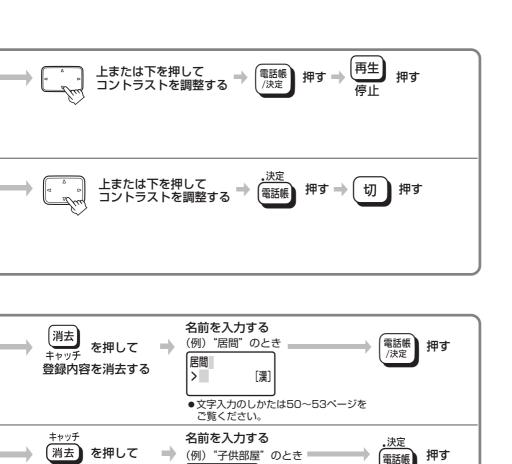
消去 キャッチ を押して
登録内容を消去する → 名前を入力する
（例）“居間”のとき → 電話帳/決定 押す

居間
> ［漢］

●文字入力のしかたは50～53ページを
ご覧ください。

キャッチ 消去 を押して
登録内容を消去する → 名前を入力する
（例）“子供部屋”のとき → 決定 電話帳 押す

子供部屋
> ［漢］

●文字入力のしかたは50～53ページを
ご覧ください。

上または下を
押して選ぶ → 決定 電話帳 押す → 切 押す

●押すたびに ON ⇄ OFF と
切りかわります。

仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

型　番	TF-FV7000・FV7020・FV7030
使用周波数	2.4〜2.4835GHz全帯域
変調方式	FH-SS方式
ダイヤル方式	ダイヤル回線：DP信号（10PPS／20PPS） プッシュ回線：PB信号
電　源	親　機：専用ACアダプター（VT-18） 子　機：専用充電池（型番：TF-BT10） 充電器：専用ACアダプター（VT-16）
充電完了時間	約10時間
使用時間	子　機　待ち受け時間：約180時間 連続通話時間：約6時間
消費電力	親　機　動作時最大：約5.4W 留守待機時：約3.4W （留守設定時） 子　機　充電待機時：約1.9W
音声出力	出力インピーダンス600Ω
直流抵抗	約269Ω
静電容量	約0.82μF
録音時間	応答メッセージ・用件・通話録音した内容などを含め約10分以内
用件録音時間	1件につき5分以内
寸　法（幅×高さ×奥行）	親　機：約177×76×188mm （アンテナおよび突起部含まず） 受話子機：約49×174×38mm 子　機：約46×166×33mm 充電器：約67×71×73mm
質　量	親　機：約510g 受話子機：約140g（充電池を含む） 子　機：約130g（充電池を含む） 充電器：約57g

お手入れ

注意

●お手入れの際は、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因になることがあります。
ACアダプターを抜くと停電と同じ状態になります。（停電のときは　139ページ）

本体・コード類

柔らかい、乾いた布でから拭きしてください。ぬれたぞうきんは使用しないでください。
ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。またアルコール類や洗剤などは本体を傷める場合がありますので使用しないでください。
化学ぞうきんをお使いになるときは、化学ぞうきんに添付の注意書をよくお読みください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、本機の外装ケースを傷めますので避けてください。

受話子機・子機・充電器

柔らかい、乾いた布でから拭きしてください。ぬれたぞうきんは使用しないでください。
充電端子が汚れていると、充電ランプが青点灯または 発信ランプが緑点灯していても充電ができないことがあります。充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。

充電端子が汚れていると、受話子機を親機に戻しても、または子機を充電器に戻しても通話が切れない原因になります。
また、充電ができないために、通話中に突然切れるなど使用時間が短くなります。

次ページへつづく

充電池（ニッケル水素電池）を交換する

受話子機・子機の専用充電池（ニッケル水素電池）は消耗品です。販売店でお求めください。
型番：TF-BT10（ニッケル水素電池）　電圧：3.6（V）
希望小売価格1,800円（税抜価格1,715円）（希望小売価格は平成19年7月現在の価格です。）

- 商品に同梱されている充電池と外観が異なる場合があります。
同じ形の子機を他の機種のコードレスホンに使用しておりますが、この場合、同じ形の子機であっても異なる充電池を使用していることがあります。充電池をご購入の際は、必ず取扱説明書で「充電池の型番」をご確認のうえお買い求めください。

交換の時期

2年くらいで新品と交換してください。

2年以内でも、次の場合には交換してください。

充分に充電しても
- 少し話すとすぐに通話ができなくなるとき
- まったく通話や操作ができないとき

専用充電池　TF-BT10
（ニッケル水素電池）

お願い
- 必ず指定の充電池（別売品／型番：TF-BT10（ニッケル水素電池）、電圧：3.6（V））をお使いください。
- 充電端子が汚れていると、充分に充電しても、少し話すとすぐに通話ができなくなったり、まったく通話や操作ができなくなることがあります。充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。
- 充電池のコードを無理に引っ張らないでください。
- 必要のない限り、プラグの抜き差しは行なわないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。
- 充電しても、液晶画面に何も表示されないときや、充電ランプが青点灯、☎発信ランプが緑点灯しないときは、受話子機は親機からとって、もう一度親機に戻してください。子機は充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。

⚠ 危険
- 充電池は加熱したり、火中に投げ込まないでください。爆発して火災・けがの原因となることがあります。
- 充電池の端子をショート（短絡）したり、ビニールカバーをはがしたりしないでください。火災・けがの原因となることがあります。
- 専用の充電池（当社純正品）以外は、使用しないでください。火災・故障の原因となります。
- 充電するときは、親機または専用の充電器をお使いください。

充電池（ニッケル水素電池）を交換する

受話子機・子機の充電池（ニッケル水素電池）を交換する場合

受話子機・子機の充電池を交換すると、受話子機・子機のリセット（140ページ）を行なった場合と同じ状態になります。

1 充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせ、充電池（ニッケル水素電池）を取り外す。（イラストは子機です）

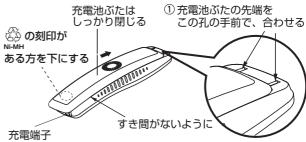
受話子機
子機

2 新しい充電池（ニッケル水素電池）のプラグを差し込む。

- 差し込むときは、プラグの向きを確認して奥まで確実に差し込んでください。プラグが完全に差し込まれていない状態で親機または充電器に置くと、受話子機は充電ランプ、子機は 発信ランプ以外のランプも点灯する場合がありますので、再度接続を確認してください。
- 必要のない限り、プラグの抜き差しは行なわないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。
- 充電池のビニールカバーは、はがさないでください。

3 充電池ぶたを閉じる。（イラストは子機です）

充電池ぶたは、しっかり閉じてください。不十分だと充電池ぶたが外れ、充電池（ニッケル水素電池）が落下するおそれがあり、故障の原因となることがあります。

- 充電池は、充電されていませんので、10時間以上充電してからご使用ください。
- コードをふたで、はさまないようにしてください。

② 充電池ぶたを子機に均等に密着させて、矢印の方向にスライドさせて閉じる

充電池には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

■ 不要になった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従ってください。

子機を増やす（増設子機の登録操作）次ページへつづく

別売の子機を増設することができます。（専用子機：TF-DK720）

■ 増設できる子機の台数は、受話子機と付属子機を含めて最大4台です。（付属子機には、増設子機の登録操作は必要ありません。）

■ 登録には、増設子機の他に、親機と親機のACアダプターが必要です。

■ あらかじめ、親機とすべての子機が通電していること、登録されているすべての子機が通話圏内にあることを確認してください。

■ 登録方法について、くわしくは、増設子機に付属の取扱説明書をご覧ください。

■ 登録した子機の使用をやめるときは、「増設のリセット」（108ページ）を行なってください。

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		#○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	#⑥
	全消去	#＊

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		#○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	#⑥
	全消去	#＊

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		#○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	#⑥
	全消去	#＊

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		#○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	#⑥
	全消去	#＊

ご注意

- 増設子機の登録操作や増設のリセットの操作を行なった直後、約10秒間は、親機や子機を使用しないでください。また、親機の電源を切ったり子機の充電池を外さないでください。登録やリセットの情報を正確に書き込めず、正常に動作しない場合があります。
- 登録を終了したら、内線通話（30～31ページ）をして、子機の登録ができたことを確認してください。
- 操作を間違えたとき、時間内に登録操作が完了しなかったとき、外来ノイズおよび電波の影響などで登録に失敗したときは、「増設子機を登録する場合」の最初からやり直してください。（なお、ご使用にならないときは、誤動作を防ぐために、充電池を外しておいてください。）
- 親機の操作を行なわずに子機の操作を行なったときは、「子機増設中」と表示され、子機の操作ができなくなります。約20～40秒経過すると、通常状態に戻ります。
- 増設子機の登録および増設のリセットの操作中は、他の子機を使用しないでください。
- 子機名称がすでに登録されている子機で、増設子機の登録操作を行なうと、子機の名称がお買い上げ時（「子機（1）」「子機（2）」…）に戻ります。必要に応じて、名称を登録し直してください。（102～103ページ）
- 子機の名称などが、増設中の外来ノイズなどで正常に表示しない場合があります。お買い上げ時の状態に戻らないときは、再度、増設子機の登録操作を行なってください。また、必要に応じてすべての子機の増設登録操作を行なってください。
- 増設子機の登録をすると、若い子機番号から順に、自動付与されます。

初期化

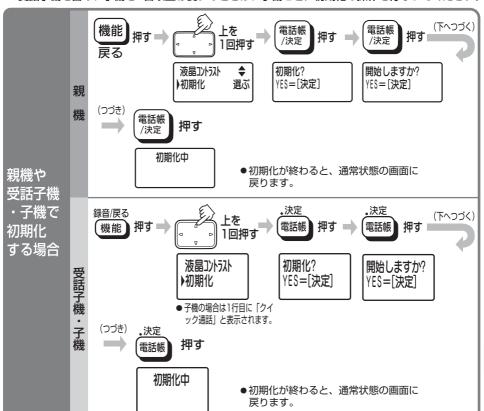
本機を廃棄・譲渡・返却するとき

本機（親機と受話子機・すべての子機）は、お客様固有の情報（登録した内容や録音した内容など）を保持可能な商品です。本機内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本機を廃棄・譲渡・返却するときは、個人情報保護の観点から親機と受話子機・すべての子機で初期化の操作を必ず行なってください。

すべての設定（呼出音量、呼出音選択など）、登録されている内容（電話帳の登録内容、名称登録など）が、お買い上げ時の状態に戻ります。

※電話帳にあらかじめ登録されている4件「時報（117)」「天気予報（177)」「電報（115)」「番号案内（104)」は、消去されません。

■ あらかじめ、親機と受話子機やすべての子機に電源が入っていること、受話子機やすべての子機の液晶画面に「通話圏外」と「 圏外 」が表示されていないことを確認してから行なってください。（初期化前に登録していた名称が消えずに残るなど、初期化後、正常に動作しない場合は親機と受話子機・子機の状態を確認し、再度、初期化の操作を最初からやり直してください。）

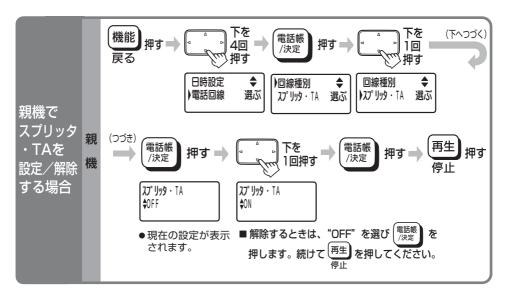
■ 受話子機を含め、子機を2台以上お使いのときは、子機ごとに初期化の操作を行なってください。

■ 初期化中は、電話をかけたり受けたりすることはできません。

■ 初期化中は、受話子機および他の子機や親機を使用しないでください。

■ 連続して初期化を行なうと、「使用中」と表示されたり、初期化が正常に行なえない場合があります。このときは、約5秒間たってから、初期化の操作を行なってください。

必要なとき

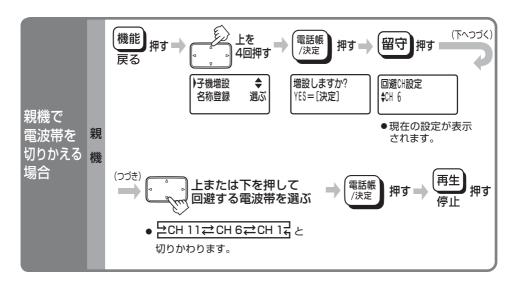
スプリッタ・TA設定

ADSL回線（IP電話サービス）をご利用になっている場合や、ISDN回線のTAなどに接続してご利用になっている場合に、「ハウリングを起こす」「音声が回り込み相手の声が聞きとりにくい」「通話の声が大きい」「音質が悪い」「話しにくい」などの症状が起こる場合があります。
このような場合は、スプリッタ・TA設定を行なうことにより、症状が緩和することがあります。
お買い上げ時は「OFF」（解除）に設定されています。
この機能は、親機で設定すると親機や受話子機・すべての子機で利用することができます。

■ この操作を行なっても、回線状況や接続しているスプリッタ・TAの種類によっては症状が改善しない場合があります。この場合は、契約されているADSL接続サービス会社やTAのメーカーにご相談ください。

■ この操作を行なったあと、反対に、音声の回り込みや音質の低下が発生する場合は設定を解除してください。

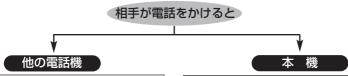
■ ADSL回線の場合、通話中に雑音が入る場合があります。ADSL回線に特有の事象です。契約されているADSL接続サービス会社へご相談ください。

電波帯切りかえ

他の電化製品（無線LAN機器など）の電波干渉によって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。無線LAN機器を使用している場合、無線LAN機器が使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。
お買い上げ時は「CH 6」に設定されています。
この機能は、親機で設定すると親機や受話子機・すべての子機で利用することができます。

■ 切りかえても症状が改善されなかったり、逆にひどくなる場合は、お買い上げ時の設定「CH 6」に設定し直してください。

●本機と干渉していると思われる機器側でも、同じような切りかえ設定が可能な場合もあります。本機の設定ではなく干渉していると思われる機器側、または本機と干渉していると思われる機器側の両方の設定を切りかえることで、症状が改善されることもあります。

ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

- 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の機器は1台しかつなげません。2台以上の電話機をつなげてそのままお使いの場合、電話番号が表示されなかったり、かかってきた電話をとることができないなどの原因となることがあります。
  2台以上お使いのときは、本機以外の機器（電話機やファクシミリなど）のナンバー・ディスプレイが**機能しないように**設定してください。

他の電話機

短い間隔の呼出音が鳴る
- 受話器をとらないでください。もし、受話器をとったときは、すぐに戻してください。
  受話器をとったままにすると、相手の方は「ツーツー」と話し中になります。

↓

通常の呼出音が鳴る
- 受話器をとると、お話しできます。

■他の電話機に留守番機能があるときは、他の電話機の留守番機能がはたらかないようにしてください。

■短い間隔の呼出音で他の電話機が留守応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ機能（62〜63ページ）が使えなくなります。

本機

呼出音が鳴らない
- 液晶画面に「着信」が表示されます。
  （電話番号などのデータを受信しています。）

↓

呼出音が鳴る
- 受話子機または子機をとると、お話しできます。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、液晶画面に電話番号などが表示されます。（62ページ）

- **ファクシミリとの接続**
  ファクシミリの機種によっては、本機のナンバー・ディスプレイが表示されない、ファクシミリの受信ができないなど、本機と接続してご利用になれない場合があります。くわしくは、ファクシミリのメーカーにお問い合わせください。
- **ホームテレホン、構内交換機（PBX）との接続**
  ナンバー・ディスプレイ（62〜63ページ）は、ご利用になれません。そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続には、別途工事が必要の場合があります。くわしくは、ホームテレホン、構内交換機（PBX）のメーカーにお問い合わせください。
- **ISDN回線のTAとの接続**
  ナンバー・ディスプレイ対応のTAをお使いください。くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。
  （なお、INSナンバー・ディスプレイをNTTとご契約後、ナンバー・ディスプレイの設定を本機とTAの両方で行なってください。）
  本機で行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定（63ページ）
  TAで行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定
  くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。

- 本機以外にナンバー・ディスプレイ対応のアダプター（表示器）は、お使いにならないでください。
  本機だけでナンバー・ディスプレイ（62ページ）がご利用になれます。
- 本機と並列に、他の電話機を接続しないでください。誤動作の原因となることがあります。

ADSLをご利用の場合は

■ 電話機での通話の声が大きくなりすぎる場合は、「スプリッタ・TA設定」（110ページ）を行なってください。

■ 困ったときは

●電話をかけられない（フリーダイヤル、天気予報など）
→回線を手動で設定する（20ページ）

●音量が小さい、雑音が多い

●ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号が表示されない

●携帯電話に電話をかけると、相手に「非通知」と表示される

本機を電話機コンセントに直接つないで確認してください。
正常の場合は、ADSLの事業者に相談してください。

NTTのISDN回線をご利用の場合は

■ 電話機での通話の声が大きくなりすぎる場合は、「スプリッタ・TA設定」（110ページ）を行なってください。

■ 接続したら回線種別の設定を「プッシュ」にしてください。（20ページ）

■ こんなときはTAの取扱説明書をお読みください

●i・ナンバー、ダイヤルインを利用する（本機にはダイヤルインの機能はありません）

●ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンを利用する

●携帯電話に電話をかけられない、受けられない・相手が切っても呼出音が鳴り続ける。
（リバース[極性切替]スイッチ と DSU を切り離すスイッチを確認する）

● 接続についてくわしくは、ご利用のパソコン、ADSLモデム、スプリッタ、TAなどに付属の各取扱説明書をお読みください。

● 一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては下記のような症状が発生する場合があります。
・電話に雑音が入ることがあります。その場合は各ADSLサービス会社へご相談ください。
・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話・PHSに発信した場合は「非通知」になる場合があります。
・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990、186、184、122などをつけた場合、また110、119、177、117などの番号にかけたときに、電話がかからない（つながらない）などの現象が発生することがあります。このようなときは、NTTとご契約されている回線種別と電話機の回線設定が合っているかを確認してください。（20ページ）
合っている場合は、各ADSLサービス会社へお問い合わせください。

付録（区点コード一覧表）

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
記号	0100			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	0116	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	0132	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	0148	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	0164	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	0180	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
	0216											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	0232	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀
	0248	∃												∠	⊥	⌒	∂
	0264	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
	0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯	
英数字	0300																
	0316	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
	0332		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
	0348	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
	0364		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
	0380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
ひらがな	0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	0416	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	0432	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	0448	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	0464	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん												
カタカナ	0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	0516	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	0532	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	0548	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	0564	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
ギリシャ	0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	0616	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	0632		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	0648	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
	0664																
	0680																
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

次ページへつづく

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
ロシア	0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	0716	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	0732	Ю	Я														
	0748		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	0764	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я														
罫線	0800		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓
	0816	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
	0832	╂															
	0848																
	0864																
	0880																
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

注　意

●空白部分は、入力できません。
ただし、0100（区点コード）＋ 01（区点）＝ 0101（コード）は、「全角スペース」として入力することができます。

補　足

●「区点コード」と「区点」を足した数値を入力すると、直接選択した文字を入力することができます。

<例>　0148（区点コード）＋ 14（区点）＝ 0162（コード）を入力すると → ±

付録（区点コード一覧表）

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
あ	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	1616	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	1632	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
い	1632											以	伊	位	依	偉	囲
	1648	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	1664	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	1700		院	陰	隠	韻	吋										
う	1700							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
	1716	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	1732	雲															
え	1732		荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	1748	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	1764	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩									
お	1780								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	1816	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音				
か	1816													下	化	仮	何
	1832	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	1848	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	1864	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	1916	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	1932	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	1948	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	1964	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	2016	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	2032	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	2048	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	2064	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願					
き	2064												企	伎	危	喜	器
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	2116	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	2132	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	2148	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	2164	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

次ページへつづく

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
き	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
	2216	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	2232	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	2248	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	2264	謹	近	金	吟	銀											
く	2264						九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	2316	薫	訓	群	軍	郡											
け	2316						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	2332	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	2348	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	2364	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	2416	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	2432	言	諺	限													
こ	2432				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	2448	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	2464	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	2516	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	2532	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	2548	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	2564	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	2616	紺	艮	魂													
さ	2616				些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
	2632	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	2648	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	2664	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	2716	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	2732	酸	餐	斬	暫	残											
し	2732						仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
	2748	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	2764	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

付録（区点コード一覧表）

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
し	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	2816	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
	2832	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	2848	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	2864	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
	2916	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	2932	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	2948	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	2964	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3016	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3032	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3048	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3064	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3116	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3132	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3148	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭						
す	3148											笥	諏	須	酢	図	厨
	3164	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	3200		澄	摺	寸												
せ	3200					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	3216	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	3232	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	3248	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
	3264	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	3316	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎							
そ	3316										噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
	3332	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	3348	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	搔
	3364	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

次ページへつづく

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
そ	3416	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
た	3416															他	多
	3432	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
	3448	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	3464	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	3516	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	3532	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談			
ち	3532														値	知	地
	3548	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	3564	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	3616	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	3632	沈	珍	賃	鎮	陳											
つ	3632						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
	3648	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	3664	釣	鶴														
て	3664			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	3716	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	3732	点	伝	殿	澱	田	電										
と	3732							兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	3748	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	3764	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
	3816	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	3832	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	3848	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
な	3864	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝													
に	3880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認								
ぬ	3900									濡							
ね	3900										禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
	3916	念	捻	撚	燃	粘											
の	3916						乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
	3932	農	覗	蚤													
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

必要なとき

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
は	3932				巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	3948	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	3964	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	4016	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	4032	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	4048	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮					
ひ	4048												匪	卑	否	妃	庇
	4064	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4116	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	4132	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	4148	賓	頻	敏	瓶												
ふ	4148					不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
	4164	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4216	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞						
へ	4216											丙	併	兵	塀	幣	平
	4232	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4248	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭			
ほ	4248														保	舗	鋪
	4264	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4316	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4332	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4348	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
ま	4364	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4400		漫	蔓													
み	4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4416	粍	民	眠													
む	4416				務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘			
め	4416														冥	名	命
	4432	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺		
も	4432															摸	模
	4448	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4464	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁							
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
や	4464										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓					
ゆ	4480												愉	愈	油	癒	
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4516	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
よ	4516														予	余	与
	4532	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4548	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4564	沃	浴	翌	翼	淀											
ら	4564						羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧								
り	4580									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4616	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4632	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4648	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
る	4648													瑠	塁	涙	累
	4664	類															
れ	4664		令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4700		蓮	連	錬												
ろ	4700					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
	4716	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4732	論															
わ	4732		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4748	椀	湾	碗	腕												
	区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

付録（区点コード一覧表）

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
一	いち	4800		弌	丐	丕												
丨	ぼう,たてぼう	4800					个	丱										
丶	てん	4800							丶	丼								
丿	のめ	4800									丿	乂	乖	乘				
乙,乚	おつにょう	4800													亂			
亅	はねぼう	4800														亅	豫	亊
		4816	舒															
二	に	4816		弍	于	亞	亟											
亠	なべぶた	4816						亠	亢	亰	亳	亶						
人	ひと	4816											从	仍	仄	仆	仂	仗
亻	にんべん	4832	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
𠆢	やね	4848	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
		4864	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
		4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
		4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
		4916	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻							
儿	ひとあし,しんにょう	4916										儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
入	いる,はいりがしら	4932	兩	兪														
八	はち,はちがしら	4932			兮	冀												
冂	えんがまえ,けいがしら	4932					冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕				
冖	わかんむり	4932													冖	冤	冦	冢
		4948	冩	冪														
冫	にすい	4948			冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛				
几	つくえ	4948													几	處	凩	凭
		4964	凰															
凵	うけばこ,かんにょう	4964		凵	凾													
刂	りっとう	4964				刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
刀,	かたな	4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
刃		5000		辧														
力	ちから	5000			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
		5016	勸															
勹	つつみがまえ,く	5016		勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏								
匕	さじのひ	5016									匕							
匚	はこがまえ	5016										匚	匣	匯	匱	匳		
匸	かくしがまえ	5016															匸	區
十	じゅう	5032	卆	卅	丗	卉	卍	凖										
卜	ぼくのと	5032							卞									
卩,㔾	ふしづくり	5032								卩	卮	夘	卻	卷				
厂	がんだれ	5032													厂	厖	厠	厦
		5048	厥	厮	厰													
厶	む	5048				厶	參	簒										
部首		区点コード＼区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

次ページへつづく

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
又	また	5048							雙	叟	曼	燮						
口	くち,くちへん	5048											叮	叨	叭	叺	吁	吽
		5064	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
		5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
		5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
		5116	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
		5132	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
		5148	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
		5164	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
		5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓								
囗	くにがまえ	5180									囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
		5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜							
土	つち,つちへん	5200										圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
		5216	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
		5232	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
		5248	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
		5264	壜	壤	壟													
士	さむらい	5264				壯	壺	壹	壻	壼	壽							
夂	ふゆがしら	5264										夂						
夊	すいにょう	5264											夊	夐				
夕	ゆうべ	5264													夛	梦	夥	
大	だい	5264																夬
		5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
女	おんな, おんなへん	5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
		5316	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
		5332	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
		5348	孃	孅	孀													
子	こ,こへん	5348				孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	
宀	うかんむり	5348																宀
		5364	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
		5380	寳															
寸	すん	5380		尅	將	專	對											
小	ちいさい,なおがしら	5380						尓	尠									
尢	まげあし	5380								尢	尨							
尸	しかばね	5380										尸	尹	屁	屆	屎	屓	
		5400		屐	屏	孱	屬											
屮	てつ	5400						屮										
山	やま,やまへん	5400							乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
		5416	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
		5432	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
		5448	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	
部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

付録（区点コード一覧表）

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
巛	まがりがわ	5448																巛
工	たくみ	5464	巫															
己	おのれ	5464		已	巵													
巾	はば,はばへん	5464				帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
		5480	幟	幢	幤	幇												
干	ほす	5480					幵	并										
幺	いとがしら	5480							幺	麼								
广	まだれ	5480									广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
		5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰		
廴	えんにょう,いんにょう	5500															廴	廸
廾	にじゅうあし	5516	廾	弃	弉	彝	彜											
弋	しきがまえ	5516						弋	弑									
弓	ゆみ,ゆみへん	5516								弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
彑	けいがしら	5532	彑	彖	彗	彙												
彡	さんづくり	5532					彡	彭										
彳	ぎょうにんべん	5532							彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
		5548	徙	徘	徠	徨	徭	徼										
忄	りっしんべん	5548							忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
心	こころ	5564	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
㣺	したごころ	5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	
		5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
		5616	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
		5632	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
		5648	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
		5664	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
		5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀							
戈	かのほこ,ほこづくり	5680										戈	戉	戍	戌	戔	戛	
		5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳								
戸	とびらのと,とだれ	5700									扁							
扌,手	てへん	5700										扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
手		5716	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
		5732	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
		5748	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
		5764	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
		5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
		5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
		5816	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫			
攵	とまた	5816														攴	攵	攷
		5832	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	
斗	とます	5832																斛
		5848	斟															
部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

次ページへつづく

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
斤	きん,おのづくり	5848		斫	斷													
方	ほう,かたへん	5848				旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙					
无,旡	すでのつくり	5848												无	旡			
日	にち	5848														旱	杲	昊
曰	にちへん,ひらび	5864	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
		5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
		5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷				
月	つきへん	5900													朏	朖	朞	朦
		5916	朧	霸														
木	きへん	5916			朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
		5932	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
		5948	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
		5964	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
		5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
		6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
		6016	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
		6032	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
		6048	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
		6064	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
		6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
		6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
		6116	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟									
欠	かける,あくび	6116								欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
		6132	歙	歔	歛	歟	歡											
止	とめる	6132						歸										
歹	いちた,がつへん	6132							歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
		6148	殪	殫	殯	殲	殱											
殳	るまた	6148						殳	殷	殼	毆							
毋	なかれ	6148										毋	毓					
毛	け	6148												毟	毬	毫	毳	毯
		6164	麾	氈														
氏	うじ	6164			氓													
气	きがまえ	6164				气	氛	氤	氣									
水	みず	6164								汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
氺	したみず	6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
氵	さんずい	6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
		6216	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
		6232	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
		6248	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
		6264	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
		6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
氵	さんずい	6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
		6316	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
		6332	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
		6348	瀰	瀾	瀲	灑	灣											
火	ひへん	6348						炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
灬	よってん	6364	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
		6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	
		6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨									
爪,爫	つめ,のつ	6400								爭	爬	爰	爲					
爻	めめ	6400												爻	爼			
爿	しょうへん	6400														爿	牀	牆
片	かた,かたへん	6416	牋	牘														
牛	うし,うしへん	6416			牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧					
犬	いぬ	6416												犹	犲	狃	狆	狄
犭	けものへん	6432	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
		6448	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺			
王	おうへん	6448														珈	玳	珎
玉	たまへん,たま	6464	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
		6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
瓜	うり	6500		瓠	瓣													
瓦	かわら	6500				瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
		6516	甍	甕	甓													
甘	あまい	6516				甞												
生	いきる	6516					甦											
用	もちいる	6516						甬										
田	た,たへん	6516							甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
		6532	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂					
疒	やまいだれ	6532												疔	疚	疝	疥	疣
		6548	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
		6564	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
		6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
		6600		癲														
癶	はつがしら	6600			癶	癸	發											
白	しろ	6600						皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚		
皮	ひのかわ	6600															皰	皴
		6616	皸	皹	皺													
皿	さら	6616				盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯			
目	めへん	6616														盻	眈	眇
		6632	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
		6648	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
		6664	矗	矚														
部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

次ページへつづく

部首		区点／区点コード	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
矛	むのほこ	6664			矜													
矢	や	6664				矣	矮											
石	いし,いしへん	6664						矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
		6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
		6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫					
示	しめす	6700												祀	祠	祗	祟	祚
		6716	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳					
禸	ぐうのあし	6716												禹	禺			
禾	のぎ,のぎへん	6716														秉	秕	秧
		6732	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
		6748	穉	穡	穢	穩	龝	穰										
穴	あな, あなかんむり	6748							穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
		6764	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊									
立	たつ,たつへん	6764								竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
		6780	竦	竭	竰													
竹	たけ, たけかんむり	6780				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
		6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
		6816	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
		6832	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
		6848	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
		6864	籥	籬														
米	こめ,こめへん	6864			籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
		6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶			
糸	いと,いとへん	6880														糺	紆	
		6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
		6916	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
		6932	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
		6948	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
		6964	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
		6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜			
缶	ほとぎ	6980														缸	缺	
		7000		罅	罌	罍	罎	罐										
网	あみがしら	7000							网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
罒,⺳	よんがしら	7016	羂	羆	羃	羈	羇											
羊	ひつじ, ひつじへん	7016						羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
		7032	羸	譱														
羽,羽	はね	7032			翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜			
		7032														耆	耄	耋
耒	らいすき,すきへん	7048	耒	耘	耙	耜	耡	耨										
耳	みみ,みみへん	7048							耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
		7064	聳	聲	聰	聶	聹	聽										
部首		区点コード／区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

部首		区点 / 区点コード	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
聿	ふでづくり	7064							聿	肄	肆	肅						
月	にくづき	7064											肛	肓	肚	肭	冐	肬
		7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
		7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
		7116	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
		7132	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠							
臣	しん	7132										臧						
至	いたる	7132											臺	臻				
臼	うす	7132													臾	舁	舂	舅
		7148	與	舊														
舌	した	7148			舍	舐	舖											
舟	ふね,ふねへん	7148						舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
		7164	艢	艨	艪	艫	舮											
艮	こん	7164						艱										
色	いろ	7164							艷									
艸	くさ	7164								艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
艹,⺿	くさかんむり	7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	
		7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
		7216	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
		7232	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
		7248	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
		7264	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
		7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
		7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
		7316	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
		7332	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿								
虍	とらがしら	7332									虍	乕	虔	號	虧			
虫	むし,むしへん	7332														虱	蚓	蚣
		7348	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
		7364	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
		7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
		7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
		7416	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
		7432	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻								
血	ち	7432									衄	衂						
行	ぎょうがまえ,ゆきがまえ	7432											衒	衙	衞	衢		
衣	ころも	7432															衫	袁
衤	ころもへん	7448	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
		7464	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
		7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
		7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷								
部首		区点コード / 区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

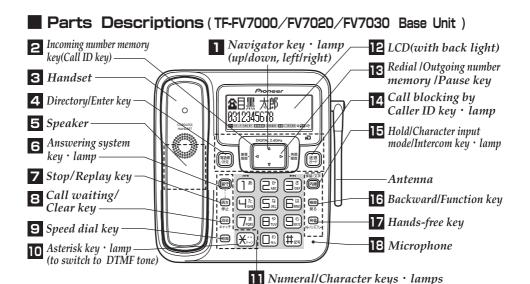
次ページへつづく

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
襾	にし	7500									襾	覃	覈	覊				
見	みる	7500													覓	覘	覡	覩
		7516	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀								
角	つの,つのへん	7516									觚	觜	觝	觧	觴	觸		
言	ことば,ごんべん	7516															訃	訖
		7532	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
		7548	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
		7564	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
		7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
		7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚		
谷	たに	7600															谺	豁
		7616	谿															
豆	まめ	7616		豈	豌	豎	豐											
豕	いのこ	7616						豕	豢	豬								
豸	むじな	7616									豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
		7632	貔	豼	貘													
貝	かい,かいへん	7632				戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
		7648	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	
赤	あか	7648																赧
		7664	赭															
走	そうにょう	7664		赱	赳	趁	趙											
足	あし	7664						跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
⻊	あしへん	7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
		7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
		7716	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡					
身	みへん	7716												躬	躰	軆	躱	躾
		7732	軅	軈														
車	くるま, くるまへん	7732			軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
		7748	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
		7764	轢	轣	轤													
辛	からい	7764				辜	辟	辣	辭	辯								
⻌,⻍	しんにょう, しんにゅう	7764									辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
		7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
		7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
		7816	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏									
邑	むら	7816								邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
阝	おおざと	7832	鄒	鄙	鄲	鄰												
酉	さけのとり,とりへん,ひよみのとり	7832					酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
		7848	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁								
釆	のごめ	7848									釉	釋						
里	さと	7848											釐					
部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
金	かね,かねへん	7848												釖	釟	釡	釛	釼
		7864	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
		7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
		7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
		7916	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
		7932	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
		7948	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿							
門	もんがまえ	7948										閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
		7964	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
		7980	關	闡	闥	闢												
阝	こざとへん	7980					阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	
		8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
隶	たい,れいのつくり	8016	隶	隸														
隹	ふるとり	8016			隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕					
雨	あめ,	8016												雹	霄	霆	霈	霓
	あめかんむり	8032	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
靑	あお	8048	靜															
非	あらず	8048		靠														
面	めん	8048			靤	靦	靨											
革	かくのかわ	8048						勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
		8064	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈						
韋	なめしがわ	8064											韋	韜				
韭	にら	8064													韭	齏	韲	
音	おと	8064																竟
		8080	韶	韵														
頁	おおがい	8080			頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
		8100		顱	顴	顳												
風	かぜ	8100					颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆					
食	しょく	8100												飩	飫	餃	餉	餒
飠,食	しょくへん	8116	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
		8132	饑	饒	饌	饕												
首	くび	8132					馗	馘										
香	かおり	8132							馥									
馬	うま,うまへん	8132								馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
		8148	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
		8164	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	ほね	8164													骭	骰	骼	髀
		8180	髏	髑	髓	體												
高	たかい	8180					髞											
髟	かみがしら	8180						髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
		8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣								
部首		区点コード＼区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

部首		区点 区点コード	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
鬥	とうがまえ	8200									鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮		
鬯	ちょう	8200															鬯	
鬲	れき,れきのかなえ	8200																鬲
鬼	おに,きにょう	8216	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘									
魚	うお,	8216								魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
	さかなへん,	8232	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
	うおへん	8248	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
		8264	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸						
鳥	とり	8264											鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
		8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
		8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
		8316	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
		8332	鸚	鸛	鸞													
鹵	ろ	8332				鹵	鹹	鹽										
鹿	しか	8332							麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝		
麥	ばくにょう	8332															麥	麩
麦	むぎ	8348	麸	麪	麭													
麻	あさ	8348				靡												
黄	きいろ	8348					黌											
黍	きび	8348						黎	黏	黐								
黑,黒	くろ	8348									黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
黒		8364	黴	黶	黷													
黹	ち	8364				黹	黻	黼										
黽	べん	8364							黽	鼇	鼈							
鼓	つづみ	8364										皷	鼕					
鼠	ねずみ	8364												鼡	鼬			
鼻	はな	8364														鼾		
齊	さい	8364															齊	
齒	は	8364																齒
		8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶				
龍	りゅう	8380													龕			
龜	かめ	8380														龜		
龠	やく	8380															龠	
		8400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙									
部首		区点コード 区点	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15

Quick Reference Guide

■ Parts Descriptions (TF-FV7000／FV7020／FV7030 Base Unit)

Basic Operations (TF-FV7000／FV7020／FV7030 Base Unit)

■ To make a call
Lift the handset. ➡ Dial.

■ To receive a call
When the phone rings... ➡ Lift the handset.

■ To adjust the ringer volume
With the handset placed on the base unit, press [機 能] (16).

➡ Press [down] (1) once to select... "音質・音量" on the LCD (12). ➡ Press [決 定] (4).

➡ Press [down] once to select... "呼出音量" on the LCD. ➡ Press [決 定].

➡ Press [up/down] to select the volume level(Silent, Vol.1～Vol.4). ➡ Press [決 定] to set.

➡ Press [停 止] (7).

■ To make a call using the Hands-free talk
Press [発 信] (17). ➡ Dial. ➡ Talk to the microphone...To end the call, press [発 信].

■ To receive a call with the Hands-free talk
When the phone rings... ➡ press [発 信] ➡ Talk to the microphone...

To end the call, press [発 信].

■ To place the current call on hold
Press [内 線] (15) during a call.(You can place the handset on the base unit.)

■ To retrieve the held call
If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.

If you have not returned the handset on the base unit, press [内 線] again.

次ページへつづく

■ To transfer the held call to the personal phone

Press 内線 (15) during a call. ➡ Press 1 ~ 3 (11) (the extension number you want to transfer to). ➡ Place the handset on the base unit when the other party answers.

■ To use TAM(Telephone Answering Machine)

When you leave home, press 留守 (6) to turn the Answer lamp on.

(To deactivate, press 留守 again to turn the Answer lamp off.)

➡When receiving a call while TAM is active, it answers the call automatically in Japanese, and records the incoming messages.

Then, the 留守 lamp starts blinking. ➡When you return home, press 留守 to play back the messages.

The 留守 lamp turns off and the answering mode is deactivated.

To playback the message while TAM is deactiveated, press 再生 (7).

During playing back the messages, press 消去 (8) to erase the message.

To erase all the messages, press 消去 for 2 seconds or more.

※Up to 59 messages can be recorded for approximate,10 minutes in total.

■ To record OGM (outgoing message)

With the handset placed on the base unit, press 機能 (16). ➡ "留守電操作" on the LCD(12).

➡ Press 決定 (4). ➡ Press 決定 .

➡ Press down (1) once to select... "録音" on the LCD.

➡ Press 決定 two times to start recording. ➡ Speak to microphone (18)(up to 30sec).

➡ Press 決定 . ➡ Press 停止 (7).

■ To setting the telephone line manually

With the handset placed on the base unit, press 機能.

➡ Press down 4 times to select... "電話回線" on the LCD.

➡ Press 決定 . ➡ Press 決定 .

➡ Press up/down to select the appropriate line type from the list shown below.

➡ Press 決定 . ➡ Press 停止 .

Line type :

プッシュ= tone dial line
10PPS = pulse dial line:10pps
20PPS = pulse dial line:20pps

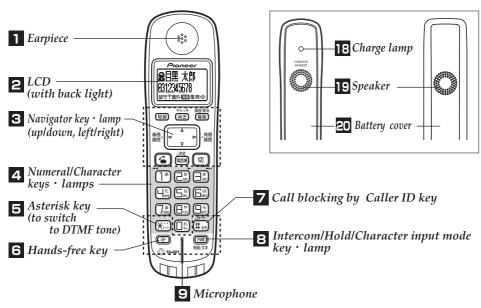
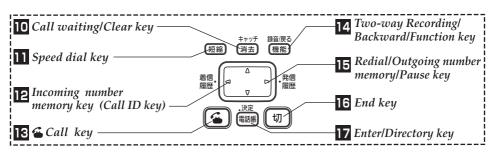
Quick Reference Guide

■ Parts Descriptions (TF-FV7000／FV7020／FV7030 Personal Phone)

Basic Operations (TF-FV7000／FV7020／FV7030 Personal Phone)

■ To make a call

Lift the personal phone from the cradle or press [☎] (13). ➡ Dial.

To end the call, place the personal phone on the cradle or press [切] (16).

■ To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the personal phone from the cradle or press [☎]. ➡ Talk...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press [切].

必要なときは

■ To adjust the ringer volume

After pressing the 切 (16), press 機能 (14).

➡ Press down (6) two times to select... "音質・音量" on the LCD (5).

➡ Press 決定 (17).

➡ Press down once to select... "呼出音量" on the LCD. ➡ Press 決定 .

➡ Press up/down to select the volume level (Silent, Vol.1～Vol.4). ➡ Press 決定 .

➡ Press 切 .

■ To make a call using the Hands-free talk

Press ハンズフリー (4). ➡ Dial. ➡ Talk to the microphone...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 .

■ To receive a call with the Hands-free talk

When the phone rings... ➡ Press ハンズフリー . ➡ Talk to the microphone...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 .

■ To place the current call on hold

Press 内線 (8) during a call.

■ To retrieve the held call

Press ☎ (13) or 内線 .

■ To transfer the held call to the base unit

Press 内線 during a call. ➡ Press 0 (the base unit number).

➡ Place the personal phone on the cradle or press 切 when the other party answers.

■ To transfer the held call to another personal phone

Press 内線 during a call. ➡ Press 1 ～ 3 (2) (the extension number you want to transfer to).

➡ Place the personal phone on the cradle or press 切 when the other party answers.

■ To record OGM (outgoing message)

After pressing the 切 , press 機能 .

➡ Press down once to select... "留守電操作" on the LCD.

➡ Press 決定 . ➡ Press down once to select... "応答メッセージ" on the LCD.

➡ Press 決定 . ➡ Press down once to select... "録音" on the LCD.

➡ Press 決定 two times to start recording.

➡ Speak to microphone(9) (up to 30sec). ➡ Press 決定 . ➡ Press 切 .

NOTICE
For Japanese standard only. This set operates on AC100V. Due to different standards of telephone line and different power requirements , this set cannot be used outside of Japan.

操作早見表

（親機）

早見表の見かた
受話子機を親機からとる

操作	手順	参照ページ
電話回線の手動設定	機能/戻る ▶ 下を4回押す ▶ 電話帳/決定 2回押す ▶ 上または下を押して回線種別を選ぶ ▶ 電話帳/決定 ▶ 再生/停止	P.20
電話をかける	▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.23
リダイヤルで電話をかけ直す	▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 着信履歴・発信履歴	P.24
ハンズフリーボタンでかける	発信/ハンズフリー ▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号 ▶ または そのままハンズフリー通話	P.26
保留	通話中に 保留/文字 内線 ／ 通話に戻る（保留を解除する）には 保留/文字 内線	P.27
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号「プッ、プッ・・・」音が聞こえたら 消去/キャッチ	P.29
内線通話	受話子機を含め子機が2台以上のときは 保留/文字 内線 ▶ 上または下を押して通話先を選ぶ ▶ 電話帳/決定 ▶ 子機がでたら ▶ または そのままハンズフリー通話	P.30
一斉呼出（受話子機を含め子機が2台以上のとき）	保留/文字 内線 ▶ 上または下を押して"一斉呼出"を選ぶ ▶ 電話帳/決定 ▶ 子機がでたら ▶ ▶ 最初につながった子機と話す	P.30 P.31
呼びかけ内線	保留/文字 内線 2秒以上押し続ける ▶ 呼出音が鳴り終わったら ▶ マイクに向かって話す ▶ 保留/文字 内線	P.32
留守セット／解除	（セット／解除）留守	P.37
用件再生	（留守番を解除して再生するとき）留守 ／（留守番を解除しないで再生するとき）再生/停止	P.39

次ページへつづく

（親機）

操　作	手　順	参照ページ
再生を止める	用件再生中に［再生/停止］	P.39
用件の全消去	［消去/キャッチ］ ２秒以上押し続ける	P.39
非通知ガードの設定	［迷惑ガード］ ▶ ［電話帳/決定］ 2回押す ▶ 上または下を押して“ON”を選ぶ ▶ ［電話帳/決定］ ▶ ［再生/停止］	P.74
公衆電話ガードの設定	［迷惑ガード］ ▶ 下を1回押す ▶ ［電話帳/決定］ 2回押す ▶ 上または下を押して“ON”を選ぶ ▶ ［電話帳/決定］ ▶ ［再生/停止］	P.74
表示圏外ガードの設定	［迷惑ガード］ ▶ 下を2回押す ▶ ［電話帳/決定］ 2回押す ▶ 上または下を押して“ON”を選ぶ ▶ ［電話帳/決定］ ▶ ［再生/停止］	P.74
特定番号ガードへの登録	［迷惑ガード］ ▶ 上を2回押す ▶ ［電話帳/決定］ 2回押す ▶ 市外局番から電話番号を入力する ▶ ［電話帳/決定］ ▶ ［再生/停止］	P.72
限定着信の設定	［迷惑ガード］ ▶ 上を1回押す ▶ ［電話帳/決定］ 2回押す ▶ 上または下を押して“ON（タイマーあり）”または“ON（タイマーなし）”を選ぶ ▶ ［電話帳/決定］ ▶ ［再生/停止］	P.70

操作早見表

（受話子機）（子機）

早見表の見かた：受話子機を親機からとる

早見表の見かた：子機を充電器からとる

操　作	手　順	参照ページ
電話をかける	または ▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.23
リダイヤルで電話をかけ直す	または ▶「ツー」音が聞こえたら ▶ 着信履歴・発信履歴	P.24
ハンズフリーボタンでかける	または ▶ ハンズフリー ▶ 電話番号 ▶ ハンズフリー または そのままハンズフリー通話	P.26
保留	通話中に 内線 保留/文字 ／ 通話に戻る（保留を解除する）には 内線 保留/文字	P.27
通話録音	通話中に 録音/戻る 機能 ／ 録音を終わらせるときは 録音/戻る 機能	P.28
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号「プッ、プッ・・・」音が聞こえたら キャッチ 消去	P.29
内線通話	受話子機を含め子機が2台以上のときは 内線 保留/文字 ▶ 上または下を押して親機を選ぶ ▶ 決定 電話帳 ▶ 親機がでたら話をする	P.30
子機間通話（受話子機を含め子機が2台以上のとき）	内線 保留/文字 ▶ 上または下を押して通話先を選ぶ ▶ 決定 電話帳 ▶ 別の子機がでたら話をする	P.31
一斉呼出（受話子機を含め子機が1台以上のとき）	内線 保留/文字 ▶ 上を1回押す ▶ 決定 電話帳 ▶ 最初につながった親機または子機と話す	P.30 P.31
留守セット／解除	録音/戻る 機能 ▶ 下を1回押す ▶ 決定 電話帳 ▶ 決定 電話帳 ▶ ▶ 上または下を押して“ON”または“OFF”を選ぶ ▶ 決定 電話帳	P.37
用件再生	録音/戻る 機能 ▶ 決定 電話帳 ▶ 決定 電話帳	P.39
再生を止める	用件再生中に 切	P.39

停電のときは

停電中や親機のACアダプターが外れたときは・・・
電話をかけることも受けることもできません。

親機	●通常起こりうる停電などの使用状態では問題ありませんが、むやみに電源を入れたり、切ったりしていると親機内蔵の電池の消耗や寿命に影響し、停電時の動作が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
受話子機・子機	●通話中に停電すると、通話は切れます。続いて「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…、ピピピ」音が鳴り、通常状態に戻ります。

■ 日付・時刻の設定について
約1時間は保持されます。
→約1時間後に「初期値」（2007年1月1日午前0時）に戻ります。再度、日付・時刻を設定してください。（21ページ）

■ 留守番電話の用件再生中や、外線リモコン操作中に停電したとき
→再生は停止します。外線リモコン操作中の場合、電話が切れます。

■ 通話録音中に停電が起きたとき
通話録音が終了します。（正しく録音されていない場合があります。）

■ 電話帳に登録した内容・留守設定や用件録音の内容・各種設定について
●登録内容・各種設定は、停電復旧後も保持されます。

■ 停電が終わると、通常状態に戻るときに、約1秒程度回線とつながることがあります。

■ 停電が終わってからしばらくたっても、子機の液晶画面に「通話圏外」(または「親機サーチ中」)と「圏外」が表示されているときは、[☎]、[内線／保留／文字]、または[ハンズフリー]のいずれかを押してください。

■ 正常に動作しないときは、リセット操作（140ページ）を行なってください。

停電用電話機をご用意いただくことをおすすめします。

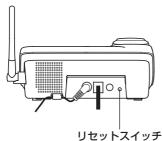
停電用電話機（AC電源がなくても使える市販の電話機）をご用意いただくことをおすすめします。停電用電話機に電話機コードをつなぎかえれば、停電時でもその電話機を使って電話をかけたり受けたりすることができます。
※ひかり回線をご利用の場合は、停電用電話機をご用意いただいても使用することができません。

❶ 親機から電話機コードを抜く　❷ 停電用電話機に差し込む　❸ 停電用電話機として使う

リセットについて

ボタン操作を受けつけなくなった場合（強い外来ノイズや静電気、落雷を受けたときなど）や、「故障かな？と思ったら」（141〜148ページ）の処置を行なっても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。
また、本機は、自己診断機能により本機が異常と判断した場合、自動的にリセット処理を行なう場合があります。

親機のリセット方法

ACアダプターを差し込んだ状態で、つまようじなどの細い棒を穴に差し、リセットスイッチを押す。

●親機のリセットを行なうと・・・

設定がお買い上げ時の状態に戻るもの

●限定着信の設定（タイマーを設定している場合、解除されます。）

上記以外の設定、録音したもの、登録した内容は保持されます。

壁掛け用取付寸法

充電器42ミリ

受話子機・子機のリセット方法

充電池ぶたをあけ、充電池のプラグを抜き差ししてください。（105ページ）
なお、充電池を交換したとき（105ページ）も下記の状態になります。

●受話子機・子機のリセットを行なうと・・・

設定がお買い上げ時の状態に戻るもの

●現在日時

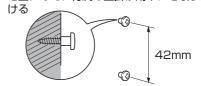
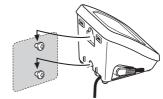
リセットを行なうと、日時が初期値「2007年1月1日午前0時」から再び動き始めます。
再度、現在の日付・時刻を設定し直してください。（21ページ）
現在の日付・時刻以外の設定、登録した内容は保持されます。

壁掛け

（子機）

子機を2台以上お使いのときは、充電器を壁に取り付けることができます。
（親機は壁に取り付けることはできません。）

充電器を壁に取り付ける場合

1 このページの左側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて、付属の壁掛け用ネジを取り付ける

2 ACアダプターのコードを図のように処理してから、充電器背面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

■ネジがゆるんでいると、子機を充電することができない場合があります。

充電器を壁から取り外す場合

上方に引き上げてから取り外す

注意

- 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付け・設置してください。
  落下のおそれがあり、けがの原因となることがあります。
- ベニヤ板などの薄い板壁やボード板（石こう板）には取り付けないでください。落下のおそれがあり危険です。

次ページへつづく

ボタン操作を受付けない場合、または以下の処置をしても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。(140ページ)

電話をかけたり、受けたりできない

症　状	原因と処置
受話子機をとっても「ツー」という音が聞こえない	●電話機コードが、カチッと音がするまで確実に接続されているか確認してください。 ● 電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ● ホームテレホンなどに接続すると、必要以上の電流などにより、故障・発熱・火災などの原因となることがあります。事前にホームテレホンのメーカー、または設置業者にお問い合わせください。 ●ADSLやISDNをご利用の場合、モデムやTAの接続・設定をご確認ください。 ➡くわしくは、ご利用の電話会社（またはモデムやTAのメーカー）などにご相談ください。 ●ファクシミリや他の機器などに接続のとき、その機器の接続や設定などが原因となる場合があります。原因と思われる機器のメーカーなどにご相談ください。 ➡【他の機器：セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、地上波デジタル用チューナー、CAT（キャットというカード会社の信用照会端末）など】
電話をかけることができない	●親機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。 ➡ 外れていると電話をかけることも受けることもできません。 ● 回線種別（プッシュ／ダイヤル）を正しく設定してください。（20ページ） ➡ＩＰ電話をご利用の場合、0120、0570、0990ではじまる番号や局番の頭に0000、186、184、122などをつけたり、110、119、177、117などの番号にかけてつながらないときは、NTTにご契約の回線種別に合わせてください。 ➡ISDN回線をご利用の場合は、プッシュに設定してください。 ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●以下の場合は携帯通話プリセット機能を「OFF」（解除）にしてください。または、「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してからダイヤルしてください。 ➡・ひかり電話や直収電話サービス（NTT東日本・NTT西日本を除く）をご利用の場合 ・構内交換機（PBX）をご利用の場合、0（ゼロ）発信しても「ツー」という音が聞こえない ・ＩＰ電話をご利用の場合（ＩＰ電話の発信を優先させる場合） ●ISDN回線で電話機のダイヤル信号をTAが正しく認識しない場合があります。くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。 ➡その場合「おかけになった電話番号は現在使われておりません」などの音声が流れて相手につながらないことがあります。
電話をかけようとすると警告音が鳴ってかけることができない	●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合で、ガード機能を設定しているときに、ガード機能がはたらき、メッセージ1またはメッセージ2で応答中の場合、警告音が鳴ります。ガード機能の応答が終わり、液晶画面が通常状態に戻ってから、電話をかけ直してください。
電話をかけると違う相手とつながる	●前の相手との通話が終わり電話を切ったら、少し時間をおいてもう一度かけ直してください。
電話をかけたとき相手につながるまで時間がかかる	●相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合、つながるまでに時間がかかることがあります。 ●携帯通話プリセット機能（86～91ページ）がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押してもしばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは事業者識別番号の付与判断を行なっているためです。故障ではありません。

故障かな？と思ったら

	症　状	原因と処置
電話をかけたり、受けたりできない（つづき）	電話に出ると時々切れたり、つながらないことがある	●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は「ON」に設定してください。（63ページ） ➡ナンバー・ディスプレイの回線で電話機の設定を「OFF」にしていると、かかってきた電話にでたとき「ジャー」という音が聞こえ、電話が切れてしまう場合があります。電話をかけてきた相手には、「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえ、電話がつながらない状態になります。 ➡INSナンバー・ディスプレイをご利用で電話機の設定を「OFF」にしていると、外から自宅に電話をかけたとき「…おかけになった電話番号には、お客様と通信できる機器が接続されていないか、または故障中と思われます。」とガイダンスが流れます。
	呼出音が1～2回鳴って切れる	●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●同じ回線で使用しているファクシミリ、モデム、ガス自動検針器、その他の通信機器が影響している場合があります。通信機器を外して症状がなくなる場合、原因と思われる通信機器のメーカーにお問い合わせください。 ●NTTの転送サービスをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」（解除）にしてください。(63ページ) ➡転送サービスとナンバー・ディスプレイの併用はできません。くわしくは、NTT窓口(お客様サービス116番)へお問い合わせください。
	呼出音が鳴らない	●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●ファクシミリやISDN／ADSL機器などに接続している場合、それらの機器の設定や動作が原因で呼出音が鳴らないことがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用サービスの会社にご相談ください。 ●親機の液晶画面にガードの表示（ガード：非通知、公衆電話、表示圏外、特定番号、限定着信）があるときは、原因となる不要なガードを解除してください。 ●消音を設定した親機や受話子機・子機の呼出音は鳴りません。（夜間呼出音量を消音に設定している場合も同様です。）消音を解除してください。（94・96ページ） ●受話子機の位置を確認してください。 親機に受話子機があるときは、受話子機の呼出音は鳴りません。
	呼出音の鳴り出しが遅い	●TAに接続して、ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、TAと電話機との通信の相互作用で多少遅くなる場合があります。
	呼出音の鳴り方が変わった	●夜間呼出音量を設定（96ページ）していると、設定時刻になると呼出音の音量が変わります。 ●ナンバー・ディスプレイの回線では電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「ON」にしてください。（63ページ） ➡「OFF」のときは、呼出音が最初短く鳴り、約5秒くらいで通常の呼出音に変わります。 ●鳴り分けが設定されている相手と、そうでない相手では、呼出音の鳴り方が異なります。鳴り分けが不要な場合は解除してください。（67ページ）

次ページへつづく

	症　状	原因と処置
通話中の症状	通話の音声がとぎれたり割れたりして聞きとりにくい	●スプリッタ・TA設定を「ON」にしてご使用ください。（110ページ） ➡事務所など騒音の大きい場合や電話回線の事情により声が反響する場合、聞きとりにくいことがあります。
	ハンズフリー通話のとき、音声がとぎれたり割れたりして聞きとりにくい	●相手の話が終わったところで話すようにしてください。 ➡相手と同時に話をすると会話の頭がとぎれやすくなります。 ●静かな場所でご利用ください。 ➡周りの音（相手側、またはこちら側）が大きい場合、声がとぎれやすくなります。 ●口もとからマイクまでの距離は約50cmを目安にしてください。 ➡近すぎると、声が割れて相手に聞きとりにくくなります。
	通話に雑音や異音が聞こえる	●ご契約の電話会社（NTTの場合、故障受付113番など）にお問い合わせください。 ➡親機と受話子機・子機間の内線通話には雑音が入らない場合は電話機以外の要因と考えられます。
	通話時に雑音が入る	●雑音の原因となる他の機器から電話機を離して設置してください。 ➡他の電気製品、ACアダプター、充電器、モデム、TAなどの近くに電話機を設置すると、雑音が入ることがあります。
	異音が聞こえる	●ダイヤル回線をご利用の場合、ダイヤルすると「プツプツ・・」という音が聞こえます。故障ではありません。 ●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、キャッチホンが入ると「ピポ」と聞こえ、電話番号データを受信するために数秒ほど無音の状態になります。
	通話が反響して相手の声が聞きとりにくい	●スプリッタ・TA設定を「ON」にしてください。（110ページ）改善しない場合は、ご利用の電話会社などにご相談ください。 ●ファクシミリやISDN／ADSL機器などに接続している場合、それらの機器が原因で反響することがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用の電話会社などにご相談ください。

（親機）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり受けたりできない	保留や留守番などの機能が使えない	● 親機の画面の表示がない場合は、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
	画面が一瞬消えるときがある	● 液晶の表示をすべて、再度、表示し直しています。故障ではありません。
	「ピピピ・・・」と鳴り発信できない	● 子機が回線使用中のときは、親機から電話をかけることは出来ません。（"回線使用中"と表示されます。）受話子機を戻し、子機の使用が終わってからかけ直してください。

（受話子機）（子機）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり受けたりできない	ボタン／ランプが反応／点灯しない	● 親機と子機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。なお、停電など親機の電源が切れているときは、ご使用になれません。 ● 親機と受話子機・充電器と子機の充電端子を乾いた布や綿棒などできれいに拭いて10時間以上充電してください。充電容量が少ないとき、10分くらいは受話子機は充電ランプ、子機は 発信ランプが点灯しません。 ● 数週間充電をしないで放置された場合、受話子機は親機上に、子機は充電器上に10時間以上置いても受話子機は充電ランプ、子機は 発信ランプが点灯しないことがあります。新しい充電池に交換してください。（106ページ） ● 充電池（ニッケル水素電池）を外して入れ直しを行なってください。
	画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「 圏外 」が表示して使えない	● 親機のACアダプターの接続をご確認ください。停電など電源の切れているとき、受話子機・子機はご使用になれません。 ● 設置環境などノイズの影響で発生するケースは、故障ではありません。再度、[ ]を押すか親機をご使用ください。原因となる電気機器（携帯電話の充電器、ファクシミリ、ISDN／ADSL機器、AV／OA機器など）から親機や受話子機・子機を離すことで軽減します。
	充電ができない、通話が切れる	● 親機と子機のACアダプターの接続をご確認ください。 ● 受話子機は充電ランプ、子機は 発信ランプが点灯するまで10分程度かかることがあります。 ➡約10分たっても点灯しない場合は、受話子機を親機からとって、もう一度親機に戻してください。子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。
	親機や充電器に置いても、液晶画面に何も表示されなかったり、充電ランプや 発信ランプが消えている	● 充電端子は乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。 ● 数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなる場合があります。 ➡新しい充電池に交換してください。

次ページへつづく

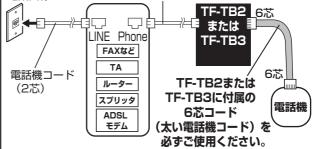
（受話子機）（子機）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり受けたりできない（つづき）	充電ランプが青点灯、または発信ランプが緑点灯のまま変わらない	●充電が完了しても充電ランプは青点灯、発信ランプは緑点灯のまま変わりません。 ➡親機上または充電器上では受話子機・子機が多少あたたかくなりますが異常ではありません。充電し続けても故障することはありません。
	親機または充電器からとっても［］を押さないと通話状態にならない	●親機と子機のACアダプターの接続をご確認ください。 ●親機と受話子機・充電器と子機の充電端子を乾いた布や綿棒などできれいに拭いてください。 ●子機はクイック通話を解除している場合は設定してください。（102ページ）
	通話中に切れる	●受話子機・子機の充電池が消耗している場合は充電端子を拭いて10時間以上充電してください。それでも切れるときは新しい充電池に交換してください。(106ページ) ➡充電池交換の目安は2年くらいですが、短い時間の通話と充電を繰り返した場合、使用開始の間もない新しい充電池であっても、一時的に充電容量が少なくなります。この場合は数日間充電をやめ、いったん充電池を使いきること（ボタンを押しても反応がない状態）で解消します。あらためて10時間以上充電してご使用ください。
	通話がひびく、とぎれる、雑音が聞こえる	●親機から離れすぎた場合など、声がとぎれたらすみやかに親機に近づいてください。 ● 2.4GHzの電波を使用する機器（無線LAN、ルーター、AV機器・防犯機器など）から親機や受話子機・子機を3m以上離してください。 ● 2.4GHzの無線LANなど電波干渉の影響があるときは、電波帯切りかえをお試しください。（111ページ） ●電子レンジから親機や受話子機・子機を3m以上離してください。 ●1つの事務所内（部屋内）にデジタルコードレスホンを複数設置しないでください。 ●ISDN／ADSL機器、携帯電話の充電器などから親機や受話子機・子機を3m以上離してください。 ●同じ部屋の中でも電波の弱くなるところがあり、その位置で通話すると声がとぎれて聞きとりにくくなります。この場合は少し移動すると改善します。 ●建物の構造や壁の材質によって電波を通しにくい場合があり、症状の原因になります。 ➡特に金属の構造物、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラスなどは電波を通しません。
	保留転送／子機間転送ができない	●受話子機または子機を使用中に親機から離れすぎると音声がまったく聞こえなくなったり、警告音が鳴ります。このとき液晶画面に「親機サーチ中」（または「通話圏外」）と「圏外」が表示されると、現在の通話が終わるまで、保留転送／子機間転送などの機能を利用することができない場合があります。（故障ではありません。）
	増設子機がまったく使えない	●登録操作に失敗していると、ご使用になれません。増設のリセットを行ない、もう一度、増設子機の登録操作を行なうとご使用になれます。（108ページ） ●登録操作中は、親機や受話子機・他の子機で他の操作を行なわないでください。増設登録が失敗したり、増設後の動作が正常に行なえない場合があります。

	症　状	原因と処置
留守番機能	留守ランプの点滅が消えない	●まだ聞いていない録音内容をすべて聞くと点滅が消えます。
	留守セットができない	●「設定できません。録音がいっぱい・・・」と聞こえるときは、録音内容をすべて聞いたあと消去してください。（39ページ）
	スピーカーから聞こえる録音中の相手の声（モニター音）が小さいか聞こえない	●消音を解除してください。(94ページ) 小さい場合はスピーカー音量を大きくしてください。(97ページ) ●ナンバー・ディスプレイをご利用している場合で、ガード機能を設定している場合、ガード機能動作中はスピーカーから音声は聞こえません。
	録音内容を再生すると音声が小さい	●スピーカー音量を大きくしてください。(97ページ)
	「ツー・・」という音しか録音されていない	●録音のはじめで相手が電話を切ったとき「ツー・・」という音が録音されることがあります。
	応答メッセージが変わった	●録音がいっぱいになると自動的に応答専用メッセージに変わりますので、まめに再生し、消去してください。（42〜43ページ）
	応答メッセージが流れない	●無音に近い自作メッセージが録音された場合は、応答メッセージを消去してください。（42〜43ページ） ➡消去すると、電話機内蔵の応答メッセージで留守応答します。 ●同じ回線に接続した他の機器が先に電話を受けてしまう場合、本機は留守応答できませんので、本機が先につながるようにしてください。 ➡本機の留守応答の呼出回数を2回にすると先につながる場合があります。（44ページ）
	留守番にしていないのに応答する	●暗証番号を登録すると、呼出音の約15回目に自動的に留守応答します。暗証番号を消去するとこの動作は行ないません。（45ページ） ●各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号・限定着信）を設定しているときは、各種ガードのメッセージで応答し電話が切れます。設定されているガード内容を確認し、不要なものを解除してください。
	留守番につながる呼出音の回数が変わってしまう	●トールセーバのはたらきによるものです。（46ページ） ➡回数を固定にしたいときは（44ページ）
	リモコン再生ができない	●あらかじめ暗証番号（45ページ）を登録してください。 ●応答メッセージが流れてから約30秒内に約8秒以内の入力間隔で暗証番号を押してください。 ●暗証番号や操作するボタンを押し間違えていませんか。周囲に音楽などの流れていない状況で、「＃○○○」やダイヤルボタンをゆっくり、長めに押してください。それでも再生されない場合は、短めに押してください。 ●携帯電話など信号音の出る時間が「ピポパ」と短い電話機は信号が伝わりにくい場合がありますので、公衆電話など「ピーポーパー」と長めに出る電話機からかけ直してください。 ●プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機から操作しているか確かめてください。

次ページへつづく

症　状	原因と処置
ナンバー・ディスプレイ：電話をかけてきた方の電話番号などが表示されない	●NTTへナンバー・ディスプレイのお申し込みが必要です。くわしくはNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「ON」にしてください。 ●同じ回線に接続した併用の機器（ナンバー・ディスプレイ表示器、他の電話機やファクシミリ、ホームテレホンなど）は外していただくか、回線を別にしてください。 ●同じ回線に他の機器（ISDNのTA／ルーター、ADSLのモデム／スプリッタ、セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、CAT（キャットというカード会社の信用照会端末）など）が接続されている場合、それらの機器が原因で、ナンバー・ディスプレイの表示が出ない場合や電話がつながらない場合があります。くわしくは原因と思われる機器のメーカー、または関連のサービス会社などにご相談ください。 ➡ISDN回線でご使用のTAが旧バージョンの場合に、ファームウエアを最新バージョンに変更すると改善する場合があります。 ➡TAがナンバー・ディスプレイ対応機種でなければ表示できません。くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。 ➡TA側の設定（電話機を接続するアナログポートでナンバー・ディスプレイを使用する）が必要です。設定方法はTAに付属の取扱説明書をご覧ください。 ➡ADSL回線の場合は、スプリッタやモデムなどを外し、電話機を回線に直接つないだ状態でナンバー・ディスプレイが表示される場合、スプリッタやモデムなどの原因と考えられます。 ●構内交換機（PBX）の内線に接続の場合、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。 ●マンションにお住まいの場合、マンション独自の電話設備の関係でナンバー・ディスプレイの表示が出ない場合があります。マンションの管理会社などにお問い合わせください。
電話帳に登録している相手の名前が正しく表示されない	● 同一の電話番号を複数の名前で、電話帳に登録しないでください。市内局番以降が同じ電話番号が複数ある場合、正しく表示されません。市外局番から登録してください。
キャッチホンの電話番号が表示されない	●NTTへのサービスのご契約は「ナンバー・ディスプレイ」・「キャッチホン・ディスプレイ」・「キャッチホン」の三つが必要です。本機にはキャッチホン・ディスプレイの設定がありますので「ON（キャッチD有）」に設定してください。（63ページ） ●通話中の子機が、一度親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所に移動したあと（「圏外」表示）、「圏外」が消灯する場所まで移動した場合は、通話に戻ることはできますが、表示はされません。（故障ではありません。）
携帯電話からは表示されるが一般電話からは「表示圏外」になる	●INSナンバー・ディスプレイに申込が必要です。NTT窓口(お客様サービス116番)にお問い合わせください。
相手先に非通知と表示されてしまう	●お客様の回線が通常非通知（回線ごと非通知）の場合は、電話番号の前に186を付けてダイヤルしてください。その通話に限り電話番号を通知します。 ➡通常通知に変更の場合は、NTT窓口(お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●ＩＰ電話をご利用の場合には、相手もＩＰ電話のときや、相手が携帯電話・PHSのときは、相手に非通知と表示される場合があります。くわしくはＩＰ電話の提供元（プロバイダーなど）にお問い合わせください。 ●ISDN回線をご利用のときは、TAの設定を「通知」に変更してください。くわしくは、TAのメーカーへお問い合わせください。
各種のガードがはたらかない	●キャッチホン・ディスプレイにご契約の場合であっても、キャッチホンでかかってきたときは、各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号・限定着信）がはたらきません。

	症　状	原因と処置
ドアホンに接続したとき	呼出や話ができない ・回線にファクシミリなど他の機器を接続したらドアホンが使えなくなった。 ・ISDNを利用したらドアホンが使えなくなった。 ・ADSLのＩＰ電話を利用したらドアホンが使えなくなった。	●ドアホンターミナルボックスのTF-TB2またはTF-TB3と電話機の間には、ファクシミリ／TA／ルーターなどの機器を接続しないでください。接続の順番は下記のイメージ図を参照してください。 (接続イメージ図)
	ドアホンのところではピンポンと聞こえても、電話機は鳴らず、話もできない	●電話機とドアホンターミナルボックスを接続する電話機コードが2芯コードではありませんか。6芯コード（ドアホンターミナルボックスに付属の太い電話機コード）で接続してください。
	ドアホンターミナルボックスのTF-TB1をTF-TB2に替えたらドアホン通話ができない	●TF-TB2と電話機を接続する6芯コード（太い電話機コード）は、TF-TB2に付属のもの（白：プラグ反転型）を必ずご使用ください。TF-TB1に付属のもの（黒：プラグ非反転型）はご使用になれません。
	ドアホンの人への聞こえが小さい	●ドアホンターミナルボックスの裏面にある受話音量の調節スイッチを、TF-TB2の場合は小⇒大に、TF-TB3の場合は中⇒大に切りかえてください。
	電話機への聞こえが小さい	●ドアホンターミナルボックスの裏面にある送話音量の調節スイッチを、TF-TB2の場合は小⇒大に、TF-TB3の場合は中⇒大に切りかえてください。
	ドアホンの呼出音が鳴っているのにドアホンに応答することができない	●他の子機または親機・受話子機が外線通話中の場合、ドアホンにでることはできません。（液晶画面に「回線使用中」が表示されています。）また、外線通話中の子機または親機・受話子機も、外線通話を保留して、ドアホンに応答することはできません。外線通話を終わらせると、ドアホンと通話することができます。
	ドアホンの応答を終了してもドアホン側の呼出音が鳴る	●ドアホンの呼出音が鳴っているときに応答し、すぐに受話子機を戻すとドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。（故障ではありません。）

	症　状	原因と処置
その他	ACアダプターが少し熱を持つ	●ACアダプターは多少の熱を発します。夏場の室温上昇で触って熱いと感じられる場合もありますが、もし異常に熱い場合には、コンセントから外し、弊社お客様相談室（151ページ）へお問い合わせください。
	キャッチホンが切りかわらない	●中継機器（TA、モデム、ホームテレホン、構内交換機（PBX））などの原因で、キャッチホンの切替ができない場合があります。中継機器の説明書にて必要な設定などをご確認ください。くわしくは中継機器のメーカー、または設置業者へお問い合わせください。

次ページへつづく

警告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙が出なくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。特に、電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。
お客様による修理、確認などは危険ですので、絶対におやめください。

保証書（本書の裏表紙）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

本機の保証は持込修理となっています。**出張修理や引取修理をご希望の場合は保証期間内でも出張料金や配送料金が別途必要となります。**あらかじめご了承願います。
保証期間中および保証期間後を問わず何らかの原因により各種の登録、設定、録音内容が損なわれた場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書に記載の当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期限

本機の補修用性能部品は製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談、ご質問

お買い求めの販売店へご依頼ください。
ご転居されたり、ご贈答品などで販売店へ修理の依頼ができない場合は、修理受付センター（151ページ）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（141～148ページ）を参考に調べていただき、なお異常があるときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いて、販売店または修理窓口に修理をご依頼ください。
お持込みになる場合や引取修理の場合は、必ず親機・受話子機・子機・充電器・ACアダプターを一緒にして修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは、次の事項を確認してください。

1 品名、機種（システム名）
（例：コードレス留守番電話機　TF-FV7000／FV7020／FV7030）
2 故障の内容
（どのような症状か・どんなときに症状がでるか・いつもでるか・時々なのか）
3 お買い上げ年月日（○年○月○日）
4 お名前、住所、連絡先電話番号

保証書とアフターサービスについて

持込修理について

本機の保証は「持込修理」扱いです

お買い求めの販売店にお持込みください。
弊社へご依頼のときは、お近くの修理窓口（サービス拠点）へ直接お持込みください。
（152～153ページ参照）

引取修理について

配送料金（保証適用外）が別途かかります。
当社指定の宅配業者が修理品の回収、お届けを行ないます。修理期間の代替機の用意はできません。

出張修理について

サービスステーションからの距離に応じて出張料金（保証適用外）が別途かかります。
当社のサービスマンが訪問して修理いたします。

長年ご使用の電話機の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか

・ACアダプターやコードが異常に熱くなる。
・ACアダプターにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、煙、臭いがする。

すぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜き、故障や事故防止のため販売店または修理窓口に点検（有料）をご依頼ください。

お客様相談窓口・修理窓口

次ページへつづく

修理、取り付け、他の製品との接続などに関してはお買い求めの販売店へお問い合わせください。
お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合はパイオニア修理受付センターへお問い合わせください。

操作･取扱のお問い合わせや、故障か判断に迷われたときは

【お客様相談室】

受付　月曜～土曜、日曜・祝日　9：30～17：30（弊社休業日は除く）

東日本地区　お客様相談室（埼玉県所沢市）　☎ 04ー2949ー5131
西日本地区　お客様相談室（大阪市）　☎ 06ー6533ー0099

専用FAX：04ー2949ー5501

＜下記窓口へのお問い合わせ時のご注意＞
「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話では、ご使用になれません。また、一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめ、ご了承ください。

修理（出張修理、引取修理）のご依頼、お問い合わせは

※沖縄県の方は、沖縄サービスステーションでお受けします。（153ページ）

【パイオニア修理受付センター】

ご希望により出張修理、引取修理も承ります。
保証期間内でも出張料金、配送料金はお客様のご負担となります。

受付　月曜～金曜　9：30～19：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

ゴーパイオニア
TEL： 0120ー5ー81028　／　FAX： 0120ー5ー81029

一般電話：03ー5496ー2023

部品（付属品、取扱説明書など）のご購入については

【パイオニア部品受注センター】

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

TEL： 0120ー5ー81095　／　FAX： 0120ー5ー81096
一般電話：0538ー43ー1161

さくいん

アルファベット順

50音順

【あ行】

【か行】

【さ行】

【た行】

困ったとき

【な行】

【は行】

【ま行】

【や行】

【ら行】

Pioneer 保証書 持込修理

品　名	コードレス留守番電話機	機　種	TF-FV7000 TF-FV7020 TF-FV7030
保証対象	本　体	保証期間	（お買い上げ日より）**１年間**
※お買い上げ日	年　月　日		
※お客様 お名前	様	ご住所 電話番号	（　）
※販売店	店名・住所・電話番号		

※印欄は必ずご記入ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または修理窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご持参ください。その際には本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合や、お近くの修理窓口がない場合は、修理受付センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、**落雷**その他の天災地変、公害、塩害、虫害、**異常電圧**などによる事故および損傷
   （ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等）
   （ホ）消耗品（各部ゴム、電池、テープ等）の交換
   （ヘ）増設子機の登録操作を行なう場合
   （ト）本書の提示がない場合
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   （リ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
   （ヌ）出張修理をご希望されたときの出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

（修理メモ）

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。

パイオニアコミュニケーションズ株式会社

〒359ー1167　埼玉県所沢市林2ー70ー1